

廣島大學

國語史研究會會報

第貳拾九號

【目次】

『むぐら』本文并に自立語索引

本文篇

凡例

本文

自立語索引篇

凡例

自立語索引

平成十八、十九年度 活動報告・学内会員消息

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| わ | ら | や | ま | は | な | た | さ | か | あ |
| | | | | | | | | | |
| 171 | 171 | 166 | 153 | 143 | 135 | 118 | 106 | 86 | 51 |

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ゐ | り | | み | ひ | に | ち | し | き | い |
| | | | | | | | | | |
| 174 | 171 | | 158 | 147 | 141 | 128 | 110 | 92 | 56 |

| | | | | | | | | |
|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | ゆ | む | ふ | ぬ | つ | す | く | う |
| | | | | | | | | |
| | 167 | 162 | 151 | 142 | 130 | 113 | 94 | 64 |

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ゑ | れ | | め | へ | ね | て | せ | け | え |
| | | | | | | | | | |
| 174 | 171 | | 163 | 152 | 142 | 132 | 116 | 96 | 69 |

| | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| を | ろ | よ | も | ほ | の | と | そ | こ | お | |
| | | | | | | | | | | |
| 179 | 175 | 171 | 168 | 164 | 152 | 142 | 132 | 116 | 97 | 70 |

51 49 7 5

『むぐら』 本脅 綱に自立語索引

本 脅 篇

本文篇凡例

- 一、この本文は、秋香台文庫蔵本のむぐら『二巻本 むぐら』昭和五十九年、笠間書院）及び宮内庁書陵部蔵本のむぐら『むぐら三』昭和三十二年、便利堂）を底本として、その全文を翻字したものである。秋香台文庫蔵本において欠落している第六四丁ウ11以降の約十四丁分、及び第六五丁ウ11以降の約三丁分を、それぞれ宮内庁書陵部蔵本の第二〇丁ウ10から第三六丁オ2、及び第三八丁オ6から第四〇丁ウ8によって補った。
- 一、翻字の際の底本・原本の丁数・行数は、各行の初に、「秋」または「書」の略称で、丁数を漢数字で、丁の表・裏をオ・ウで、行数をアラビア数字で示した。
- 一、所謂、誤字・宛字については底本のままに翻字した。
- 一、平仮名・片仮名の字体は、印刷の便を考えて、現行の字体に改めた。
- 一、踊字は、漢字・平仮名ともに底本に従って翻字した。
- 一、底本の破損等で筆画のすべてが残っていないものは「」に包んで示した。判読しがたい箇所は、字数相当分の で表示した。
- 一、文意理解の便宜上、私に句読点・引用符・濁点等を付けた。

翻字に際して、中西健治・常磐井和子校訂『中世王朝物語全集15 風に紅葉 むぐら』(平成十三年、笠間書院)及び市古貞次・三角洋一編『鎌倉時代物語集 成五』(平成四年、笠間書院)を参考にした。

本PDFでは、翻字本文は省略に従いました。右記、影印本他を御参照ください。

自立語索引篇

自立語索引篇凡例

- 一、本索引は、『むべく』に用いられている総ての語のうち、自立語を、翻字本文に基づいて収載したものである。
- 一、自立語と付属語との区別について、問題のある語等は次のように処理した。
 - 1、「る」「さる」「す」「さす」「及び」「まほし」「ことし」は助動詞として扱い、付属語とした。
 - 2、「むず」は一語と扱い、付属語とした。但し、「むとす」「はむ」「と」「す」の三語に分けて、「む」「と」「は」は付属語とし、「す」のみ収めた。
 - 3、接尾語は収載し見出しに掲げたが、用例はそこに示さず、その接尾語によって構成された単語の項に掲げ、その単語をそれぞれ参照できるようにした。
 - 4、「この」「その」「わが」等の連体修飾語としての用法は、一語と扱って、連体詞として収めた。
 - 5、「きこえさす」「きこゆ」「たてまつる」「たまふ」「まつす」等の補助動詞の用法のものは収載した。
 - 6、所謂形容動詞は一語として認め、収載した。
- 一、見出し語は平仮名で歴史的仮名遣によって統一し、排列は最終音節までの五十音順とした。字音語は字音仮名遣によることを原則としたが、仮名の直音表記のみのものはそれを尊重した。見出し語には原則として品詞名は記さないが、他と弁別を要するものについては《》に包んで記した所がある。活用語の活用形式やその他についても同様に処理した。
- 一、見出し語の排列のうち、「う」「う」「う」「う」「う」「う」「う」「う」「う」「う」は、ア行に排列した。
- 一、見出し語は単語を原則とする。接尾語、複合語の低位要素からも検索できるように参照項目を設けた。
- 一、単語の認定について、問題のある語等は次のように処理した。
 - 1、動作性の漢語にサ変動詞「す」の付いた形は、一語と扱って収載した。この場合、「す」の項目からも、それぞれの漢語サ変動詞を参照できるようにした。
 - 2、所謂連用形転成名詞に相当するものは、総て名詞と扱って収載した。
- 一、見出し語の字音仮名遣については、当時の音価と表記とを考え左に従った。
 - 1、合拗音は「くわ」「くゎ」「くゑ」「くゎ」で表し、「これを」「か」「け」と区別する。
 - 2、鼻音のmとnを区別し、それぞれ「む」と「ん」の表記に従う。その排列は「む」「m」「n」をマ行に排列せず、ワ行の次の「ん」「n」と同じ位置に排列する。
 - 3、「中」「住」の類は「ちゅう」「ちう」「ちゆう」とする。
- 一、見出し語には、意味識別の便宜上、その意味に当たると考えられる現行の漢字を宛てた。
- 一、漢字の読み方は概ね左の基準に従った。
 - 1、「侍」(動詞・補助動詞)、「御」(接頭語)については、底本に仮名書きのある場合はそれにより、仮名書きのないものについては原則として「はへり」「おほむ」に統一した。

2、官職名で人物を指す場合には、原則として音読した。

一、用例は、一文節を底本の表記に従って示した。但し、補助動詞はその上接語（又は語句）を示すことを原則とした。

一、用例の排列は出現順とした。

一、用例の所在は、翻字の際の底本を「秋」（秋香台文庫蔵本）または「書」（書陵部蔵本）の略称で、丁数を漢数字で、丁の表・裏をオ・ウで、行数をアラビア数字で示した。

例、あいきやうづき給へりし 秋六六ウ？……「あいきやうづく（愛敬付）」の語頭が秋香台文庫蔵本第六十六丁裏七行目にあることを示す。

一、和歌及び引歌表現に用いられている用例については、他と区別するために所在の後に*を付けて示した。

一、活用語については、左に従う。

1、終止形を見出しとする。

2、一語一文節を構成する場合「中止法」「連体法」「ぞ」「の結び」「や」「の結び」のよつに用法を注記する。

作成者

松本光隆、茨木佑子、小倉健太、加藤京子、熊崎由衣、西祐一朗、二宮千佳、松元仁美、森岡信幸、山下恭兵

| | | | | | |
|--------------------|---------|----------------|---------|--------------|----------|
| あはれ | 秋二四ウ 1 | あはれに(連用法) | 秋四一才 6 | あはれに(連用法) | 書二一才 11 |
| あはれ | 秋三一才 4 | あはれなる(連体法) | 秋四二才 7 | あはれに(連用法) | 書二二才 7 |
| あはれ | 秋三九ウ 10 | あはれに(連用法) | 秋四二ウ 7 | あはれに(連用法) | 書三三才 8 |
| あはれ | 秋五七才 8 | あはれに(連用法) | 秋四四ウ 3 | あはれなり | 書二四ウ 3 |
| あはれげなり(哀) | | あはれにて | 秋四五才 2 | あはれに(連用法) | 書二五才 3 |
| あはれげなる(連体法) | 秋一七才 2 | あはれに(連用法) | 秋四五才 5 | あはれに(連用法) | 書二六才 7 |
| あはれげに(連用法) | 秋二七ウ 11 | あはれに(連用法) | 秋四五才 8 | あはれ也 | 書二六ウ 4 |
| あはれげに(連用法) | 秋三七ウ 6 | あはれなり | 秋四五ウ 11 | あはれなり | 書二八ウ 11 |
| あはれげなる(連体法) | 秋五五ウ 10 | あはれなる(連体法) | 秋四六才 5 | あはれに(連用法) | 書三〇ウ 2 |
| あはれなり(哀) ↓ ものあはれなり | | あはれなりし | 秋四九才 4 | あはれなる(終止法) | 書三一ウ 3 |
| あはれに(中止法) | 秋四ウ 4 | あはれに(連用法) | 秋四九ウ 4 | あはれに(連用法) | 書三一ウ 9 |
| あはれなれ(「こそ」の結び) | 秋九才 5 | あはれなる(連体法) | 秋五一才 11 | あはれなりし | 書三二ウ 2 |
| あはれ也 | 秋一〇ウ 7 | あはれに(連用法) | 秋五一ウ 1 | あはれなり | 書三二ウ 4 |
| あはれなれば | 秋一四ウ 4 | あはれにぞ | 秋五二ウ 11 | あはれならざらん | 書三三才 6 |
| あはれなる(「ぞ」の結び) | 秋一七才 8 | あはれに(連用法) | 秋五四才 7 | あはれ也 | 秋六五才 11 |
| あはれにぞ | 秋二一才 8 | あはれに(連用法) | 秋五四ウ 2 | あはれなる(連体法) | 秋六五ウ 9 |
| あはれに(連用法) | 秋二三才 11 | あはれなる(連体法) | 秋五五ウ 6 | あはれに(連用法) | 書三八才 11 |
| あはれ也 | 秋二四ウ 10 | あはれ也 | 秋五六才 9 | あひ(会) | |
| あはれなりつるも | 秋二五才 1 | あはれに(連用法) | 秋五六ウ 1 | あひなど | 秋一〇ウ 8 |
| あはれに(連用法) | 秋二六才 6 | あはれに(連用法) | 秋五七ウ 3 | あひも | 秋二七ウ 8 * |
| あはれ也 | 秋二七才 4 | あはれに(連用法) | 秋五八才 5 | あひみる(相見) | |
| あはれなればとて | 秋二七ウ 2 | あはれなり | 秋五八才 11 | あひみたてまつらせ給はん | 秋一七才 6 |
| あはれなりける | 秋三二ウ 10 | あはれ也 | 秋五八ウ 3 | あひみさせ給 | 秋二五才 6 |
| あはれなるべき | 秋三三ウ 8 | あはれなれ(「こそ」の結び) | 秋六一才 7 | あひみる(連体法) | 秋四五才 11 |
| あはれなれば | 秋三四ウ 1 | あはれに(連用法) | 書二一才 1 | あひみたてまつらん | 秋四九才 6 |
| あはれに(連用法) | 秋三五ウ 8 | あはれに(連用法) | 書二一才 8 | あひみまほしくてなど | 秋六二才 5 |

| | | | | | |
|-------------------------|--------|--------------------|--------|----------------|--------|
| あふ(敢) ↓せきあふ | | | | | |
| あへなんと | 秋九ウ6 | あまひめ君に | 書三〇ウ10 | あやしければ | 秋八才4 |
| あふ(会) ↓たたずみあふ・たづねあふ | | あまひめ君 | 書三一才2 | あやしく(連用法) | 秋一九才9 |
| あいたてまつるべき | 秋二二ウ9 | あまざりす(尼勝) | | あやしく(連用法) | 秋二五ウ4 |
| あひたてまつらんと | 秋一三才4 | あまゝさりしてぞ | 書三一才3 | あやしく(連用法) | 秋三二ウ6 |
| あひて | 秋二五才3 | あまり(余)《名詞》 ↓とをかあまり | | あやしくて | 秋三四ウ4 |
| あひたてまつりて | 秋二六才11 | あまりの | 秋一七ウ5 | あやしく(連用法) | 秋三七才6 |
| あはんと | 秋三六ウ5 | あまり(余)《副詞》 | | あやしの | 秋四一ウ1 |
| あはじ | 秋三七才3* | あまり | 秋一ウ11 | あやしくこそ | 秋四六ウ9 |
| あひ給ても | 秋三七ウ2 | あまり | 秋五ウ7 | あやしく(連用法) | 秋五二ウ10 |
| あはじと | 秋四〇才8* | あまり | 秋三三才7 | あやしく(連用法) | 秋五五ウ11 |
| あひまいらせて | 秋六〇才6 | あまり | 秋三三ウ5 | あやしげに(連用法) | 秋二八ウ5 |
| あはんとて | 書三三才7 | あまり | 秋四八才1 | あやしげに(中止法) | 秋三九ウ1 |
| あふ(合) ↓うちなきあふ・うちひそめきあふ・ | | あまり | 秋六〇ウ8 | あやしさ(怪) | |
| おはしあふ・おもひあふ・かたりあふ・さ | | あまり | 書三三ウ5 | あやしさに | 秋一一ウ7 |
| わぎあふ・しあふ・なきあふ・ひきあふ・ま | | あまりなり(余) | | あやしむ(怪) | |
| うしあふ・むまれあふ | | あまりなるまで | 秋八ウ9 | あやしむ(連用法) | 秋六ウ6 |
| あふぎ(扇) | | あまりに(連用法) | 秋二二才10 | あやしくなり(生憎) | |
| あふぎを | 秋三八ウ9 | あまりに(連用法) | 秋三三才7 | あやにくに(連用法) | 秋二九ウ9 |
| あま(尼) ↓おはらのあま・おはらのあまぎみ・ | | あまりなる(連体法) | 秋二五ウ11 | あやにくに(連用法) | 秋四二ウ4 |
| おほはらのあまつへ・おほはらのあまぎみ | | あまりに(連用法) | 秋三三才2 | あやまつ(過) | |
| あまに | 書三〇ウ3 | あまりに(連用法) | 秋四九ウ6 | あやまちたる | 秋一九才6 |
| あまぎみ(尼君) | | あまりに(連用法) | 秋五〇才9 | あたらもの(惜者) | |
| あまぎみ | 秋二六才11 | あまりに(連用法) | 書二二才9 | あたらものかな | 書二一ウ4 |
| あまぎみ | 秋二七才8 | あまりに(連用法) | 秋六六ウ3 | あらはす(現) ↓みあらはす | |
| あま君 | 書三四才10 | あやし(怪) | | あらし | |

| | | | | | |
|-----------|---------|--------------------|---------|----------------|---------|
| ありしかど | 秋五四ウ 5 | あらで | 書二四才 11 | ありさまは | 書二六才 11 |
| あるべき | 秋五六才 11 | ありければ | 書二四ウ 9 | ありさま | 書三四ウ 1 |
| あるを | 秋五七ウ 8 | ありける | 書二五才 4 | ありふ(存経) | |
| ありし | 秋五九ウ 8 | ありける | 書二五才 8 | ありふべしとも | 秋四八ウ 4 |
| あらまじやと | 秋五九ウ 9 | あるまじき | 書一九才 9 | ありふべしとも | 秋六五才 9 |
| あるまじけれとて | 秋六〇才 2 | ありしぞかし | 書三二才 1 | ありまじらふ(有交) | |
| あらんずらむと | 秋六〇ウ 1 | あらば | 書三二才 2 | ありまじらいて | 秋六四才 9 |
| あらめ | 秋六〇ウ 6 | あるを | 書三二ウ 10 | ある(荒) | |
| あるべかりければ | 秋六〇ウ 11 | ありとて | 書三三才 7 | あれぬとも | 秋五五ウ 5* |
| あらんに | 秋六一ウ 10 | あれば | 書三三才 9 | あれ(彼) | |
| ある(連体法) | 秋六三才 6 | あるべしとやは | 書三三才 10 | あれへは | 秋一九ウ 11 |
| ありつる | 秋六三ウ 3 | ありしより | 書三五才 1 | あれに | 秋三一才 5 |
| あらず | 秋六三ウ 5 | ありて | 秋六五才 3 | あをむ(青) ↓ やせあをむ | |
| ありつる | 秋六三ウ 7 | あらずとて | 秋六六才 4 | | |
| ありつるものを | 秋六三ウ 11 | ありしよりも | 秋六六ウ 10 | | |
| あらしと | 秋六四才 1 | ありけり | 書三九ウ 10 | | |
| ある(連体法) | 秋六四才 4 | ありけるこそ | 秋六七才 2 | | |
| 有て | 秋六四ウ 3 | ありがたし(有難) | | い(寝) | |
| あらじ | 書二一ウ 10 | 有がたく(連用法) | 秋三ウ 11 | いも | 秋四五ウ 3 |
| あんなれば | 書二一ウ 11 | ありがたく | 書二八ウ 3 | いうなり(優) | |
| ありつる | 書二二才 8 | ありがたく(連用法) | 秋六七才 3 | いうなりつるものと | 書二一ウ 5 |
| ありつる | 書二二ウ 8 | ありく(歩) ↓ まありありく | | いか(五十日) | |
| ありし | 書三三才 3 | ありさま(有様) ↓ おほむありさま | | いかなどの | 書二七才 8 |
| ありけるなりけりと | 書三三才 4 | ありさま | 秋四才 2 | いかが(如何) | |
| あるべきならねば | 書三三才 11 | 有さまに | 秋二七才 9 | いかゞ | 秋二才 11 |
| ありける | 書三三ウ 2 | 有さまを | 秋三〇ウ 2 | いかゞ | 秋四才 8 |

い

| | | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|-------------|---------|
| いかに(連用法) | 秋三四ウ 9 | いかに(連用法) | 書二一才 11 | いかばかり | 書二八ウ 9 |
| いかに(連用法) | 秋三五ウ 7 | いかにと | 書二二才 11 | いきいづ(生出) | |
| いかなる(連体法) | 秋三六才 9 | いかなる(連体法) | 書二五才 9 | いきいでこそ | 秋二二ウ 5 |
| いかなる(連体法) | 秋三六才 9 | いかなる(連体法) | 書三九ウ 5 | いく(行) | |
| いかに(連用法) | 秋三七才 5 | いかにも(如何) | | いかに | 秋一二才 8 |
| いかなる(連体法) | 秋三七ウ 3 | いかにも | 秋六才 6 | いかじと | 秋二二ウ 6 |
| いかなりとても | 秋三八才 9 | いかにも | 秋七才 9 | いきしは | 書二二ウ 3 |
| いかに(連用法) | 秋三八ウ 4 | いかにも | 秋八才 3 | いく(生) | |
| いかに | 秋四一才 11 | いかにも | 秋一三才 6 | いきたる | 秋六三才 6 |
| いかなる(連体法) | 秋四一ウ 8 | いかにも | 秋一三ウ 6 | いくよ(幾夜) | |
| いかに(連用法) | 秋四三ウ 3 | いかにもと | 秋二二ウ 7 | いくよ | 秋四五ウ 1 |
| いかにと | 秋四四ウ 1 | いかにも | 秋三〇ウ 3 | いさ | |
| いかになど | 秋四四ウ 8 | いかにも | 秋三四ウ 6 | いさ | 秋四〇才 1 |
| いかに(連用法) | 秋四五才 11 | いかにも | 秋四四ウ 7 | いざ | |
| いかに(連用法) | 秋四八ウ 7 | いかにも | 秋四七ウ 9 | いざ給へ | 秋七才 9 |
| いかに(連用法) | 秋四九才 10 | いかにも | 秋四九才 9 | いそがし(忙) | |
| いかに(連用法) | 秋五〇才 5 | いかにも | 秋六〇才 10 | いそがしくも | 秋一四ウ 11 |
| いかなる(連体法) | 秋五一ウ 8 | いかにも | 書三〇ウ 4 | いそがしげ(忙) | |
| いかなりとも | 秋五二ウ 6 | いかにも | 書三三才 9 | いそがしげに | 秋三八ウ 10 |
| いかに(連用法) | 秋五三才 3 | いかばかり(如何) | | いそがしげに | |
| いかにと | 秋五四ウ 6 | いかばかり | 秋二才 9 | いそがしげに | 秋三三ウ 6 |
| いかに(連用法) | 秋五五ウ 7 | いかばかり | 秋三三才 6 | いそぎ(急) | |
| いかなるにかと | 秋五八才 4 | いかばかりならんと | 秋二九才 6 | いそぎも | 秋四五才 2 |
| いかなりし | 秋五九ウ 7 | いかばかり | 秋四〇ウ 5 | いそぎいだく(急抱) | |
| いかに(連用法) | 秋六〇ウ 9 | いかばかり | 書二一ウ 8 | いそぎいだかれ給へるも | 秋一〇ウ 11 |
| | | いかばかり | 書三三ウ 4 | いそぎおはす(急御座) | |

いそぎおはす いづく

| | | | | | |
|-----------------------|--------|--|--------|------------|----------|
| いそぎおはしたれば | 秋二二ウ1 | いちぢやう(一定) | | いでまほしく | 秋三三才10 |
| いそぎおはしぬれば | 秋五六ウ5 | 一定かと | | いで給ぬ | 秋三三ウ8 |
| いそぎまるる(急参) | | いちのみこ(一皇子) | | いでぬ | 秋二五ウ5 |
| いそぎまいりぬ | 秋五八ウ1 | 一のみこをこそ | 書二八才2 | いで給 | 秋二七ウ2 |
| いそぎわたらす(急渡) | | いちのみや(一宮) ↓ きんじやういちのみや | | いで給にしより | 秋二九ウ11 |
| いそぎわたらせ給へ | 秋一四ウ9 | 一の宮 | 書二九才11 | いでましや | 秋三五ウ3* |
| いそぐ(急) | | いつ(何時) | | いで給て | 秋三七才8 |
| いそぎ(連用法) | 秋一八才10 | いつと | 秋一五ウ2 | いでて | 秋四二ウ5 |
| いそぎ(連用法) | 秋三七才7 | いつと | 秋一五ウ5 | いでたまひて | 秋四七ウ3 |
| いそがで | 秋六〇ウ8 | いつまで | 秋一六ウ9 | いで給ぬるを | 秋五二ウ10 |
| いだきまゐらせ(抱) | | いつより | 秋二八ウ9 | いで給を | 秋五六ウ3 |
| いだきまいらせなど | 秋一六ウ3 | いつまでか | 秋三〇ウ8 | いでなんと | 秋六〇才11 |
| いだく(抱) ↓ いそぎいだく・かきいだく | | いつまでかと | 秋四一才7 | いづくべき | 秋六三ウ2 |
| いだかれ給へるも | 秋一〇ウ11 | いづ(出) ↓ あくがれいづ・いきいづ・うみいづ | | いで給し | 書三九才7 |
| いだきこゑて | 秋五四ウ6 | づ・おきいづ・おひいづ・おほしいづ・おもひいづ・かたらひいづ・さしいづ・しいづ・すすみいづ・はひいづ・まうしいづ | | いでをはしましぬれば | 書四〇ウ6 |
| いだきたまふとて | 秋五五ウ2 | | | いつか(何時) | |
| いだくやうにて | 秋六〇ウ3 | | | いつか | 秋四六才1 |
| いたし(甚) | | いでぬるか | 秋一才6 | いつかなりしと | 秋四六才1 |
| いたく | 秋二二ウ9 | いでなんと | 秋六才11 | いつか | 書三三三ウ10* |
| いたし(痛) ↓ かたはらい | | いでさせ給ぬ | 秋九ウ10 | いづかた(何方) | |
| いだす(出) ↓ みいだす | | いでなんと | 秋一一才9 | いづかたゑ | 秋三九ウ3 |
| いたづらなり(徒) | | いで給ふ | 秋一一ウ5 | いづく(何処) | |
| いたづらに(連用法) | 書三〇ウ7 | いで給 | 秋一二才6 | いづくへか | 秋二才4 |
| いたる(到) | | いでんと | 秋一四才10 | いづくへも | 秋五ウ6 |
| いたらぬ | 書三九才8 | いで給に | 秋一四ウ7 | いづくに | 秋一〇才9 |
| いち(一) ↓ きんじやういちのみや | | いで給を | 秋三三才4 | いづくへか | 秋一一ウ11 |

| | | | | | |
|----------|--------|----------|--------|--------------|--------|
| いつくへ | 秋二二才9 | いつら | | いと | |
| いつくゑか | 秋二三才3 | いつらと | | いと | |
| いつくへならん | 秋二三才10 | いで(出) | 秋四三才6 | いと | 書三八才8 |
| いつくゑとか | 秋一九才10 | いでなど | 秋四〇才4 | いとゞ | 秋一六才10 |
| いつくと | 秋一九才2 | いでいる(出入) | | いとゞ | 書二九才1 |
| いつくへ | 秋二四才2 | いで入 | 秋四三才7 | いとなみ(嘗) | 書二九才3 |
| いつくに | 秋二七才4 | いでおはす(出) | | いとなみ(嘗) | 書二九才3 |
| いつくの | 秋三〇才1 | いでおはしたれば | 書二七才7 | いとなむ(嘗) | 秋二七才11 |
| いつくに | 秋三四才7 | いでく(出来) | | いとなむを | 書四〇才9 |
| いつくに | 秋三五才10 | いできて | 秋四三才8 | いとなみて | |
| いつくの | 秋三九才6 | いできて | 書三二才1 | いとほし(厭) | 秋九才9 |
| いつくへも | 秋五六才9 | いでこし(出来) | | いとほしく | |
| いつくに | 秋五七才3 | いでこしぞかしと | 書三八才1 | いとふ(厭) | |
| いつくにてと | 秋六四才8 | いと(最) | | いと | 秋一三才9 |
| いつくへ | 秋六四才11 | | 秋一六才6 | いとほし(愛) | |
| いつくにも | 書一九才3 | | 秋一六才1 | いとをし | 秋二才2 |
| いつしか(何時) | | | 秋一六才2 | いとをしくと | 秋二才2 |
| いつしか | 秋四才4 | | 秋二七才10 | いとをしけれど | 秋九才4 |
| いつしか | 秋三五才1 | | 秋三〇才5 | いとをしく(連用法) | 秋一五才7 |
| いつぞや(何時) | | | 秋三四才11 | いとをしく(連用法) | 秋一六才8 |
| いつぞやの | 秋一九才9 | | 秋三五才5 | いとをしき(連体法) | 秋三〇才7 |
| いつち(何方) | | | 秋三五才5 | いとをしければ | 秋三四才8 |
| いつちへもや | 秋二八才5 | | 秋四〇才10 | いとをしく(中止法) | 秋三八才8 |
| いつちと | 秋三五才9* | | 秋六三才7 | いとをしくて | 秋四一才10 |
| いつつ(五) | | | 書三三才9 | いとをしくとて(中止法) | 秋五一才9 |
| 五ばかり | 秋四三才8 | | 書三一才2 | いとをしく(連用法) | 秋五三才3 |

| | | | | | |
|-------------|---------|-------------|---------|------|---------|
| いゑば | 秋四三ウ 6 | いひしは | 秋六五ウ 1 | いま | 秋二八ウ 6 |
| いはねば | 秋四四ウ 11 | いふ(連体法) | 書三九ウ 9 | いま | 秋三〇ウ 8 |
| いゝて | 秋四九ウ 8 | いふ(連体法) | 書四〇ウ 7 | いまは | 秋三六ウ 11 |
| いひながら | 秋五〇ウ 9 | いひしは | 書四〇ウ 1 | いまは | 秋三六ウ 7 |
| いはれ給はんずらめ | 秋五一ウ 6 | いひける | 書四〇ウ 2 | いまはと | 秋三七ウ 4 |
| いゑば | 秋五一ウ 7 | いぶせげなり | | いまは | 秋三七ウ 11 |
| いゑど | 秋五三ウ 8 | いぶせげなるを | 秋九ウ 7 | いまは | 秋三八ウ 9 |
| いはざらんと | 秋五四ウ 2 | いま(今) ↓ただいま | | いま | 秋四二ウ 9 |
| いひながらも | 秋五五ウ 3 | いまより | 秋四ウ 4 | いまも | 秋四二ウ 2 |
| いふに | 秋五七ウ 8 | いまは | 秋六ウ 2 | いまさへ | 秋四二ウ 10 |
| いふ(連体法) | 秋五七ウ 11 | いまは | 秋七ウ 3 | いまは | 秋四四ウ 5 |
| いふに | 秋五七ウ 2 | いまは | 秋七ウ 4 | いまゝで | 秋四四ウ 7 |
| いひける | 秋五八ウ 9 | いまは | 秋七ウ 8 | いま | 秋四四ウ 5 |
| いへば | 秋五八ウ 11 | いまぞ | 秋九ウ 11 | いまは | 秋四七ウ 10 |
| いふとも | 秋六〇ウ 9 | いま | 秋一二ウ 7 | いまは | 秋四七ウ 6 |
| いゑば | 秋六四ウ 4 | いま | 秋一五ウ 3 | いまは | 秋四七ウ 9 |
| いひけん | 秋六四ウ 2 | いまは | 秋一七ウ 6 | いまは | 秋四八ウ 8 |
| いひながら | 書二一ウ 5 | いまは | 秋一八ウ 10 | いまも | 秋四八ウ 11 |
| いへ(「こそ」の結び) | 書二二ウ 6 | いまは | 秋二一ウ 1 | いまは | 秋四九ウ 6 |
| いふ(連体法) | 書二三ウ 1 | いまは | 秋二二ウ 5 | いまは | 秋五〇ウ 10 |
| いはせまほしけれど | 書二六ウ 1 | いまは | 秋二二ウ 6 | いま | 秋五一ウ 2 |
| いふ(連体法) | 書三〇ウ 8 | いまは | 秋二二ウ 10 | いま | 秋五一ウ 9 |
| いひしは | 書三〇ウ 9 | いま | 秋三三ウ 2 | いま | 秋五六ウ 1 |
| いふ(連体法) | 書三一ウ 8 | いま | 秋三三ウ 6 | いまは | 秋五七ウ 9 |
| いひてましと | 書三二ウ 2 | いまは | 秋二五ウ 5 | いま | 秋五七ウ 7 |
| いひて | 書三二ウ 5 | いまは | 秋二五ウ 1 | いまは | 秋五八ウ 4 |

| | | | | | |
|------|----------|--------------------|---------|-----------|---------|
| いまは | 書三九ウ 9 | いみじく(連用法) | 秋六才 10 | いみじう(連用法) | 書三四才 5 |
| いまは | 書三九ウ 1 | いみじく(連用法) | 秋六才 4 | いみじく(連用法) | 書二八ウ 11 |
| いまの | 書三九才 1 | いみじく(中止法) | 秋五ウ 3 | いみじく(連用法) | 秋五八才 4 |
| いまの | 書三八ウ 8 | いみじき(連体法) | 秋五才 4 | いみじく(連用法) | 秋五二才 10 |
| いまの | 書三六才 3 | いみじ | | いみじく(連用法) | 秋四九ウ 5 |
| いまの | 書三一才 4 | いみ(忌) ↓ おほむいみ・こといみ | | いみじく(連用法) | 秋四九才 10 |
| いまの | 書三〇ウ 1 | いまや と | 秋五九才 11 | いみじく(連用法) | 秋四九才 4 |
| いまの | 書三〇才 10 | いまやいまや(今今) | | いみじき(連体法) | 秋四七ウ 7 |
| いまの | 書三〇才 6 | いまひとしを | 書二六ウ 1 | いみじく(連用法) | 秋四七ウ 5 |
| いまは | 書二九ウ 11 | いまひとしほ(今一入) | | いみじく(連用法) | 秋四五才 5 |
| いまの | 書二九才 8 | いまはのときまで | 秋六六ウ 4 | いみじく(連用法) | 秋四一ウ 2 |
| いまより | 書二九才 2 | いまはのとき(今際時) | | いみじく(連用法) | 秋三七ウ 10 |
| いまの | 書二八ウ 2 | いまだ | 秋四一才 11 | いみじく(連用法) | 秋三七ウ 6 |
| いまの | 書二八才 2 | いまだ | 秋三七才 8 | いみじく(連用法) | 秋三六ウ 10 |
| いまは | 書二七ウ 11 | いまだ | 秋三四ウ 4 | いみじく(連用法) | 秋三二ウ 1 |
| いまは | 書二七才 11 | いまだ | 秋九ウ 7 | いみじく(連用法) | 秋三一ウ 9 |
| いまは | 書二一ウ 10 | いまだ | 秋一才 9 | いみじく(連用法) | 秋二七才 4 |
| いまは | 書二一ウ 6 | いまだ(未) | | いみじく(連用法) | 秋二七才 4 |
| いま | 秋六四才 11 | いまずこし | 秋六六才 5 | いみじく(連用法) | 秋二六ウ 10 |
| いままで | 秋六四才 2 | いまずこし | 秋五四ウ 3 | いみじく(連用法) | 秋二四ウ 10 |
| | 秋六二ウ 6 * | いまずこし | 秋四〇ウ 8 | いみじく(連用法) | 秋一七才 11 |
| | 秋六二才 5 | いまずこし(今少) | 秋三四才 5 | いみじく(連用法) | 秋一七才 8 |
| | 秋六一才 3 | いま とて | | いみじく(連用法) | 秋一七才 2 |
| | 秋六一ウ 10 | いまいま(今今) | | いみじくこそ | 秋一五才 11 |
| | 秋六一才 4 | いまは | 書四〇ウ 2 | いみじく(連用法) | 秋一二才 6 |
| | 秋六〇ウ 5 | いまは | 書四〇才 9 | いみじく(連用法) | 秋六ウ 1 |

| | | | | | |
|-----------------|---------|-------------|---------|--------------|---------|
| うち | 秋四三才 2 | うちかみたまふ | 秋四五ウ 10 | うちちる(打散) | 秋一二才 11 |
| うち | 秋四三才 4 | うちくねる(打曲) | 秋五一ウ 4 | うちゝりて | |
| うち | 秋四七才 2 | うちくねり給へるに | | うちとく(打解) | |
| うち | 秋四七才 5 | うちごらんず(打御覽) | | うちとけ(中止法) | 秋一ウ 9 |
| うち | 秋四七ウ 10 | うちごらんじて | 秋一五才 6 | うちとけても | 秋三才 6 |
| うち | 秋五八才 2 | うちささやく(打囁) | | うちとけまいらせてし | 秋四一才 6 |
| うち | 秋六三ウ 6 | うちさゝやきて | 秋七才 2 | うちとけ(連用法) | 秋四二才 6 |
| うち | 秋六三ウ 6 | うちさわぐ(打騒) | | うちとけ(中止法) | 秋四七才 10 |
| 内は | 書二一才 8 | うちさはぎて | 秋二四才 4 | うちとけ(中止法) | 秋四八才 1 |
| うち | 書二七才 4 | うちさはぎて | 秋三一才 6 | うちとけ申けんも | 秋四八才 1 |
| うち | 書二九才 9 | うちさはぎ給 | 秋三九ウ 10 | うちとけても | 書二一才 3 |
| うち | 書三一才 1 | うちさはぎて | 秋三九ウ 10 | うちとけたりし | 書二一才 3 |
| 内よりも | 書三四ウ 9 | うちさはぎて | 秋四三才 6 | うちとけ申給て | 秋四二才 3 |
| 内へ | 書三五才 9 | うちしはぶく(打咳) | | うちとけおぼす(打解思) | |
| うち(打) ↓ おほむつるうち | | うちしわぶきて | 秋三四才 10 | うちとけおぼす(連体法) | 秋五ウ 11 |
| うち(宇治) | | うちすさぶ(打荒) | | うちとけおぼすならば | 秋六ウ 4 |
| うちと | 秋二才 5 | うちすさびて | 秋四五ウ 9 | うちながむ(打眺) | |
| うちと | 秋六〇才 3 | うちすつ(打捨) | | うちながめて | 秋一七才 2 |
| うちうち(内内) | 秋一七ウ 7 | うちすてられて | 秋一四ウ 3 | うちながめて | 秋二〇ウ 6 |
| うち | 秋一七ウ 7 | うちすてられて侍こそ | 秋五五才 4 | うちながめて | 秋二〇ウ 9 |
| うち | 秋三一ウ 2 | うちすてゝ | 秋六四ウ 11 | うちながめ給し | 秋二五才 4 |
| うちおどろく(打驚) | | うちそばむ(打側) | | うちながめ給て | 秋二七ウ 10 |
| うちをどろきぬ | 秋三七才 5 | うちそばみ給へり | 秋五二ウ 3 | うちながめ給て | 秋三五才 7 |
| うちかさぬ(打重) | | うちそふ(打添) | | うちながめて | 秋三六才 8 |
| うちかさねて | 秋五ウ 9 | うちそへ(中止法) | 秋一三ウ 7 | うちながめて | 秋四六ウ 3 |
| うちかむ(打賜) | | うちたゆ(打絶) | | うちながめ給て | 秋六二ウ 3 |
| うちかみ給つゝ | 秋二四ウ 9 | うちたへ(中止法) | 秋五〇ウ 5 | うちながめ給て | 秋六二ウ 8 |

うちながむ

うつくしげなり

| | | | | | | |
|----------------|----------------|---------|--------------------|----------|------------|---------|
| うちながむ | うちながめけり | 秋六五ウ 6 | 内のおほいとは | 書二八ウ 6 | うちみ給より | 秋二二ウ 2 |
| うちのおほいどの(内大臣殿) | うちなきあふ(打泣合) | | うちのおほいどののうへ(内大臣殿上) | | うちよます(打詠) | |
| うちのおほいとの | うちなきあひたり | 秋二五才 4 | 内のおほみ殿ゝうゑは | 秋一ウ 9 | うちよませたまひて | 秋六二ウ 5 |
| うちのおほいとの | うちなく(打泣) | | うぢのをば(宇治小母) | | うちよむ(打読) | |
| うちのおほいとの | うちなき給へば | 秋二四才 11 | うぢのをばも | 秋三二ウ 5 | うちよみて | 秋二七ウ 11 |
| うちのおほいとの | うちなき給 | 秋二六ウ 3 | うちはじめ(打始) | | うちわたり(内裏辺) | |
| うちのおほいとの | うちなく(連体法) | 秋二六ウ 11 | うちはじめ(中止法) | 秋二一ウ 6 | うちわたり | 秋三七ウ 1 |
| うちのおほいとの | うちなきなど | 秋三四ウ 10 | うちはじめ(中止法) | 書二四ウ 6 | うちわたり | 秋三九才 8 |
| うちのおほいとの | うちなきぬ | 秋三八ウ 4 | うちはらふ(打払) | | うちわらふ(打笑) | |
| うちのおほいとの | うちなき給 | 秋五三ウ 10 | うちはらはせて | 秋三六才 4 | うちわらはせたまひて | 秋三ウ 7 |
| うちのおほいとの | うちなきて | 秋五五ウ 7 | うちはらふ(連体法) | 秋三六才 6 * | うちわらはせ給て | 秋八才 2 |
| うちのおほいとの | うちなきて | 秋五八才 8 | うちひそめきあふ(打密合) | | うちわらい給へる | 秋六六ウ 6 |
| うちのおほいとの | うちなかせ給て | 秋五九才 9 | うちひそめきあへり | 秋三六才 1 | うちゑむ(打笑) | |
| うちのおほいとの | うちなく(連体法) | 秋六五才 10 | うちひとりごと(打一言) | | うちゑませ給 | 秋一七ウ 7 |
| うちのおほいとの | うちなげく(打嘆) | | うちひとりごとにて | 秋一二才 5 | うちゑませ給ぬる | 秋三三ウ 8 |
| うちのおほいとの | うちなげく(連体法) | 秋四才 5 | うちふし(打臥) | | うつくし(美) | |
| うちのおほいとの | うちなびく(打靡) | | うちふしなど | 秋三四才 11 | うつくしけれど | 秋四才 1 |
| うちのおほいとの | うちなびく(連体法) | 秋五〇才 7 | うちふす(打臥) | | うつくしく(連用法) | 秋一才 2 |
| うちのおほいとの | うちなみだぐむ(打涙) | | うちふし給ても | 秋三六才 8 | うつくしかりしも | 秋一五ウ 11 |
| うちのおほいとの | うちなみだぐみて | 秋一七才 8 | うちほほゑむ(打微笑) | | うつくしく(連用法) | 秋二四才 2 |
| うちのおほいとの | うちなみだぐみ給へり | 秋四一ウ 5 | うちほゝゑませ給て | 秋八才 10 | うつくしく(連用法) | 秋二四ウ 1 |
| うちのおほいとの | うちならす(打鳴) | | うちまかす(打任) | | うつくしき(連体法) | 秋二六才 5 |
| うちのおほいとの | うちならし給へば | 秋三八ウ 9 | うちまかせて | 秋四一ウ 10 | うつくしく(連用法) | 秋五四才 7 |
| うちのおほいとの | うちのおほいどの(内大臣殿) | | うちまぼる(打守) | | うつくしく(中止法) | 秋五四才 11 |
| うちのおほいとの | うちのおほいとの | 秋六一才 3 | うちまぼらる | 秋五四ウ 2 | うつくしきを | 書二四ウ 11 |
| うちのおほいとの | うちのおほいとの | 書二六ウ 9 | うちみる(打見) | | うつくしげなり(美) | |

| | | | | | |
|-------------|-------|------------------------|--------|-----------------|--------|
| うつくしげに(連用法) | 秋六六才4 | うへの | 秋二九ウ3 | うみまいらせて | 秋四〇ウ5 |
| うつくしさ(美) | | うへ(上・女君) ↓ちやつらくじのうへ | | うみまいらせ給へる | 書二六才10 |
| うつくしき | 秋二ウ8 | うへは | 秋二二ウ9 | うみ給たりける | 書三八ウ4 |
| うつくしき | 秋一五ウ8 | うへ(上・帝) | | うみ給てければ | 書三九ウ8 |
| うつくしき | 秋二四才7 | うゑは | 秋二一才1 | うめ(梅) | |
| うつくしきを | 秋五三才3 | うゑの | 秋二五才7 | 梅 | 秋三五才4 |
| うつくしさも | 秋六六才6 | うゑは | 秋二五ウ5 | うらみ(恨) | |
| うつくしさを | | うゑは | 秋二一才7 | うらみに | 秋一才5 |
| うつくしさを | | うゑの | 秋三二才11 | うらみなくさめ(恨慰) | |
| うつくしさを | | うゑ | 秋三三才2 | うらみなくさめなど | 秋七ウ5 |
| うつくしさを | | うゑの | 秋四九ウ9 | うらみなし(恨無) | |
| うつくしさを | | うへは | 秋五〇才6 | うらみなくて | 秋三八ウ5 |
| うつくしさを | | うへは | 書二二才10 | うらみわぶ(恨侘) | |
| うつくしさを | | うへは | 書二二ウ4 | うらみわびさせ給て | 秋二五ウ11 |
| うつくしさを | | うへ(上) ↓おはらのあまうへ・だいしやうど | | うらむ(恨) 《四段》 | |
| うつくしさを | | ののうへ・ははうへ | | うらむべきならず | 秋一三ウ8 |
| うつくしさを | | うゑ | 秋三七才2* | うらみてぞ | 秋三五才9* |
| うつくしさを | | うゑと | 秋三七才9 | うらみて侍にや | 秋五三才7 |
| うつくしさを | | うへの | 秋四三ウ4 | うらむ(恨) 《上二段》 | |
| うつくしさを | | うへには | 秋六一ウ3* | うらみさせ給て | 秋一才6 |
| うつくしさを | | うへ(上・宮中) | | うらめし(恨) ↓ものうらめし | |
| うつくしさを | | うゑに | 秋五八才1 | うらめしく(連用法) | 秋四ウ7 |
| うつくしさを | | うゑに | 秋五八才2 | うらめしくとなん | 秋六ウ1 |
| うつくしさを | | うみいづ(生出) | | うらめしく(連用法) | 秋九才2 |
| うつくしさを | | うみいで給たりければ | | うらめしなど | 秋一四才9* |
| うつくしさを | | うむ(生) | 書二五才1 | うらめしく(連用法) | 秋二一才9 |

うらめし え

| | | | |
|----------------|----------|---------------------------------|---------|
| うらめしく(連用法) | 秋二一ウ 10 | うれしく(連用法) | 秋三オ 3 |
| うらめしく(連用法) | 秋二三オ 4 | うれしうも 秋三ウ 2 《鎌倉時代物語集成「たれしら」と翻字》 | 秋三オ 3 |
| うらめしく(連用法) | 秋三五ウ 5 | うれしく侍べき | 秋九オ 9 |
| うらめしくて | 秋四三ウ 4 | うれしかりける | 秋九ウ 3 |
| うらめしく(連用法) | 秋四七オ 7 | うれしくこそ侍れ | 秋二三オ 1 |
| うらめしくて | 秋四七ウ 8 | うれしくこそ | 秋二五オ 11 |
| うらめしからぬ | 秋四七ウ 10 | うれしく(連用法) | 秋三〇オ 5 |
| うらめしからぬ | 秋五一オ 4 * | うれしくも | 秋三三オ 7 |
| うらめしくや | 秋五三オ 5 | うれしく(連用法) | 秋三五ウ 10 |
| うらめしき(連体法) | 書二三オ 2 | うれしなから | 秋四〇オ 8 |
| うらめしく(連用法) | 書二七ウ 5 | うれしなから | 秋四二オ 11 |
| うらめしげなり(恨) | 秋二四ウ 4 | うれしけれ(「こそ」の結び) | 秋四四オ 7 |
| うらめしげに(連用法) | 秋五一ウ 7 | うれし(終止法) | 秋四四ウ 10 |
| うらめしげに(中止法) | | うれしと | 秋四九ウ 11 |
| うらめしさよと | 秋四一ウ 4 | うれしからましと | 秋五〇オ 5 |
| うらやまし(羨) | | うれしき(連体法) | 秋五五オ 2 |
| うらやましくなむ | 秋四〇ウ 3 | うれしく(連用法) | 秋五七オ 5 |
| うらやましく(連用法) | 書三二オ 11 | うれしくて | 秋五七オ 11 |
| うららかなり(麗) | | うれしく(連用法) | 秋五九オ 3 |
| うららかなりし | 秋二三オ 11 | うれしけれ(「こそ」の結び) | 秋六一オ 9 |
| うるはし(麗) | | うれしく(中止法) | 秋六二オ 1 |
| うるはしくて | 秋六五オ 6 | うれしく(連用法) | 書二五オ 2 |
| うるぶ(潤) ↓ ひたうるぶ | | うれしく(連用法) | 書二六オ 8 |
| うれし(嬉) | | うれしく(連用法) | 書二七ウ 8 |
| うれしく(連用法) | 秋三オ 1 | うれしく(中止法) | 書二七ウ 10 |

え

| | |
|------------|----------|
| うれしく(連用法) | 書三三オ 7 |
| うれしきにも | 書三五ウ 3 |
| うれしげなり(嬉) | |
| うれしげに(連用法) | 秋三四ウ 5 |
| うれしげに(連用法) | 秋五六ウ 6 |
| うれしさ(嬉) | |
| うれしさに | 秋二七オ 6 |
| うれしさなど | 秋四二ウ 9 |
| うれしさに | 書三八ウ 7 |
| うれふ(憂) | |
| うれへさせ給て | 秋四〇ウ 2 |
| うゑおく(植置) | |
| うゑをかれし | 秋三五オ 2 |
| え(江) | |
| えの | 秋四五ウ 9 |
| え(枝) | |
| へは | 秋四六ウ 1 * |
| え《副詞》 | |
| え | 秋一四ウ 1 |
| え | 秋二八ウ 4 |
| え | 秋三四ウ 7 |
| え | 秋四六オ 8 |

お

| | | | | | | |
|----------|---------|----------|-------------------------|-----------|-----------------|---------|
| えんなし(縁無) | えんなしにこそ | 秋三五才 8 * | おきめる(起居) | 秋三七才 7 | おこなひ(行) | 秋四八才 5 |
| えだ(枝) | えだに | 書二二才 4 | をきぬ給て | 秋四七才 7 | をこないなども | 秋四八才 5 |
| え | え | 秋六一才 1 | をきぬつゝ | 秋四五才 4 | おこなひなどか | 秋四八才 5 |
| え | え | 書二二才 3 | おく(奥) | 秋二二才 7 | おこなはるゝか | 秋四四才 1 |
| え | え | 書二二才 4 | おくの | 秋二二才 7 | おこなひてぞ | 書四〇才 10 |
| え | え | 書二二才 4 | おく(起) ↓ ふしおく | 秋七才 9 | おこりおこりす(起) | 秋一四才 10 |
| え | え | 書二二才 4 | をきられよ | 秋五五才 1 | おこり するを | 秋一四才 10 |
| え | え | 書二二才 4 | おく(置) ↓ うゑおく・おほせられおく・かき | 書二四才 6 | おこる(起) | 秋一四才 10 |
| え | え | 書二二才 4 | おく・ききおく・とりおく・まうしおく | 秋五五才 1 | おこる(起) | 秋一四才 10 |
| え | え | 書二二才 4 | をかせ給へ | 書二四才 6 | をこりてをはしますと | 秋一四才 10 |
| え | え | 書二二才 4 | おくと | 秋二四才 6 | おこりて | 秋二四才 4 |
| え | え | 書二二才 4 | おくふかし(奥深) | 秋六才 9 | おさへ(押) ↓ かしらおさへ | 秋二四才 4 |
| え | え | 書二二才 4 | をくふかく(中止法) | 秋六才 9 | おしたつ(押立) | 秋二四才 4 |
| え | え | 書二二才 4 | おくる(送) ↓ みおくる | 秋六才 9 | おしたて(中止法) | 秋二四才 4 |
| え | え | 書二二才 4 | をくりきこゑん | 秋五才 6 | おしのごふ(押拭) | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をくれなど | 秋六三才 9 | をしのごいて | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おくる(贈) | 秋六三才 9 | をしのごひ給へば | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おくらせ給 | 秋二二才 3 | をしはかる(推量) | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おくる(遅) | 秋二二才 3 | をしはかられて | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をくれじと | 書三三才 5 | をしはかられて | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おくれさきだつ(遅先立) | 書三三才 5 | をしはかられて | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をくれさきだつなど | 書三三才 11 * | をしはからせ給はんも | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おきつるを | 書三三才 4 | をしはかり | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おきふし(起臥) | 書三三才 4 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をきふし(連用法) | 秋二五才 5 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をきふし(中止法) | 秋六〇才 7 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おきめる(起居) | 秋六〇才 7 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をきぬ給て | 秋三七才 7 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をきぬつゝ | 秋四五才 4 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おく(奥) | 秋二二才 7 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おくの | 秋二二才 7 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おく(起) ↓ ふしおく | 秋七才 9 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をきられよ | 秋五五才 1 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おく(置) ↓ うゑおく・おほせられおく・かき | 書二四才 6 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おく・ききおく・とりおく・まうしおく | 秋五五才 1 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をかせ給へ | 書二四才 6 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おくと | 秋二四才 6 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おくふかし(奥深) | 秋六才 9 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をくふかく(中止法) | 秋六才 9 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おくる(送) ↓ みおくる | 秋六才 9 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をくりきこゑん | 秋五才 6 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をくれなど | 秋六三才 9 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おくる(贈) | 秋六三才 9 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おくらせ給 | 秋二二才 3 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おくる(遅) | 秋二二才 3 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をくれじと | 書三三才 5 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | おくれさきだつ(遅先立) | 書三三才 5 | | 秋四才 6 |
| え | え | 書二二才 4 | をくれさきだつなど | 書三三才 11 * | | 秋四才 6 |

おしやり(押遣)

ゝ(を)しやりなど

おしやる(押遣)

をしやり給て

おそろし(恐) ↓ものおそろし

をそろしくも

をそろしく(連用法)

をそろしけれども

をそろしき(連体法)

をそろしく(連用法)

をそろしく(連用法)

おそろしく(中止法)

おそろしさ(恐)

をそろしきにも

おだし(穩)

をだしく(連用法)

おつ(落)

をち給

をちて

をちて

をち給を

おつる

おと(音)

おとも

をとも

秋二六才 2

秋二六才 2

秋一四才 7

秋八才 5

秋九才 4

秋二二才 1

秋二二才 1

秋二九才 2

秋二九才 9

秋二九才 8

秋四四才 10

秋三六才 5

書二八才 9

秋三〇才 6

秋三四才 1

秋三七才 7

秋四七才 4

秋五三才 4

書二二才 4

秋二二才 4

秋二二才 4

秋二六才 2

をとも

おとす(落)

おとさぬ

おとづる(訪)

をとづれ(連用法)

おとづれ(訪)

おとづれや

おとと(弟)

おとゝは

おとゝ

おとどのきたのかた(大臣北方)

おとどのきたのかたの

おとな(大人)

をとなに

おとなし(大人)

おとなしき(連体法)

おとる(劣)

おとらしものをと

をとらしものをなど

おとりても

おとりて

をとり給はぬ

おとらず

おどろく(驚) ↓うちおどろく

おどろかせ給て

秋三四才 4

秋四五才 8

秋五五才 11

秋五五才 6

書三五才 8

書三五才 11

秋四一才 7

秋一〇才 6

秋一二才 8

秋三才 10

秋二一才 3

秋二四才 8

秋三一才 5

秋五三才 5

書二八才 3

書二八才 5

秋九才 11

をどろきて

おなじ(同)

おなじ(連体法)

をなじ(連体法)

をなじ(連体法)

をなじくは

をなじくは

おなじくは

おに(鬼)

おになどに

おのおの(各)

をの

おのづから(自)

をのづから

をのづから

をのづから

おはしあふ(御座合)

をはしあへ

おはします(御座)《本動詞》

おはしますにや

をはしましぬめりと

おはしまさんと

おはしまして

おはしませなど

おはしませ

秋三四才 5

秋二〇才 10

秋三三才 4

秋三五才 6

秋五〇才 4

秋五〇才 9

書二七才 3

秋三才 5

秋六才 5

秋二〇才 5

書三二才 6

秋三〇才 4

秋六一才 9

秋一四才 6

秋一才 9

秋一才 11

秋二才 4

秋五才 8

秋六才 8

秋八才 7

| | | | | | | |
|-------|-----|---------|-----------------|---------|-------------------------|---------|
| おはします | おはす | | | | | |
| おはします | おはす | 秋九才 11 | おはしますぞと | 秋三九ウ 4 | なさけなくをはしましけるに | 秋四才 10 |
| おはします | おはす | 秋一〇ウ 1 | をはしますすにかと | 秋三九ウ 6 | うつくしくおはしませば | 秋一才 3 |
| おはします | おはす | 秋一四ウ 1 | おはしますと | 秋三九ウ 9 | をこりてをはしますと | 秋一四ウ 10 |
| おはします | おはす | 秋一四ウ 9 | おはしますさぬ | 秋四〇ウ 4 | まぎれをはしまして | 秋二五才 10 |
| おはします | おはす | 秋一五才 3 | おはしますすらんと | 秋四七才 1 | 成をはしましぬるにやと | 秋三四ウ 9 |
| おはします | おはす | 秋一五才 5 | おはします「こそ」の結び | 秋五三才 2 | はいておはしましたり | 秋三八ウ 10 |
| おはします | おはす | 秋二〇才 5 | おはしますす | 秋五三ウ 1 | めでたくをはしましければ | 秋四四ウ 4 |
| おはします | おはす | 秋二〇才 5 | をはしますすらんと | 秋五七才 3 | かへらせをはしましなはずらん | 秋四七才 3 |
| おはします | おはす | 秋二二才 5 | をはしますすらんと | 秋五八才 2 | たづねをはしまして | 書二四ウ 4 |
| おはします | おはす | 秋二二才 7 | おはしますさず | 秋五八才 2 | ありがたくおはしますを | 書二八ウ 3 |
| おはします | おはす | 秋二四ウ 3 | をはします(連体法) | 秋五八ウ 5 | をろかにを「は」しまさじ | 秋六五才 1 |
| おはします | おはす | 秋二四ウ 6 | おはしますば | 秋六一才 8 | いでをはしましぬれば | 書四〇ウ 6 |
| おはします | おはす | 秋二五ウ 2 | おはしますと | 秋六三ウ 6 | おはす(御座) ↓ いそぎおはす・いでおはす・ | |
| おはします | おはす | 秋二七才 2 | をはしますと | 秋六四ウ 9 | はひおはす・まありおはす | |
| おはします | おはす | 秋二七才 8 | をはしますて | 書一一才 6 | をはしたるにやと | 秋三才 8 |
| おはします | おはす | 秋二七才 11 | おはしますさず | 書一五才 6 | をはしたるにやと | 秋七才 10 |
| おはします | おはす | 秋二七ウ 4 | をはしますば | 書二五ウ 5 | おはするを | 秋八才 11 |
| おはします | おはす | 秋二八才 8 | おはします「こそ」の結び | 書二五ウ 10 | おはするを | 秋一〇才 10 |
| おはします | おはす | 秋二八ウ 6 | をはします「こそ」の結び | 書二六才 10 | おはするぞと | 秋一〇才 10 |
| おはします | おはす | 秋二九ウ 3 | をはしますさぬ | 書二八ウ 8 | をはすらめなど | 秋一〇才 10 |
| おはします | おはす | 秋二九ウ 6 | をはしますましかば | 書三〇ウ 1 | をはしたるらんとは | 秋一〇才 10 |
| おはします | おはす | 秋三〇ウ 4 | おはします | 書三〇ウ 1 | なをはしそ | 秋一〇才 10 |
| おはします | おはす | 秋三三ウ 2 | をはしましたりし | 書三四才 11 | をはすると | 秋一〇才 10 |
| おはします | おはす | 秋三三ウ 4 | をはしましける | 書三八ウ 6 | おはしぬる | 秋一〇才 10 |
| おはします | おはす | 秋三四ウ 7 | をはしますせど | 書三九才 3 | おはしぬる | 秋一〇才 10 |
| おはします | おはす | 秋三五ウ 11 | おはしますとて | 書三九ウ 1 | おはしたるにこそと | 秋一〇才 10 |
| おはします | おはす | 秋三九才 10 | をはしましける | 書四〇才 11 | をはすらんと | 秋一〇才 10 |
| おはします | おはす | 秋三九才 11 | おはします(御座)《補助動詞》 | | | |

| | | | | | |
|--------------|--------|--------------|--------|------------------------------|--------|
| をはせじ | 秋二三才10 | をはせよ | 秋四九才8 | おはする(終止法) | 書三五ウ1 |
| をはずるぞ | 秋一七ウ2 | をはずめり | 秋五〇ウ1 | おはすめれば | 書三六才1 |
| をはせぬか | 秋一八才4 | をはせぬど | 秋五〇ウ6 | をはずるにこそと | 秋六五ウ11 |
| をはずらん | 秋一八才5 | おはしけめとこそは | 秋五一才5 | おはすらん | 書三九ウ7 |
| をはしたれば | 秋二二ウ1 | をはずれば | 秋五二才3 | おはら(大原) ↓ おほはら | |
| をはずれば | 秋二二ウ4 | おはするにこそと | 秋五二才5 | おはらなどにや | 秋一三才9 |
| をはしける | 秋二二ウ7 | おはしたれば | 秋五二才8 | おはらなどにや | 秋一八才5 |
| をはずるを | 秋二四才1 | をはせぬば | 秋五二才10 | をはらへ | 秋二六才11 |
| をはずるに | 秋二四才2 | をはずるにやと | 秋五四才3 | をはらの | 秋四二ウ5 |
| をはずるにも | 秋二四ウ1 | おはしたれば | 秋五四ウ7 | おはらに | 秋四二ウ8 |
| をはずるにも | 秋二五才8 | おはする(「か」の結び) | 秋五六才10 | をはらよりとて | 秋五六ウ10 |
| をはしたれば | 秋二六才11 | をはせよと | 秋五六才11 | おはらよりと | 秋五七才7 |
| をはせよ | 秋二六ウ4 | をはせざんなる | 秋五六ウ4 | おはらのあま(大原尼) | |
| おはすれば | 秋二七才2 | をはずれば | 秋六一才3 | おはらの尼がと | 秋五八才5 |
| をはせぬ | 秋二八才9 | おはせぬ | 秋六二才2 | おはらのあまぎみにさへ | 秋二六ウ6 |
| おはすなると | 秋三〇才4 | をはしたりしは | 秋六四才11 | おはらのあま(大原尼君) | |
| をはせざりしかど | 秋三一ウ6 | をはしたりし物を | 秋六四ウ1 | おはらのあま(大原母) | |
| おはすめれ | 秋三二才6 | をはしぬらんと | 秋六四ウ11 | おはらのほも | 秋三三ウ2 |
| をはしたるに | 秋三四才8 | をはしたりけん | 書三三才7 | おひいづ(生出) | |
| をはずるとだに(終止法) | 秋三六ウ3 | おはせんも | 書二六才8 | をいゝで給 | 秋五三才3 |
| をはず | 秋三六ウ7 | をはずればとて | 書二七才11 | をいゝづる(連体法) | 秋五四ウ10 |
| をはずと | 秋四二ウ8 | をはしける | 書三〇ウ11 | をいゝでんずらんと | 秋五五ウ7 |
| をはせぬにやと | 秋四四ウ2 | をはしけり | 書三一才3 | をいゝで給はゞ | 書二六才4 |
| をはしぬ | 秋四七ウ3 | をはずける | 書三一才4 | おひます(生優) | |
| おはするを | 秋四八才11 | をはずる(連体法) | 書三一才5 | をいまし給へる | 秋六六才6 |
| をはせぬ | 秋四八ウ5 | をはずれば | 書三二才3 | おほいとのおほいとの(大臣殿) ↓ うちのおほいどの・う | |

| | | | | |
|---------------------|---------------|---------|-------------|---------|
| ちのおほいどののうへ・みぎのおほいどの | おほしいでられて | 秋三三才 3 | おほしつゞけて | 秋五二ウ 8 |
| 大るとのゝ | おほしいでられて | 秋三四才 7 | おほしつゞけられて | 書三三ウ 2 |
| 大いとのに | おほしいでゝ | 秋四二ウ 9 | おほしとる(思取) | |
| おほいどののうへ(大臣殿上) | おほしいでじ | 秋四七ウ 6 | おほしとらるゝに | 秋四一才 4 |
| 大ら殿ゝうゑ | おほしいでらる | 書三八ウ 2 | おほしとりて | 書二四才 3 |
| おほえ(覚)↓おほむおほえ・よおほえ | おほしいる(思入) | | おほしなげく(思嘆) | |
| おほかた(大方) | おほしいらん | 秋二一才 6 | おほしなげきたり | 秋三〇才 9 |
| おほかた | おほしいらんも | 秋二二才 10 | おほしなげくべし | 秋三一ウ 9 |
| おほかたの | おほしいらるゝに | 秋二九才 7 | おほしなげかせ給と | 秋三三才 7 |
| おほかた | おほしいらる | 秋五〇才 6 | おほしなげかる | 秋三六ウ 5 |
| おほかた | おほしいらるゝ | 書二二ウ 11 | おほしなげく | 秋四八ウ 5 |
| おほかど(大門) | おほしうとむ(思疎) | | おほしなげくべからずと | 秋六三才 3 |
| おほかど | おほしうとませ給はず | 秋二五才 9 | おほしなげく(連体法) | 書二八ウ 10 |
| おほきなり(大) | おほしかはず(思交) | | おほしなす(思為) | |
| おほきに(連用法) | おほしかはしたりし | 秋一九才 4 | おほしなして | 秋六ウ 3 |
| おほし(多) | おほしかはしたり | 書三九才 7 | おほしねんず(思念) | |
| おほくて | おほしすつ(思捨) | | おほしねんず | |
| おほかるべし | をほしすてよ | 秋五〇才 10 | おほしはなつ(思放) | 秋三〇ウ 4 |
| おほし(思) | おほしすつまじかりし物をと | 秋五二ウ 7 | おほしはなつ(思放) | |
| おほしも | おほしすてじと | 秋六一才 9 | おほしはなる(思離) | 書二七才 7 |
| おほしあはず(思合) | おほしすてゝよ | 書二一ウ 10 | おほしはなれじと | 秋一九才 7 |
| おほしあはせて | おほしそむ(思初) | | おほしまどふ(思惑) | |
| おほしいづ(思出) | おほしそめてし | 秋六六才 11 | おほしまどいしかども | 秋二九才 10 |
| おほしいづるに | おほしつゞく(思続) | | おほしまどいしも | 秋五九ウ 9 |
| おほしいづらんと | おほしつゞくる(連体法) | 秋二六ウ 10 | おほしみだる(思乱) | |
| おほしいづるにも | おほしつゞくるに | 秋五一才 8 | おほしみだる | 秋五〇ウ 10 |

おぼしめしなげく(思召嘆)

書二四ウ 8

おぼしめして

秋二一才 2

おぼしめす

書二六才 7

おぼしめしなげく

おぼしめすにや

秋二一才 3

おぼしめすべし

書二八ウ 1

おぼしめしまさる(思召増)

秋二六才 6

おぼしめせど

秋二一才 6

おぼしめす(連体法)

書二八ウ 5

おぼしめしまさらせ給て

秋二六才 6

おぼしめさる

秋二一才 10

おぼしめす

書三〇ウ 2

おぼしめしやる(思召遣)

秋六〇才 9

おぼしめす(連体法)

秋二一才 7

おぼしめす(「ぞ」の結び)

秋六六ウ 2

おぼしめしやらせ給へ

秋六〇才 9

おぼしめせ

秋二二ウ 11

おぼしやすらふ(思安)

秋二八才 5

おぼしめす(思召)

秋一ウ 2

おぼしめして

秋二五ウ 6

おぼしやすらうに

秋二八才 5

おぼしめすに

秋一ウ 2

おぼしめさるゝに

秋二五ウ 8

おぼしよるこぶ(思喜)

書三九才 11

おぼしめさるれば

秋一ウ 3

おぼしめさる

秋二六才 8

おぼしよるこびつゝ

書三九才 11

おぼしめすらんなど

秋二才 3

おぼしめさめ

秋二六ウ 6

おぼしよる(思忘)

書三九才 11

おぼしめすと

秋二才 4

おぼしめせども

秋二一才 8

おぼしわする(思忘)

書三九才 11

おぼしめすらん

秋二才 9

おぼしめしたる

秋二一才 11

おぼしわすれてかと

書二一才 5

おぼしめすにこそなど

秋二ウ 5

おぼしめしたる

秋三三才 10

おぼしわするべき

書二一才 5

おぼしめさるゝに

秋四ウ 5

おぼしめして

秋三三才 4

おぼしわづらはせ給

秋一一才 7

おぼしめしたる

秋七才 6

おぼしめしたるも

秋三三才 10

おぼしわびたるも

秋一八ウ 7

おぼしめすべきぞ

秋八才 7

をぼしめせば

秋三五ウ 7

おぼす(仰) ↓ ちぎりおぼす

秋一八ウ 7

おぼしめすべきならすなど

秋八才 9

おぼしめせば

秋四九才 1

おほせらるゝに

秋一才 7

おぼしめさる

秋九才 3

おぼしめしける

秋六〇ウ 1

おほせらるれば

秋一才 10

おぼしめすと

秋九才 9

おぼしめさじ

秋六〇ウ 10

おほせらるゝ

秋二才 6

おぼしめして

秋一〇才 6

おぼしめさる

書二一才 2

おほせらるゝ

秋三ウ 11

おぼしめさんをば

秋二一才 1

おぼしめす

書二一才 11

おほせられて

秋五ウ 9

おぼしめす

秋一五才 7

おぼしめしながら

書二一ウ 7

おほせられて

秋六才 1

おぼしめさる

秋一六ウ 3

おぼしめせど

書二一ウ 1

おほせらるゝに

秋七才 5

おぼしめさんも

秋一九ウ 8

おぼしめす

書二五才 3

おほせらるれど

秋七才 11

おぼしめせ

秋二〇才 11

おぼしめす

書二六才 5

おほせらるれば

秋七ウ 11

| | | | | | |
|-------------|---------|-------------|---------|-----------------|---------|
| おぼせらるゝに | 秋八才 3 | 仰らるれば | 秋二八ウ 10 | おぼせられて | 秋六〇才 4 |
| おほせられ | 秋九才 8 | おほせらるゝ | 秋三三才 1 | おほせられて | 秋六二才 6 |
| おほせらるゝ | 秋九ウ 2 | おほせらるゝに | 秋三四ウ 5 | おほせられ | 秋六二ウ 10 |
| おほせられて | 秋一才 1 | おほせられで | 秋三六才 4 | 仰られて | 秋六三才 4 |
| おほせらるゝに | 秋一才 6 | おほせらるゝに | 秋三七才 4 | おほせられて | 秋六三才 10 |
| おほせられて | 秋三才 1 | 仰られしぞかし | 秋四〇ウ 4 | おほせらるゝに | 書二二才 1 |
| 仰候しに | 秋四ウ 1 | おほせらるゝも | 秋四二才 7 | おほせらるゝを | 書二九才 8 |
| をほせられて | 秋四ウ 6 | おほせられて | 秋四二ウ 1 | おほせられしかば | 秋六五才 5 |
| 仰られ候つるとて | 秋四ウ 8 | おほせられ | 秋四二ウ 5 | おぼす(思) ↓うちとけおぼす | |
| おほせらるれば | 秋一四ウ 8 | おほせらるゝ | 秋四四才 8 | おぼすに | 秋三才 9 |
| おほせらるれば | 秋一五ウ 1 | おほせらるゝ | 秋四四才 8 | おぼすらん | 秋五才 1 |
| おほせらるれば | 秋一六才 5 | おほせられざりつるなど | 秋四七才 1 | おほされて | 秋五才 9 |
| おほせらるゝに | 秋一六才 9 | おほせられし | 秋四九才 5 | おぼしたるも | 秋五ウ 7 |
| おほせらるれば | 秋一七才 10 | 仰られしとて | 秋四九才 9 | おぼすにや | 秋六ウ 1 |
| 仰らるゝに | 秋一七ウ 2 | おほせられざりつる | 秋四九ウ 2 | おぼさん | 秋六ウ 5 |
| おほせらるゝにこそ | 秋一八ウ 5 | おほせられず | 秋四九ウ 7 | おぼすにこそ | 秋七ウ 2 |
| おほせ候しなごこそ | 秋一八ウ 9 | おほせらるゝに | 秋五三才 7 | おぼすとも | 秋七ウ 3 |
| おほせらるゝ | 秋一八ウ 11 | 仰られて | 秋五五ウ 2 | おぼすとも | 秋八ウ 2 |
| おほせられよ | 秋一九ウ 2 | おほせられて | 秋五五ウ 10 | おぼさん | 秋九ウ 3 |
| おほせられず | 秋二一才 7 | おほせられて | 秋五六才 5 | おぼす覽と | 秋一〇才 8 |
| おほせらるれば | 秋二二ウ 9 | おほせらるれども | 秋五六才 7 | おぼされて | 秋一〇才 9 |
| 仰候まじき也とて | 秋二三才 3 | 仰らるれども | 秋五六ウ 4 | おぼして | 秋一二才 9 |
| おほせられて | 秋二四才 11 | おほせらるゝ | 秋五七才 2 | おぼさめ | 秋一三才 4 |
| おほせられざらんやはと | 秋二四ウ 4 | 仰られたれば | 秋五八才 6 | おぼすに | 秋一三才 4 |
| 仰らるゝに | 秋二八ウ 2 | おほせらるゝに | 秋五九才 6 | をぼすに | 秋一三ウ 3 |
| おほせらるれば | 秋二八ウ 4 | おほせられつると | 秋五九才 8 | おぼすにも | 秋一三ウ 11 |
| おほせらるれば | 秋二八ウ 5 | おほせらるゝに | 秋五九ウ 7 | | |

おぼす おぼつかなし

| | | | | | |
|-------------|---------|-----------|---------|--------------|---------|
| おぼして | 秋一四才 4 | おぼす(連体法) | 秋四三才 2 | おぼすに | 書二二ウ 4 |
| おぼされて | 秋一六ウ 10 | おぼせど | 秋四三ウ 2 | おぼす | 書二六才 8 |
| おぼして | 秋一七才 10 | おぼしたりつる | 秋四六ウ 6 | おぼしたれば | 書二六ウ 10 |
| おぼして | 秋一七ウ 9 | おぼしたりしかど | 秋四七ウ 5 | 思しに | 書二七ウ 6 |
| おぼす(連体法) | 秋一八才 3 | おぼすらん | 秋四九才 11 | おぼさざらん | 書二七ウ 11 |
| おぼしたり | 秋一八才 8 | おぼしたりしに | 秋四九ウ 1 | おぼしたり | 書二八才 5 |
| おぼしぬべけれども | 秋一九才 2 | おぼすらん | 秋五〇才 1 | おぼして | 書三〇ウ 10 |
| おぼさじ | 秋一九才 11 | おぼすか | 秋五〇才 10 | おぼすべき | 書三一才 7 |
| おぼせば | 秋二〇ウ 4 | おぼして | 秋五二才 5 | おぼさず | 書三二才 4 |
| おぼしたりつる | 秋二〇ウ 10 | おぼしたりしにと | 秋五二ウ 4 | おぼして | 書三三才 10 |
| おぼすとも | 秋二一ウ 1 | おぼす覧 | 秋五三才 4 | おぼしたりしぞかし | 秋六六ウ 3 |
| おぼす(「か」の結び) | 秋二三才 7 | おぼすらんと | 秋五三才 6 | おほせど | 書三八才 7 |
| おぼすらん | 秋三三ウ 4 | おほせど | 秋五四才 8 | おほせられおく(被仰置) | 書三二ウ 5 |
| おぼして | 秋二四才 5 | おぼしたれど | 秋五四ウ 9 | おほせられをきし | |
| おぼすに | 秋二六才 4 | おぼしたり | 秋五五才 9 | おほぢ(大路) | |
| おぼさんと | 秋二八ウ 8 | おぼすにやと | 秋五六才 11 | おほぢに | 書二七才 11 |
| おぼさんと | 秋二九ウ 1 | おほさで | 秋五七ウ 9 | おぼつかながる(覚束無) | |
| をぼしたれど | 秋二九ウ 8 | おほさで | 秋五七ウ 10 | おぼつかながり | 秋二〇才 3 |
| おぼす | 秋三〇才 6 | おほさざとも | 秋六〇ウ 8 | おぼつかなさ(覚束無) | |
| おほせば | 秋三〇ウ 9 | おぼすに | 秋六一才 10 | おぼつかなさに | 秋四二ウ 2 |
| おぼして | 秋三四才 5 | おぼすに | 秋六四才 8 | おぼつかなさに | 書三九才 10 |
| おぼすに | 秋三六才 9 | おぼしたり | 秋六四才 10 | おぼつかなし(覚束無) | |
| おぼしたりつる | 秋三八ウ 1 | おほして | 秋六四ウ 1 | おぼつかなく | 秋一〇才 5 |
| おぼすらんと | 秋三九才 7 | おぼしたりつれども | 秋六四ウ 5 | おぼつかなく | 秋二二ウ 11 |
| おぼすに | 秋四〇才 6 | おぼすらん | 書二一ウ 8 | おぼつかなく侍とて | 秋二六ウ 2 |
| おぼすらん | 秋四一ウ 4 | おほさる | 書二二才 7 | おぼつかなく | 秋三二ウ 2 |

| | | | | | |
|-------------------|---------|-----------------|---------|----------------|---------|
| おぼつかなきに | 秋五六才 10 | おぼえさせ給 | 秋一五才 9 | おぼえて | 秋三七才 4 |
| おぼつかなくとて(中止法) | 秋六二才 8 | おぼえ侍也と | 秋一五ウ 7 | おぼえ給 | 秋三七才 6 |
| おほとのごもる ↓おほむとのごもる | | おぼゆるに | 秋一六才 7 | おぼゆ | 秋三八才 11 |
| おほはら(大原) ↓おはら | | おぼえずや | 秋一六ウ 2 | おぼえぬ | 秋三八ウ 5 |
| おほはらへ | 書二一才 3 | おぼえねば | 秋一八ウ 2 | おぼえさせ給へば | 秋三八ウ 11 |
| おほはらへ | 書三四才 10 | おぼえずと | 秋一八ウ 11 | おぼえて | 秋三九才 9 |
| おほはらのあまうへ(大原尼上) | | おぼえ侍らね | 秋二〇才 10 | おぼゆる(「ぞ」の結び) | 秋四二ウ 7 |
| おほはらのあまうへの | 書三四才 1 | おぼゆ | 秋二〇ウ 3 | おぼえさせ給ける | 秋四三才 1 |
| おほはらのあまぎみ(大原尼君) | | おぼえざりし | 秋二一ウ 7 | おぼえつるに | 秋四四ウ 3 |
| おほはらのあま君 | 書二四ウ 4 | おぼえ給 | 秋二一ウ 10 | おぼゆれば | 秋四六ウ 7 |
| おほゆ(覚) | | おぼえ侍れと | 秋二二才 9 | おほゆれと(「こそ」の結び) | 秋四六ウ 10 |
| おぼえさせたまふ | 秋三才 1 | おぼえて | 秋二二ウ 3 | おぼえさせ給へば | 秋四七才 8 |
| おぼえぬまゝに | 秋三才 2 | おぼゆれなど(「こそ」の結び) | 秋二五才 11 | おぼえ給はず | 秋四七ウ 11 |
| おぼえさせたまふ | 秋三才 3 | おぼえさせ給へば | 秋二六ウ 11 | 覚給 | 秋四八才 2 |
| おぼえて | 秋三ウ 6 | 覚給 | 秋二九才 4 | おぼえ給はで | 秋四八才 3 |
| おぼえさせ給へども | 秋四才 7 | をぼえねど | 秋三〇ウ 7 | おぼえ給はず | 秋四八ウ 4 |
| おぼえさせ給 | 秋四ウ 7 | おぼえ給 | 秋三〇ウ 11 | おぼえて | 秋四九ウ 3 |
| おぼえず | 秋五才 3 | おぼえて | 秋三一ウ 11 | おぼゆ | 秋四九ウ 4 |
| おぼゆ | 秋五才 6 | おぼゆ | 秋三三才 7 | おぼえず | 秋五〇才 1 |
| おぼえず | 秋六ウ 10 | おぼゆ | 秋三三才 11 | おぼえて | 秋五〇才 4 |
| おぼえて | 秋六ウ 11 | おぼゆ | 秋三三ウ 5 | おぼゆると(「ぞ」の結び) | 秋五〇ウ 4 |
| おぼえ給はず | 秋七才 1 | おぼえ侍と | 秋三三ウ 7 | おぼえ給へば | 秋五〇ウ 9 |
| おぼゆれば | 秋八才 5 | おぼゆ | 秋三三ウ 10 | おぼえて | 秋五一才 1 |
| おぼゆればなど | 秋一才 1 | おぼえ候とて | 秋三四ウ 10 | おほへ給へば | 秋五一ウ 1 |
| おぼゆれ(「こそ」の結び) | 秋一才 5 | 覚給 | 秋三五ウ 5 | おぼえ侍らず | 秋五二才 1 |
| おぼえず | 秋一五才 1 | おぼえ給へば | 秋三五ウ 9 | おぼゆれば | 秋五二才 7 |

おぼゆ おほむかたがた

| | | | | | |
|----------|---------|------------------------|---------|--------------|---------|
| おぼゆ | 秋五二ウ 1 | おぼえし | 書三八才 11 | 御思ひのみ | 秋三一才 3 |
| 覚給へば | 秋五二ウ 8 | おぼろけ(臚) | | おほむかた(御方) | |
| おぼえ給 | 秋五二ウ 11 | おぼろけの | 秋七才 7 | 御かたに | 秋一才 8 |
| おぼえ侍らぬを | 秋五三才 9 | おほむ(御) ↓とうぐうのおほむめのと・にし | | 御方系 | 秋五才 7 |
| 覚侍 | 秋五三ウ 3 | のおほむかた・よるのおほむとこ・わかみ | | 御かたへ | 秋一〇ウ 7 |
| おぼゆ | 秋五五ウ 11 | やおほむめのとのうちなこんのすけ | | 御かたに | 秋一四才 1 |
| おぼえ給へば | 秋五六ウ 1 | おほむありさま(御有様) | | 御かたにぞ | 秋一五才 4 |
| 覚て | 秋五七才 5 | 御ありさまの | 秋二四才 7 | 御かたへ | 秋一五才 5 |
| おぼゆ | 秋五七ウ 3 | 御ありさま | 秋二七ウ 3 | 御かたへ | 秋一六ウ 5 |
| おぼゆるなりと | 秋五七ウ 11 | 御ありさま | 秋三一ウ 2 | 御方へ | 秋一七才 9 |
| おぼえ給 | 秋五八才 5 | 御ありさま | 書三五才 5 | 御方へ | 秋二八才 8 |
| おぼゆ | 秋五九才 3 | 御ありさま | 秋六六ウ 10 | 御方に | 秋二九ウ 5 |
| おぼえねども | 秋六三ウ 2 | 御ありさま | 書四〇才 4 | 御かた | 秋三〇ウ 11 |
| おぼえ給 | 書三三才 10 | おほむありさまども(御有様共) | | 御かたなどにも | 秋三〇ウ 11 |
| おぼえ給はねば | 書三三ウ 3 | 御ありさまども | 書三五才 2 | 御かたへ | 秋三八才 11 |
| おぼゆらん | 書三三ウ 4 | おほむいのり(御祈) | | 御かたへ | 秋三八ウ 8 |
| おぼえつゝ | 書二六ウ 6 | 御いのりなど | 書三九ウ 3 | 御かたにも | 秋三九才 11 |
| おぼえず | 書二七才 3 | おほむいのりども(御祈共) | | 御かたへ | 秋四一才 5 |
| おぼえ給 | 書二七ウ 5 | 御いのりども | 秋五三ウ 8 | 御方へ | 秋四三ウ 10 |
| おぼえたり | 書二七ウ 8 | おほむいみ(御忌) | | 御方へ | 秋四五才 9 |
| おぼえて | 書一九才 2 | 御いみに | 書二四才 4 | 御かたへ | 秋五四ウ 7 |
| おぼえ給 | 書三二才 11 | 御いみも | 書二四才 7 | 御かたより | 秋五六才 1 |
| おぼえて | 書三二ウ 8 | 御いみの | 書三二ウ 2 | 御かたへ | 秋五六才 6 |
| おぼえしかなど | 書三三ウ 2 | おほむおぼえ(御覚) | | おほむかたがた(御方方) | |
| おぼえさせ給ける | 書三五ウ 6 | 御をぼえ | 秋三一才 1 | 御かた | 秋一〇才 1 |
| おぼえずとて | 秋六五才 10 | おほむおもひ(御思) | | 御方 | 秋三一ウ 6 |

| | おほむかたち | おほむころ |
|---------------|-------------|------------|
| おほむかたち（御容姿） | 秋六六才6 | おほむくらゐ（御位） |
| 御かたちの | 御くらゐ | 御けしきにて |
| おほむかたはら（御傍） | 書二八才6 | 御けしきにて |
| 御かたはらに | 御けしき | 御けしきを |
| 御かたはら | 秋八ウ8 | 御けしきを |
| おほむかたみ（御形見） | 書三〇才3 | 御けしき |
| 御かたみと | おほむけしき（御気色） | 御けしき |
| おほむかはり（御代） | 秋三五ウ1 | 秋三ウ11 |
| 御かはりに | 御けしきの | おほむこ（御子） |
| 御かはりと | 御けしきを | 御こに |
| おほむかへりごと（御返事） | 秋六二才1 | おほむこち（御心地） |
| 御返事の | 秋六五才8 | 御心ちも |
| 御返事など | 秋一才11 | 御心ち |
| 御返事も | 秋三二才1 | 御心 |
| おほむかほ（御顔） | 秋三六才3 | 御心には |
| 御かほの | 御けしきの | 御心の |
| 御かほゝ | 秋二五ウ11 | 御心には |
| 御かほも | 御けしきを | 御心 |
| 御かほの | 秋三九才1 | 御心には |
| 御かを | 御けしきを | 御心 |
| おほむきにち（御忌日） | 秋五四才2 | 御心 |
| 御き日 | 書二七才2 | 御心 |
| おほむくちつき（御口付） | 秋四五ウ10 | 御心 |
| 御くちつきの | 書三一才10 | 御心 |
| おほむくどく（御功德） | 秋四六ウ7 | 御心 |
| 御くどくども | 御けしきは | 御心 |
| | 秋四七才6 | 御心 |
| | 御けしきに | 御心 |
| | 秋四九才5 | 御心 |
| | 御けしき | 御心 |
| | 秋四九ウ3 | 御心 |
| | 御けしきなりしかばにや | 御心 |
| | 秋四九ウ6 | 御心 |

おほむこころ

おほむしむちう

| | | | | | |
|----------------|--------|--------------|--------|---------------|--------|
| 御心の | 書二一ウ5 | 御事を | 秋二一ウ6 | 御こゑ | 秋二八才1 |
| 御心の | 書二四才5 | 御事ならぬを | 秋二二才6 | 御こゑ | 秋四四才9 |
| 御心には | 書二六ウ2 | 御事 | 秋二二才9 | 御こゑ | 秋六三才11 |
| 御心 | 書二八才1 | 御事さゑ | 秋三三ウ3 | おほむさいはひ(御幸) | 秋六〇ウ10 |
| おほむこころつ(御心得) | | 御事にこそ | 秋三八才10 | 御さいわいの | 書三九才6 |
| 御心へて | 秋五三ウ3 | 御ことも | 秋四五才3 | 御さいわいにて | 秋六七才3 |
| おほむこころがはり(御心変) | | 御ことにて | 書二五才2 | 御さいわい | |
| 御心がはりや | 秋一七才5 | 御事 | 書二六ウ3 | おほむさうそう(御葬送) | |
| おほむこころざし(御志) | | 御事 | 書二六ウ6 | 御さうそうは | 書三三ウ1 |
| 御心ざしも | 秋二一ウ11 | 御ことより | 書二七才3 | 御さうそうの | 書三三ウ9 |
| 御心ざしのみ | 秋二二才5 | 御事を | 書三〇ウ2 | 御さうそうの | 書三五ウ8 |
| 御心ざし | 秋二二才6 | 御ことの | 書三一ウ5 | おほむさはり(御障) | 秋三三ウ1 |
| 御心ざしの | 秋二五才7 | 御事 | 秋六五ウ8 | 御さはりは | |
| 御心ざし | 秋三一ウ10 | 御事にも | 秋六六ウ1 | おほむさま(御様) | |
| 御心ざしは | 秋四九ウ10 | 御事を | 秋六六ウ4 | おほむしやうぞく(御装束) | 秋五二才11 |
| 御心ざし | 書二四ウ2 | 御事 | 書四〇才1 | 御さま | |
| 御心ざしに | 書二八ウ2 | 御事のみ | 書四〇才9 | おほむしやうぞくなど | 書三四才3 |
| 御心ざしの | 書三八ウ7 | おほむことども(御事共) | 書二九ウ9 | おほむしやうぞく(御装束) | |
| おほむこころす(御心) | | 御ことゞもは | 秋一一才3 | 御しやうぞくなど | 秋三〇ウ4 |
| 御こころせしかば | 秋二ウ2 | おほむことわり(御理) | 秋一九ウ9 | おほむしるし(御印) | |
| おほむこと(御事) | | 御事はりぞなど | 秋二一才8 | 御しるしに | 秋四四ウ9 |
| 御事は | 秋七才6 | 御ことはりに | 秋二一才8 | 御しるしに | 秋四五才9 |
| 御事ならねば | 秋八才8 | おほむこひしさ(御恋) | | 御しるしも | 秋四八才5 |
| 御事 | 秋一四ウ10 | 御こひしさよ | | おほむしむちう(御心中) | 秋一七ウ3 |
| 御事なれば | 秋一五才2 | おほむこゑ(御声) | 秋三ウ4 | 御心中 | 秋二六ウ10 |
| 御事 | 秋一八ウ4 | 御こゑにやと | | 御心中 | |

おほむはら

御心中に
おほむすくせ(御宿世)

秋三〇ウ 3

御ちぎりも

秋二一ウ 4

御とのごもりたり

秋六才 2

御すくせかなと

秋三三ウ 9

御ちぎりにて

秋三二ウ 10

御とのごもりたり

秋九ウ 7

御すくせ

秋四〇ウ 3

おほむつかひども(御使共)

書三九ウ 5

御とのごもるとて

秋三六才 4

御すくせなるらんと

書二七ウ 4

御つかひども

書三四ウ 11

おほむとのゐ(御宿直)

秋五八ウ 7

御すくせは

書三一才 6

おほむつはり(御悪阻)

秋三三才 11

御とのいに

秋四二才 11

御すくせの

書三一ウ 4

御つはりと

秋三三才 11

おほむとも(御供)

秋八ウ 5

おほむすゑすゑ(御末末)

書四〇才 2

おほむつぼね(御局)

秋一〇才 2

御とも

秋四〇才 3

御すゑ の

秋五ウ 9

御つぼねに

書二五才 5

御ともにて

書三三ウ 6

おほむぞ(御衣)

秋二二才 1

おほむつるうち(御弦打)

秋一〇才 2

御ともなど

書三三ウ 6

御ぞ

秋五ウ 9

御つるうち

書二五才 5

御とも

書三三ウ 9

御ぞなども

秋三二ウ 9

おほむてづから(御手)

秋七ウ 8

御ともより

書三五ウ 8

御ぞ

秋五八才 10

御てづから

秋八ウ 1

御とも

秋六五ウ 2

御ぞをぞ

書四〇ウ 7

御てづから

秋一〇才 11

おほむなか(御仲)

秋六六ウ 9

おほむそで(御袖)

秋三五才 10

おほむてならひ(御手習)

秋六〇ウ 2

御中なれば

秋一九才 5

御そで

秋三五才 10

御てならひ

書三三ウ 5

御中にて

書三〇才 5

おほむぞども(御衣共)

秋八ウ 1

御てならひ

書三三ウ 5

おほむはて(御果)

書三九才 3

御ぞども

秋八ウ 1

おほむとこ(御床)

秋三六才 4

おほむはて(御果)

秋六五ウ 8

おほむち(御乳)

秋二八才 10

御とこ

秋三六才 4

おほむはは(御母)

秋六五ウ 8

御ちの

秋五六才 4

おほむとし(御歳)

秋五三才 11

おほむはは(御母)

書二四才 9

御ち

秋五六才 5

御とし

書二七ウ 9

御母

書二九ウ 11

おほむちから(御力)

秋四才 8

おほむとのごもる(御殿籠)

秋五才 8

御母の

書三一才 10

御ちからは

秋四才 8

御とのごもりたれど

秋五才 8

御は

書三一才 10

おほむちぎり(御契)

秋四才 8

御とのごもりぬ

秋五ウ 10

おほむはら(御腹)

書四〇才 4

| | | | | |
|--------------|--------|---------------|-----------------------|--------|
| 御はらの | 書三九ウ6 | おほむみめ(御見目) | 御ものゝぐ | 書二九才2 |
| おほむふすま(御衾) | | 御みめなりしかばこそ | 御ものゝぐの | 書三一ウ7 |
| 御ふすま | 秋一四才6 | おほむみめども(御女共) | 御ものゝぐ | 書三四才2 |
| おほむふみ(御文) | | 御みめどもなれば | おほむやまふ(御病) | |
| 御文に | 秋一九ウ10 | おほむみやづかへ(御宮仕) | 御やまうも | 秋二ウ11 |
| 御文を | 秋五七ウ1 | 御宮仕も | おほむゆ(御湯) | 秋六一才11 |
| 御文を | 秋五七ウ3 | おほむめ(御目) | 御ゆ | |
| 御文を | 秋五八才3 | 御めも | おほむゆかり(御縁) | 書三〇才1 |
| 御文を | 秋五九才6 | 御め | 御ゆかりより | 書四〇ウ3 |
| 御文 | 秋六一才10 | おほむめのと(御乳母) | 御ゆかりの | |
| 御文を | 秋六三ウ7 | 御めのと | おほむゆどの(御湯殿) | 秋三一ウ2 |
| 御ふみ | 書三三才1 | おほむめのと(御乳母子) | 御ゆどのゝ | 書二五才4 |
| おほむふみども(御文共) | | 御めのと | おほむよ(御世) | 書二八才7 |
| 御ふみども | 書二二ウ7 | 御乳母子の | 御よ | |
| おほむへん(御辺) | | 御めのと | おほむれう(御料) | |
| 御へんに | 秋一七ウ9 | おほむもてなし(御持成) | 御れうに | 秋四九才2 |
| おほむほど(御程) | | 御もてなしに | 御れうに | 書二四ウ1 |
| 御ほどには | 書二七才8 | おほむもと(御許) | おまへ(御前) ↓ ひめぎみのおまへ | 秋五一ウ6 |
| おほむまへ(御前) | | 御もとへ | をまへの | |
| 御まへには | 秋一ウ7 | おほむもの(御物) | おもかけ(面影) | 秋四九ウ3 |
| 御まへに | 秋九ウ1 | 御物など | おもかけに | 書二六ウ6 |
| 御まへ | 秋二二才7 | 御物 | おもかけに | |
| 御まへに | 秋二三才2 | おほむものぐ(御物具) | おもて(面) ↓ きたおもて | |
| 御まへに | 秋二四才1 | 御物ゝぐは | おもひ(思) ↓ おほむおもひ・ものおもひ | 秋五五才4 |
| 御まへなどには | 秋三五ウ6 | 御物ゝぐなども | | |
| 御まへにも | 秋三七ウ10 | 御物ゝぐは | | |

おもふ

| | | | | | |
|----------|---------|------------|---------|-----------|---------|
| おもひまいらす | 秋一〇才 4 | おもひたりし | 秋二四才 3 | おもふなめり | 秋三六ウ 2 |
| おもへども | 秋二三才 9 | 思ひ侍つるに | 秋二四ウ 2 | おもふまじき物を | 秋三六ウ 2 |
| おもふに | 秋一四才 3 | おもはれたるも | 秋二四ウ 5 | 思ひて | 秋三六ウ 9 |
| 思ひて | 秋一四才 11 | 思ひてこそ | 秋二四ウ 6 | 思ひ侍也と | 秋三七ウ 5 |
| おもふらめと | 秋一四ウ 4 | おもはれたれば | 秋二四ウ 7 | おもゑども | 秋三九ウ 11 |
| 思ふ覽と | 秋一五才 6 | 思ひ侍れなど | 秋二四ウ 8 | おもひし | 秋四〇才 7 |
| おもふ(連体法) | 秋一五ウ 1 | おもふとて | 秋二五ウ 5 | おもふ | 秋四〇ウ 2 |
| おもはるらん | 秋一六才 8 | おもふ(連体法) | 秋二五ウ 5 | 思ひまいらするにも | 秋四一才 7 |
| おもはるらんと | 秋一六才 9 | 思ひたる | 秋二五ウ 9 | 思ひて | 秋四一ウ 7 |
| 思ひて | 秋一六才 11 | 思ひつるに | 秋二八ウ 9 | 思ひ侍らずなど | 秋四二才 2 |
| おもふぞ | 秋一七才 8 | 思ひきこゑん | 秋二九才 1 | 思ひ侍れなど | 秋四二才 6 |
| 思ひて | 秋一八才 10 | おもへる | 秋三〇才 6 | 思ふに | 秋四三ウ 2 |
| おもふに | 秋一八ウ 2 | おもへば | 秋三〇才 10 | おもひけんと | 秋四三ウ 3 |
| おもふに | 秋一八ウ 4 | おもはざりしぞかしと | 秋三一才 6 | 思ひ侍らず | 秋四四ウ 1 |
| おもふとも | 秋一八ウ 10 | おもふ(連体法) | 秋三一才 7 | 思ふ(連体法) | 秋四四ウ 6 |
| 思ふを | 秋一九才 6 | おもはん | 秋三一才 8 | おもひたり | 秋四五才 6 |
| 思ひ侍ば | 秋一九才 8 | おもはるらんと | 秋三二ウ 3 | 思ふとも | 秋四五才 11 |
| おもふに | 秋一九ウ 7 | おもへど | 秋三二ウ 3 | おもひながら | 秋四五ウ 2 |
| 思ひたるなめりと | 秋二〇ウ 4 | おもへば | 秋三二ウ 4 | おもはじとは | 秋四七ウ 1 |
| おもはん | 秋二〇ウ 7* | をもふらんなど | 秋三二ウ 6 | 思ひつれども | 秋四七ウ 1 |
| 思ひける | 秋二一才 8 | 思へど | 秋三二ウ 7 | おもはるらんと | 秋四七ウ 8 |
| おもふ(連体法) | 秋二一ウ 3 | 思ひ候つるに | 秋三四ウ 9 | おもひしに | 秋四八ウ 6 |
| 思ひたる | 秋二三才 5 | おもふにやと | 秋三五才 6 | おもふ(連体法) | 秋四九才 8 |
| 思ふとか | 秋二三才 7 | おもへば | 秋三五ウ 1 | 思ふ也と | 秋四九才 9 |
| おもふ(連体法) | 秋二三ウ 1 | 思ふにも | 秋三五ウ 10 | おもふらん | 秋五一ウ 8 |
| 思ひて | 秋二三ウ 9 | 思ひて | 秋三六ウ 1 | 思ひきこゆれば | 秋五三ウ 9 |

| | | | | | | | |
|---------------|---------|--------------|---------|-----------------|---------|--------------|---------|
| おもはせで | 秋六〇ウ 11 | おもやせられたれ | 秋一五才 11 | おろしこむ(下籠) | 書四〇才 5 | をろかには | 書三二才 7 |
| おもふこそ | 秋六一才 5 | をやと | 秋五五才 3 | をろしこめて | 書二八才 11 | おろかなり | 書三一ウ 10 |
| おもへば | 秋六一才 9 | を(を)やと | 秋五五ウ 8 | おろす(下) ↓ まつしおろす | 書二八才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| おもへば | 秋六三ウ 3 | を(を)やの | 書三五ウ 10 | をろして | 秋一五才 11 | をろかにを「は」しまさじ | 秋六五才 1 |
| いかに思らんと | 書二一才 11 | をひたる | 秋三四才 10 | | 秋一五才 11 | おろかなり | 書四〇才 5 |
| 思(連体法) | 書二一ウ 7 | をいたる | 秋六二才 7 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| 思へど | 書二二才 9 | およぶ(及) | 書四〇才 7 | | 秋一五才 11 | おろかなり | 書三二才 3 |
| おも・べけれど | 書二八才 3 | およばず | 書三〇才 9 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| おもはましに | 書三〇ウ 5 | おりあのみかど(降居帝) | 秋六三ウ 5 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| おもはぬものを | 書三三才 8 | をり院のみかど | 秋六三ウ 5 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| おもひし | 書三三才 11 | おる(下) | 秋六三ウ 5 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| 思たてまつりける | 書三四ウ 3 | をりて | 秋六三ウ 5 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| 思へど | 書三五ウ 11 | おろかなり(愚) | 秋六三ウ 5 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| 思な | 書三五ウ 11 | おろかなるとも | 秋六三ウ 5 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| おもへども | 秋六五才 3 | おろかなり | 秋二ウ 3 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| おもへと(「こそ」の結び) | 秋六五才 5 | をろかにも | 秋四才 9 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| 思ひて | 秋六五才 8 | をろかならず | 秋四九ウ 10 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| おもひきこゆる | 秋六六才 8 | をろかには | 秋五一ウ 5 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| おもひ給はん | 秋六六ウ 6 | おろかならず | 書二四ウ 3 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| おもはずの | 書三八ウ 1 | をろかに候まじとて | 書二九才 11 | | 秋一五才 11 | をろかに | 書三二才 3 |

か

| | | | |
|-------------|---------|------|--------|
| かいすむ(掻澄) | 秋二二ウ 4 | をろかに | 書三二才 7 |
| かिसみたるに | 秋二二ウ 4 | をろかに | 書三二才 7 |
| かいはむ(垣間) | 秋三四才 9 | をろかに | 書三二才 3 |
| かいはまゝほしくて | 秋四二才 9 | をろかに | 書三二才 3 |
| かう(香) | 書三二才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| かうの | 書三二才 11 | をろかに | 書三二才 3 |
| かう(幸) ↓ ごかう | 秋一〇才 10 | をろかに | 書三二才 3 |
| かうかう(斯斯) | 秋一〇才 10 | をろかに | 書三二才 3 |
| かう | 秋五九ウ 3 | をろかに | 書三二才 3 |
| かうし(格子) | 秋二二ウ 5 | をろかに | 書三二才 3 |
| かうしなど | 秋二二ウ 5 | をろかに | 書三二才 3 |

かかやきひかる かく

| | | | | | |
|----------------------|--------|--------------|--------|------------|--------|
| かかやきひかる(輝光) | 書三五才1 | かかればこそ | 秋五三ウ11 | かきみだる(搔乱) | 秋一三才8 |
| かゝやきひかるやうなる | | かきいだく(搔抱) | | かきみだり(中止法) | |
| かかやく(輝) | 秋三一ウ3 | かきいだきて | 秋三ウ7 | かぎり(限) | 秋三三才8 |
| かゝやく | | かきいだきたてまつりて | 秋三八ウ11 | かぎりあれば | 秋四六ウ2* |
| かかり(斯) | | かきいだきて | 秋五四才9 | かぎり | 秋六一ウ11 |
| かゝる(連体法) | 秋一一ウ6 | かきおく(書置) | 秋六六ウ5 | かぎりの | 書二四ウ9 |
| かゝる(連体法) | 秋三三才10 | かきをき給へりし | | かぎり | |
| かゝる(連体法) | 秋三〇才9 | かきくらす(搔暗) | 秋一三ウ4 | かぎりなし(限無) | 秋二ウ8 |
| かゝる(連体法) | 秋五三ウ5 | かきくらし(中止法) | 書三四ウ4 | かぎりなし | 秋一七才6 |
| かゝる(連体法) | 秋六〇才9 | かきくらし(連用法) | | かぎりなきを | 秋二六才6 |
| かゝる(連体法) | 秋六四才2 | かきけがす(書汚) | 書三四才1 | かぎりなく | 秋四〇ウ8 |
| かゝる(連体法) | 書三三才3 | かきつけ給 | 秋二六ウ1 | かぎりなし | 秋六四才3 |
| かゝる(連体法) | 書二五才9 | かきたゆ(搔絶) | 秋三〇才1 | かぎりなし | 書二二ウ11 |
| かゝるに | 書二六ウ2 | かきたえ | | かぎりなし | 書二五ウ3 |
| かゝる(連体法) | 書二六ウ8 | かきつく(書付) | 秋六二才11 | かぎりなし | 書二九才5 |
| かゝる(連体法) | 書二七ウ7 | かきつけ給 | 書四〇才2 | かぎりなし | 書三三ウ4 |
| かゝる(連体法) | 書一九ウ4 | かきつくす(書尽) | 秋六七才1 | かぎりなし | 秋六五ウ10 |
| かゝる(連体法) | 書三三才10 | かきつづく(書続) | | かく(斯) | |
| かゝる(連体法) | 書三五才2 | かきつづく(書続) | | かくも | 秋二ウ10 |
| かゝれば | 秋六五ウ10 | かき「つづく」たるとかや | | かく | 秋三ウ2 |
| かゝる(連体法) | 書三八ウ1 | かきとどむ(書留) | | かくも | 秋六ウ3 |
| かかる(懸) ↓ なきかかる・系みかかる | 秋二ウ9 | かきとどむる(連体法) | | かくと | 秋七才3 |
| かゝりたりつるに | 秋一〇ウ10 | かきとゞめ給ふ | 書三三ウ6 | かくは | 秋一一ウ10 |
| かゝりて | 秋二五才1 | かきね(垣根) | 秋五五ウ4* | | 秋一三ウ8 |
| かゝりて | 秋三七ウ1 | かきねも | | | |

| | | | | | |
|-------|--------|----------------------|--------|----------------------|--------|
| かくとは | 秋一七才3 | かく(書) | | かくに ↓ とにかくに | |
| かくこそ | 秋一八ウ3 | かゝせ給へり | 秋五七ウ11 | かくも ↓ ともかくも | |
| かく | 秋二一ウ11 | かゝんと | 秋六一才10 | かくる(隠) ↓ たちかくる・にげかくる | |
| かく | 秋二二才7 | かき給 | 秋六一ウ1 | かくるべきと | 秋六才1 |
| かく | 秋二二ウ9 | かきて | 秋六一ウ9 | かくれ給ぬるにやと | 秋一三ウ3 |
| かくと | 秋二四ウ3 | かき給けるまゝにと | 書三二ウ7 | かくれんと | 秋一八才2 |
| かく | 秋二七才9 | かきて | 書三三才3 | かくれ給べきにか | 秋一八才6 |
| かく | 秋二七ウ4 | かき給へる | 書三三才4 | かくれ給べき | 秋一九才9 |
| かくとも | 秋三七ウ8 | かき給える | 書三三ウ4 | かくれんとは | 秋一九才11 |
| かく | 秋四四ウ10 | かく(掛・懸) ↓ おもひかく・ひきかく | 秋六一ウ4* | かくれまいらするばかりの | 秋二〇才9 |
| かくと | 秋四八才8 | かけなむ | 書三九才2 | かくるべき | 秋二六ウ7 |
| かく | 秋四八ウ5 | かけ給えり | | かくれ給はゞこそ | 秋三八ウ6 |
| かくと | 秋四九才3 | かくし(隠) | 秋一九ウ5 | かくれ給らんと | 秋四二ウ4 |
| かくとは | 秋五四才2 | かくしも | | かくれまいらせんも | 秋五七才9 |
| かくとは | 秋五九才3 | かくす(隠) ↓ のごひかくす | 秋二〇才6 | かくれ(隠) | |
| かく | 秋六〇ウ11 | かくしまいらせんなど | 秋二〇才11 | かくれの | 秋四三才3 |
| かく | 秋六四才7 | かくさんと | 秋二〇ウ4 | かくれなし(隠無) | |
| かく | 秋六四才8 | かくさんと | | かくれなき(連体法) | 秋四一ウ11 |
| かくとだに | 書一一才6 | かくて(斯) | 秋六ウ6 | かくれはつ(隠果) | |
| かくと | 書一一才8 | かくては | 秋三二才11 | かくれはてゝは | 秋一四才4 |
| かく | 書二一才9 | かくて | 秋二四ウ5 | かくれはて給はじ | 秋一四ウ5 |
| かく | 書二二才6 | かくて | 秋二四ウ11 | かくれはて給はじ | 秋二〇ウ1 |
| かく | 書二四才6 | かくて | 秋六〇才1 | かくれふす(隠臥) | 秋二五ウ6 |
| かく | 書二六才6 | かくて | 書三八ウ2 | かくれふさせ給ても | |
| かく | 秋六五才6 | かくて | | かくれゐる(隠居) | 秋三七才9 |
| かく | 書三九ウ7 | かくても ↓ とてもかくても | | かくれいたるにや | |

かくれゐて 秋三九才6

かげ(影) ↓おもかげ・つきかげ

かげも 秋一六ウ11*

かげの 秋五四才1

かげなりとも 秋五五才2

かけても(掛)

かけても 秋一七才4

かけても 秋五五才8

かけばくも(掛)

かけばくも 秋六五ウ4*

かさぬ(重) ↓うちかさぬ

かしこ(彼処) ↓ここかしこ

かしこへは 秋一一ウ6

かしこに 秋一一ウ9

かしこゑ 秋二二才7

かしこに 秋一八才11

かしこも 秋三九才9

かしこも 秋四八才3

かしこも 秋五〇ウ11

かしこ ↓あなかしこ

かしこし(畏・賢)

かしこく(連用法)

かしこく(連用法)

かしこき(連体法)

かしづく ↓もてかしづく

かくれゐる かしらおさへ(頭押)

かしらをさへなど 秋三三才4

かずなり(数)

かずならぬ 秋五一才7

かすみわたる(霞渡)

かすみわたる 秋四六才4

かた(方) ↓いづかた・おとどのきたのかた・

おほむかた・きたのかた・こしかたゆくす

ゑ・せんかたなし・にしのおほむかた・は

しつかた・ははかた・ひとかたならず・や

るかたなし 秋六才3

かたより 秋一二ウ7

かたに 秋一五ウ9

かたに 秋一九才1

かたに 秋三〇才3

かたに 秋四三才3

かたに 秋四三才7

かたに 秋四五ウ3

かたぞ 秋五一才3*

かたへ 秋五二才8

かたに 秋五六ウ9

かたも 秋三四ウ2

かたがた(方方) ↓おほむかたがた

かたに 秋四〇才3

かたに 秋二四才3

かたに 秋二七才6

かたに 書三〇ウ9

かたし(難) ↓ありがたし・さがたし・たえ

かたげなり・たへがたし・はなれがたし・わ

すれがたし 書三四才8

かたじけなげなり(忝)

かたじけなげに(連用法)

かたじけなさ(忝)

かたじけなさ 秋一八才10

かたじけなさ 秋二五才7

かたじけなさ 秋三一ウ1

かたじけなし(忝)

かたじけなく(連用法)

かたじけなく(連用法)

かたじけなき(「ぞ」の結び)

かたじけなく(連用法)

かたじけなけれど 秋九ウ1

かたじけなき(連体法)

かたじけなくも 秋二二ウ5

かたじけなく(連用法)

かたじけなく(連用法)

かたじけなき(連体法)

かたじけなき物から 秋二二才4

かたじけなく(連用法)

かたじけなく(連用法)

かたじけなく(連用法)

かたはら(傍) ↓おほむかたはら 秋三三ウ4

| | | | | |
|----------------|--------|-----------------------|--------------------|--------|
| かたわらに | 秋三才6 | かたる(語) | かなしきに | 秋二七ウ8* |
| かたはらに | 書三三ウ6 | かたり申せば | かなしくて | 秋二八才1 |
| かたはらいたし(傍痛) | | かたりたてまつれば | かなしく(連用法) | 秋三四ウ10 |
| かたわらいたく(連用法) | 秋二二才8 | かたらまほしく | かなしくて | 秋五一才2 |
| かたはらいたくて | 秋四一ウ10 | かたりて | かなしく(連用法) | 秋五七才4 |
| かたはらいたく(連用法) | 秋四二才5 | かたれば | かなし | 書三三才8 |
| かたみ(形見)↓おほむかたみ | | かたりたてまつりて | かなしう(連用法) | 書三三才10 |
| かたみとて | 秋三六才6* | かたるに | かなしとて | 書三三才11 |
| かたみにも | 書三四才6 | かたりきこ系給へば | かなしく(連用法) | 書二五ウ8 |
| かたみ | 書二七才5 | かたり申せば | かなしく(連用法) | 書一八ウ10 |
| かたみ(互) | | かたりまいらす | かなしく(連用法) | 書二九才2 |
| かたみに | 秋一九才4 | かたりて | かなしとは | 書三一ウ10 |
| かたみに | 書三九才4 | かたりまいらす | かなしく(連用法) | 書三二ウ2 |
| かたらひあはず(語合) | | かたりて | かなしければ | 書三三ウ5 |
| かたらひあはせて | 秋四六ウ7 | がち(勝)↓かへりみがちなり・つぼねがちな | かなしき(連体法) | 秋六五才6 |
| かたらひいづ(語出) | | り・なみだがちなり・ひとがちなり | かなしと | 秋六六才7 |
| かたらひいでんと | 秋二五才8 | かづく(被)↓ひきかづく | かなしげなり(悲)↓ものがなしげなり | |
| かたらはれ給らんなど | 秋二〇ウ1 | かつは(且) | かなしげに(連用法) | 秋二四才3 |
| かたらひて | 秋二五ウ4 | かつは | かなしげに(連用法) | 秋四七ウ5 |
| かたらはまほしく | 秋二五ウ6 | かつは | かなしげに(連用法) | 秋六六ウ3 |
| かたらひ給つゝ | 秋二九ウ7 | かど(門)↓おほかど・こかど | かなしさ(悲) | 秋五三才6 |
| かたり(語)↓ものがたり | | かど | かなしさに | 秋六四ウ6 |
| かたりも | 書二二ウ9 | かなぐる↓ひきかなぐる | かなしさに | 書三二ウ5 |
| かたりあふ(語合) | | かなし(悲) | かなしさなど | 書三四ウ8 |
| かたりあはず | 秋四七才2 | かなしく(連用法) | かなふ(叶) | |

| | | | | | |
|------------------------|-------------------------|--------|--------------------|----------------------|---------|
| かなふ | かへる | | | | |
| かならず | かなうなりけりと | 秋二ウ10 | かはり(変) ↓ おほむこころがはり | かへりごと(返事) ↓ おほむかへりごと | |
| かならず | かなひけるものぞとて | 秋三ウ3 | かはる(変) | かへりて(反) | |
| かならず | かない侍まし | 秋九才10 | かはりたりし物を | かへりては | 秋一五才8 |
| かならず | かなうまじき | 秋一〇ウ2 | かはらず | かへりみがちなり(願) | |
| かならず | かなうまじき | 秋一九ウ6 | かはるべき | かへりみがちに | 秋二七ウ6 |
| かならず | かなうまじき物を | 秋二一ウ1 | かはりたるとは | かへりみがちに | 秋二八才4 |
| かならず | かないぬべきなめりと | 秋四〇才7 | かはらぬものを | かへりみす(願) | |
| かならず | かならず(必) | | かはらず | かへりみしつゝ | 書三四ウ7 |
| かならず | かならず | 秋四四ウ7 | かはるまじげなり(変) | かへりわたる(帰渡) | |
| かならず | かぬ(兼) ↓ おもひかぬ・とどめかぬ・なぐさ | 秋四九才8 | かはるまじげなる(連体法) | かへりわたらせ給 | 秋四七才5 |
| めかぬ | かの(彼) | | かひ(甲斐) | かへりわたらせ給 | 書三八才9 |
| かの | かの | 秋一九才4 | かひ(甲斐) | かへりわたらせ給 | |
| かの | かの | 秋三六ウ6 | かひなし(甲斐無) | かへりなんと | 秋二才10 |
| かは(川) | かは | | かひなき(連体法) | かへり給へ | 秋五ウ6 |
| かはを | かは | 秋六一ウ7* | かふ(換・替・代) ↓ ひきかへ | かへらせ給べき | 秋一才4 |
| かばかり(斯許) | かばかり | 秋一才7 | かへて | かへらせ給べきなど | 秋一三才2 |
| かばかり | かばかり | 秋七才5 | かへて | かへらましか | 秋二七ウ1 |
| かばかり | かばかり | 秋二一才10 | かへ給にけり | かへる(連体法) | 秋二七ウ8* |
| かばかり | かばかり | 秋五〇才6 | かへし(返) ↓ くりかへし | かへり給て | 秋二八才7 |
| かはす(交) ↓ おほしかはす・きこえかはす | かはす | | かへすがへす(返返) | かへらせ | 秋四七才3 |
| かはさん | かはさん | 秋二一ウ4 | 返 | かへり侍らん | 秋五六ウ1 |
| かはり(代) ↓ おほむかはり | かはり | | かへらま(還) | かへらぬにやと | 書二二ウ3 |
| かはりに | かはりに | 書三六才1 | かへらま | かへらせ給し | 書二四ウ5 |
| | | | | かへりけん | 書三二才10* |
| | | | | 返らせ給 | 書三四ウ7 |

| | | | | | |
|--------------------------|---------|--------------------------|---------|--------------------------|---------|
| 返(連体法) | 書三五ウ 8 | 返(連体法) | 書三五ウ 8 | 返(連体法) | 書三五ウ 8 |
| かへる(連体法) | 秋六五ウ 2 | かへる(連体法) | 秋六五ウ 2 | かへる(連体法) | 秋六五ウ 2 |
| かほ(顔) ↓ おほむかほ・しらぬかほなり・系 | | かほ(顔) ↓ おほむかほ・しらぬかほなり・系 | | かほ(顔) ↓ おほむかほ・しらぬかほなり・系 | |
| みがほ | | みがほ | | みがほ | |
| かほの | 秋二六オ 3 | かほの | 秋二六オ 3 | かほの | 秋二六オ 3 |
| かまし ↓ なみだがまし・はちがまし・をこがまし | | かまし ↓ なみだがまし・はちがまし・をこがまし | | かまし ↓ なみだがまし・はちがまし・をこがまし | |
| かまへて(構) | | かまへて(構) | | かまへて(構) | |
| かまえて | 秋六オ 8 | かまえて | 秋六オ 8 | かまえて | 秋六オ 8 |
| かまへて | 秋七ウ 1 | かまへて | 秋七ウ 1 | かまへて | 秋七ウ 1 |
| かまへて | 秋一〇ウ 2 | かまへて | 秋一〇ウ 2 | かまへて | 秋一〇ウ 2 |
| かまへて | 秋一九ウ 10 | かまへて | 秋一九ウ 10 | かまへて | 秋一九ウ 10 |
| かみ(髪) | | かみ(髪) | | かみ(髪) | |
| かみなども | 秋四三ウ 8 | かみなども | 秋四三ウ 8 | かみなども | 秋四三ウ 8 |
| かみをや | 秋五〇ウ 10 | かみをや | 秋五〇ウ 10 | かみをや | 秋五〇ウ 10 |
| かみ | 秋六五ウ 2 | かみ | 秋六五ウ 2 | かみ | 秋六五ウ 2 |
| かみ(守) ↓ いよのかみ・みかはのかみ | | かみ(守) ↓ いよのかみ・みかはのかみ | | かみ(守) ↓ いよのかみ・みかはのかみ | |
| かみ(神) ↓ なるかみ | | かみ(神) ↓ なるかみ | | かみ(神) ↓ なるかみ | |
| かむ(鳴) ↓ うちかむ | | かむ(鳴) ↓ うちかむ | | かむ(鳴) ↓ うちかむ | |
| かやう(斯様) | | かやう(斯様) | | かやう(斯様) | |
| かやうの | 秋三ウ 8 | かやうの | 秋三ウ 8 | かやうの | 秋三ウ 8 |
| かやうの | 書三五オ 6 | かやうの | 書三五オ 6 | かやうの | 書三五オ 6 |
| かやうの | 書三五オ 10 | かやうの | 書三五オ 10 | かやうの | 書三五オ 10 |
| かやうなり(斯様) | | かやうなり(斯様) | | かやうなり(斯様) | |
| かやうにも | 秋五四オ 5 | かやうにも | 秋五四オ 5 | かやうにも | 秋五四オ 5 |
| かやうに(連用法) | | かやうに(連用法) | | かやうに(連用法) | |
| かやくのうじゆちめうほくゑきやう(我亦能受) | 秋六七オ 2 | かやくのうじゆちめうほくゑきやう(我亦能受) | 秋六七オ 2 | かやくのうじゆちめうほくゑきやう(我亦能受) | 秋六七オ 2 |

か

| | | | | | |
|-------------------|---------|-------------------|---------|-------------------|---------|
| 持妙法華經) | 秋四五 | 持妙法華經) | 秋四五 | 持妙法華經) | 秋四五 |
| がやくのうじゆちめうほくゑきやうと | | がやくのうじゆちめうほくゑきやうと | | がやくのうじゆちめうほくゑきやうと | |
| ウ 4 | | ウ 4 | | ウ 4 | |
| がり(許) | | がり(許) | | がり(許) | |
| わがり | 書三二ウ 7 | わがり | 書三二ウ 7 | わがり | 書三二ウ 7 |
| かるがるし(輕輕) | | かるがるし(輕輕) | | かるがるし(輕輕) | |
| かる | 秋二六ウ 8 | かる | 秋二六ウ 8 | かる | 秋二六ウ 8 |
| かる | | かる | | かる | |
| かれひ(餉) ↓ あさがれひ | | かれひ(餉) ↓ あさがれひ | | かれひ(餉) ↓ あさがれひ | |
| かるがるし(輕輕) | | かるがるし(輕輕) | | かるがるし(輕輕) | |
| かる | 秋三六オ 10 | かる | 秋三六オ 10 | かる | 秋三六オ 10 |
| かんだちめ(上達部) | | かんだちめ(上達部) | | かんだちめ(上達部) | |
| かんだちめの | 書四〇ウ 5 | かんだちめの | 書四〇ウ 5 | かんだちめの | 書四〇ウ 5 |
| かむなづき(神無月) | | かむなづき(神無月) | | かむなづき(神無月) | |
| 神な月の | 書二四ウ 10 | 神な月の | 書二四ウ 10 | 神な月の | 書二四ウ 10 |
| 神無月には | 書三一オ 9 | 神無月には | 書三一オ 9 | 神無月には | 書三一オ 9 |
| き(黄) ↓ もえぎ | | き(黄) ↓ もえぎ | | き(黄) ↓ もえぎ | |
| き(木) ↓ わかぎ・わかぎども | | き(木) ↓ わかぎ・わかぎども | | き(木) ↓ わかぎ・わかぎども | |
| きえいる(消入) | | きえいる(消入) | | きえいる(消入) | |
| きえいる(連体法) | 秋四オ 2 | きえいる(連体法) | 秋四オ 2 | きえいる(連体法) | 秋四オ 2 |
| きへいらるゝ | 秋五〇ウ 7 | きへいらるゝ | 秋五〇ウ 7 | きへいらるゝ | 秋五〇ウ 7 |
| きへいらるれば | 秋六一オ 11 | きへいらるれば | 秋六一オ 11 | きへいらるれば | 秋六一オ 11 |
| きえうす(消失) | | きえうす(消失) | | きえうす(消失) | |
| きえうせなむと | 秋四ウ 1 | きえうせなむと | 秋四ウ 1 | きえうせなむと | 秋四ウ 1 |
| きえかへる(消返) | | きえかへる(消返) | | きえかへる(消返) | |
| きへかへり給も | 書二〇ウ 11 | きへかへり給も | 書二〇ウ 11 | きへかへり給も | 書二〇ウ 11 |
| きえはつ(消果) | | きえはつ(消果) | | きえはつ(消果) | |
| きえはて給ぬれば | 秋六三ウ 9 | きえはて給ぬれば | 秋六三ウ 9 | きえはて給ぬれば | 秋六三ウ 9 |
| きかす(聞) | | きかす(聞) | | きかす(聞) | |
| きかせじと | 秋四ウ 11 | きかせじと | 秋四ウ 11 | きかせじと | 秋四ウ 11 |
| きき(聞) ↓ ひとぎき | | きき(聞) ↓ ひとぎき | | きき(聞) ↓ ひとぎき | |
| きゝや | 秋二〇ウ 3 | きゝや | 秋二〇ウ 3 | きゝや | 秋二〇ウ 3 |
| きゝや | 秋五四ウ 8 | きゝや | 秋五四ウ 8 | きゝや | 秋五四ウ 8 |
| ききあさむ(聞浅) | | ききあさむ(聞浅) | | ききあさむ(聞浅) | |
| きゝあさむ(連体法) | 秋六五ウ 9 | きゝあさむ(連体法) | 秋六五ウ 9 | きゝあさむ(連体法) | 秋六五ウ 9 |
| きゝおく(聞置) | | きゝおく(聞置) | | きゝおく(聞置) | |
| きゝをきたる | 秋二九オ 8 | きゝをきたる | 秋二九オ 8 | きゝをきたる | 秋二九オ 8 |
| ききしる(聞知) | | ききしる(聞知) | | ききしる(聞知) | |
| きゝしりたるらん | 秋五六ウ 11 | きゝしりたるらん | 秋五六ウ 11 | きゝしりたるらん | 秋五六ウ 11 |
| ききつく(聞付) | | ききつく(聞付) | | ききつく(聞付) | |
| きゝつけて | 秋三オ 8 | きゝつけて | 秋三オ 8 | きゝつけて | 秋三オ 8 |
| ききつけ給てけるにやと | 秋五七オ 4 | ききつけ給てけるにやと | 秋五七オ 4 | ききつけ給てけるにやと | 秋五七オ 4 |
| ききはつ(聞果) | | ききはつ(聞果) | | ききはつ(聞果) | |
| きゝはてゝ | 秋三〇ウ 3 | きゝはてゝ | 秋三〇ウ 3 | きゝはてゝ | 秋三〇ウ 3 |
| ききはなつ(聞放) | | ききはなつ(聞放) | | ききはなつ(聞放) | |
| きゝはなたばや | 秋三六ウ 4 | きゝはなたばや | 秋三六ウ 4 | きゝはなたばや | 秋三六ウ 4 |
| ききわかつ(聞分) | | ききわかつ(聞分) | | ききわかつ(聞分) | |
| きゝわかたんと | 秋四〇オ 6 | きゝわかたんと | 秋四〇オ 6 | きゝわかたんと | 秋四〇オ 6 |
| ききわたる(聞渡) | | ききわたる(聞渡) | | ききわたる(聞渡) | |

| | | | | | |
|---------|--------|-------------------------|--------|------------------|--------|
| きく(連体法) | 秋六三才5 | きこゆ | 書一九ウ6 | きちやう(几帳) | 書二九ウ9 |
| きく(連体法) | 秋四九ウ5 | きこえける | 書二六ウ11 | 北のまんどころと | 書二九才4 |
| きく(連体法) | 秋四五ウ7 | きこえたりしと | 秋五五才6 | 北のまんどころとぞ | 書二六ウ11 |
| きく(連体法) | 秋四四才9 | きこえ給へば | 秋五四才4 | きたのまんどころ(北政所) | 秋二九ウ10 |
| きく(連体法) | 秋四二ウ9 | きこえ侍らざんめり | 秋五三才8 | きたのかたは | 秋二九ウ10 |
| きく(連体法) | 秋四二才7 | きこえ給へば | 秋五二ウ2 | きたのかた(北方) | 秋二九ウ10 |
| きく(連体法) | 秋四一才1 | きこえねど | 秋三九ウ7 | きたおもての | 秋二二ウ2 |
| きく(連体法) | 秋四一才11 | きこえ給へり | 秋三一才11 | きたおもて(北面) | 秋二二ウ2 |
| きく(連体法) | 秋三八ウ7 | きこえん | 秋一九ウ6 | きたおもて(北) | 秋二二ウ2 |
| きく(連体法) | 秋三八才4* | きこえ給へども | 秋六ウ9 | きた(北) ↓おとどのきたのかた | 秋二二ウ2 |
| きく(連体法) | 秋三七ウ6 | きこゆれば | 秋六才10 | きさき(后) | 書二六才1 |
| きく(連体法) | 秋三七才11 | きこゆ(聞)《本動詞》 ↓みきこゆ・もれきこゆ | 秋六才10 | きさきとも | 書二六才1 |
| きく(連体法) | 秋三四ウ7 | きこしめして | 書二一才1 | おもひきこゆる(連体法) | 秋六六才8 |
| きく(連体法) | 秋二七才6 | きこしめす(聞召) | 書二七才7 | まさきこえ給へれば | 書三〇才11 |
| きく(連体法) | 秋二七才2 | きこえかはし給て | 書二七才7 | まさきこえ給へれば | 書三〇才11 |
| きく(連体法) | 秋二二ウ11 | きこえかはす(聞交) | 秋三九才5 | たのみきこゆべき | 秋五六才3 |
| きく(連体法) | 秋二一才1 | きこえあはせまし物を | 秋三九才5 | たづねきこえ給へば | 秋五六才1 |
| きく(連体法) | 秋一九才10 | きこえあはず(聞合) | 秋三九才5 | いだきこえて | 秋五四ウ7 |
| きく(連体法) | 秋一八才2 | きくては | 書二四ウ6 | 思ひきこゆれば | 秋五三ウ9 |
| きく(連体法) | 秋一六才4 | きく給はねば | 書二二才2 | みせきこえ給へかし | 秋五三才4 |
| きく(連体法) | 秋一六才4 | きく給へりや | 書二二ウ3 | なくさめきこえさせ給 | 秋三一ウ5 |
| きく(連体法) | 秋一ウ8 | きかせ給て | 書二一才8 | 思ひきこえん | 秋二九才2 |
| きく(連体法) | 秋一ウ1 | きかで | 書二一才8 | ゆるしきこえさせ給はず | 秋一九ウ11 |
| きく(連体法) | 秋一才1 | きか | 書二一才7 | をくりきこえん | 秋五ウ7 |
| きく(連体法) | 秋一九才2 | きけば | 秋六三ウ7 | きこゆ(聞)《補助動詞》 | 書二九ウ11 |
| きく(連体法) | | きく給て | 秋六四才10 | | |

くれ(暮) ↓ あげくれ・ゆぶくれ
くれにも 秋二六才10

くれ(呉) ↓ なにくれ
くれなる(紅)

くれないの 秋四三ウ5

くろらかなり(黒)

くろらかに(連用法) 書三三ウ9

くわんおん(観音)

くわんをんの 秋四五才9

くわんばく(関白)

関白に 書一八ウ7

関白は 書三九才1

くわんばくどの(関白殿)

関白どの、 書三五ウ11

くわんばく殿は 秋六五ウ10

け

げ ↓ あはれげなり・あやしげなり・いそがしげ・

いそがしげなり・いとほしげなり・いぶせ

げなり・いみじげなり・うごきげ・うつく

しげなり・うつくしげなり・うらめしげな

り・うらめしげなり・うれしげなり・かたじ

けなげなり・かなしげなり・かはるまじげ

なり・きよげなり・きらきらしげなり・く

ちをしげなり・こころぼそげなり・さりげ
なし・しりげなり・たへがたげなり・たゆ

げなり・つきづきしげなり・つつましげな

り・つれづれげなり・つれなげなり・なげか

しげなり・なつかしげなり・なやましげな

り・にくげなり・はしたなげなり・はづか

しげなり・むつかりげなり・めづらしげな

り・めでたげなり・ものかなしげなり・もの

はづかしげなり・よわけなり・らうたげな

り・わたらせたまふげなり・わびしげなり

けい(櫻) ↓ こけい

けがす(汚) ↓ かきけがす

けさ(今朝)

けさ 秋一才8

けさも 秋二才1

けさは 秋三七ウ11

けしからずさ(怪)

けしからずさに 秋五二ウ5

けしからずさに 書三〇ウ6

けし(怪)

けしからぬ 秋一三ウ7

けしき(気色) ↓ おほむけしき

けしき 秋一ウ6

けしき 秋二ウ7

けしきなれば 秋三才5

けしきなれば 秋三才9

けしき 秋三ウ4

けしき 秋四才3

けしきなども 秋四才5

けしきも 秋四ウ6

けしきなれば 秋五ウ1

けしき 秋六才8

けしき 秋一〇ウ4

けしきの 秋一三ウ2

けしきも 秋一五才10

けしきなれば 秋一五ウ4

けしきにて 秋一五ウ4

けしきを 秋一六才3

けしき 秋一六才11

気色 秋一七才11

けしき 秋一七ウ11

けしき 秋二〇才7

けしきも 秋二一才6

けしきを 秋二一才9

けしきにて 秋二一才11

けしきを 秋三三才5

けしきを 秋三三才10

けしき 秋三四才4

けしきを 秋三五ウ11

けしき 秋二六ウ3

けしき 秋二八才1

けしきを 秋三〇才7

| | | | | | |
|------------------|--------|----------|--------|-------------------------|--------|
| ごかう(御幸) | 書三一才11 | 心ち | 秋二〇ウ5 | ごもへと | 秋五九才2 |
| ごかう | | 心ちも | 秋二三才8 | ごころ(心) ↓ おほむごころ・おほむごころが | |
| こかど(小門) | | 心ちの | 秋二七才6 | はり・おほむごころす・しじごころなし・ま | |
| こかど | 秋二二ウ2 | 心ち | 秋二七才7 | ごころ・ものごころ | |
| こぎでん(弘徽殿) | | 心ち | 秋三五才6 | 心 | 秋一ウ9 |
| こきでん | 秋三一ウ8 | 心ち | 秋三五ウ10 | 心に | 秋二ウ9 |
| ごくわん(五巻) | | 心ち | 秋四一才1 | 心にこそ | 秋七ウ4 |
| 五巻などに | 秋六七才1 | 心ちも | 秋四七ウ2 | 心も | 秋一三才8 |
| ごけい(御稷) | | 心ちも | 秋四八ウ1 | 心さゑ | 秋二一ウ9 |
| 御けい | 書三一才8 | 心ち | 秋四八ウ4 | 心の | 秋二三ウ6 |
| ごこ(此処) | | 心ちなど | 秋五〇ウ6 | 心も | 秋二三ウ6 |
| ごこに | 秋七ウ8 | 心ちのみ | 秋五〇ウ8 | 心に | 秋二五才1 |
| ごこは | 秋七ウ9 | 心ちも | 秋五〇ウ8 | 心と | 秋二六ウ7 |
| ごこも | 秋三九才9 | 心ちの | 秋五一ウ10 | 心の | 秋二七ウ8* |
| ごこなる | 秋四一ウ2 | 心ちなどの | 秋五四才3 | 心なる | 秋三五才6 |
| ごこの | 秋四二才4 | 心ちの | 秋五四才5 | 心なりせばなど | 秋三五ウ4* |
| ごこも | 秋四八才3 | 心ち | 秋五七ウ5 | 心とは | 秋三六才10 |
| ごこも | 秋五〇ウ11 | 心ち | 秋五八ウ3 | 心に | 秋三七ウ1 |
| ごこにてこそは | 書三二才4 | 心ち | 秋五九ウ6 | 心ぞかし | 秋四〇ウ7 |
| ごこは | 書三二才5 | 心ち | 秋六三才2 | 心の | 秋四二ウ9 |
| ごこかしこ(此処彼処) | | 心ちも | 秋六三才6 | 心の | 秋四二ウ11 |
| ごこかしこに | 秋三四才10 | 心ちも | 秋六三ウ2 | 心も | 秋四八才3 |
| ごこかしこ | 秋三四ウ2 | 心ち | 書三一ウ9 | 心の | 秋五〇才1 |
| ごこかしこに | 秋三九ウ2 | 心ち | 書三三才6 | 心より | 秋五三ウ3 |
| ごこち(心地) ↓ おほむごこち | | ごこもと(此許) | 秋五七才10 | 心には | 秋五三ウ7 |
| ごこち | 秋四才2 | ごもへと | | 心に | 秋五六才4 |

こころ こころなし

| | | | | | |
|-------------------|---------|------------|---------|--------------------|---------|
| 心 | 秋五九ウ 1 | 心づく(連用法) | 秋三三才 4 | 心ぐるしければ | 秋三三ウ 6 |
| 心 | 秋六〇ウ 9 | 心うし | 秋四九ウ 2 | 心ぐるしけれど | 秋三七ウ 7 |
| 心にも | 書二四才 11 | 心うかりしか | 秋五〇才 2 | 心ぐるしき(連体法) | 秋三八才 7 |
| 心の | 書三〇ウ 5 | 心うし | 秋五一才 9 | 心ぐるしきなど | 秋四〇ウ 10 |
| 心に | 書三一ウ 6 | 心うしと | 秋六四才 9 | 心ぐるしくて | 秋四一才 9 |
| 心も | 書四〇才 6 | 心うし | 秋六四ウ 7 | 心ぐるしと | 秋四二ウ 1 |
| こころあり(心) | 秋六二才 11 | 心うくて | 書二二才 3 | 心ぐるしく(連用法) | 秋四六ウ 6 |
| こころある(連体法) | | 心うくのめ | 書三〇ウ 9 | 心ぐるしき(連体法) | 秋五三才 9 |
| こころう(心得) ↓おほむこころう | | 心うしとて | 書三四才 5 | 心ぐるしき(終止法) | 秋五四才 3 |
| 心へたる | 秋九才 5 | こころぐるし(心苦) | | 心ぐるしく侍れと | 秋五五才 5 |
| 心えたりける | 秋五七才 6 | 心ぐるしく(連用法) | 秋二才 3 | 心ぐるしく(連用法) | 秋五九ウ 10 |
| 心えて | 秋五九ウ 4 | 心ぐるしく(連用法) | 秋一〇才 9 | 心ぐるしけれ(こそ)の結び | 秋六一才 5 |
| こころうがる(心憂) | | 心ぐるしくこそ | 秋一一才 5 | 心ぐるしく(連用法) | 書二一ウ 1 |
| 心うがりて | 秋二二ウ 10 | 心ぐるしき(連体法) | 秋一五ウ 4 | 心ぐるしき(連体法) | 書二五ウ 2 |
| こころうし(心憂) | | 心ぐるし | 秋一六ウ 1 | こころざし(志) ↓おほむこころざし | |
| 心うくて | 秋三才 9 | 心ぐるしき(連体法) | 秋一七才 5 | 心ざしは | 秋三ウ 10 |
| こころうく(連用法) | 秋四才 1 | 心ぐるしけれど | 秋一八才 1 | 心ざしは | 秋二一ウ 3 |
| 心うしとは | 秋四才 9 | 心ぐるしく(連用法) | 秋一八才 8 | 心ざしも | 秋二一ウ 8 |
| 心うしとも | 秋四ウ 1 | 心ぐるし | 秋一八ウ 8 | こころさわぎす(心騒) | |
| 心うかりける | 秋五才 5 | 心ぐるしく(連用法) | 秋一八ウ 10 | 心さはぎして | 秋二二ウ 5 |
| 心づく(連用法) | 秋五才 6 | 心ぐるしく(連用法) | 秋一九ウ 7 | 心さはぎして | 秋一八ウ 1 |
| 心づく(中止法) | 秋六才 5 | 心ぐるしく(連用法) | 秋二〇ウ 11 | こころづく(心付) | |
| 心つき(連体法) | 秋七ウ 6 | 心ぐるしければ | 秋二二才 11 | 心づくまでも | 秋五三ウ 2 |
| 心づく(連用法) | 秋一三才 8 | 心ぐるし | 秋二八ウ 8 | こころづよし(心強) | |
| 心づく(連用法) | 秋一三ウ 11 | 心ぐるしく(連用法) | 秋一九才 4 | 心づよき(連体法) | 秋四才 4 |
| 心づくて | | 心ぐるしく(連用法) | 秋三三才 4 | こころなし(心無) | |

| こと | こと | こと | こと | こと | こと | こと | こと | こと |
|-----------------|--------|---------------------------|--------|-------------------------|-------|----|----|--------|
| 心なく侍と | 秋四二才10 | 心ぼそし | 秋四六才9 | はごぜん | 秋一〇才4 | | | |
| 「こころならず」(心) | | 心ぼそくのひ | 秋五〇才9 | 御前には | | | | |
| 心ならず | 秋二六才9 | 心ぼそく(連用法) | 秋五四才6 | 「ごぞ」(去年) | | | | |
| 心ならず | 秋三六才11 | 「こころむ」(試) | | 「ごぞの | | | | 秋三五才3* |
| 心ならぬ | 秋四七才9 | 心みん | 秋一四才2 | 「こちたし」(言痛) | | | | |
| 「こころにくし」(心憎) | | 「こころやすし」(心安) | | 「こちたき」(連体法) | | | | 書二四才9 |
| 心にくき(連体法) | 秋三二才2 | 心やすく(連用法) | 秋二二才11 | 「こつ」(言)↓ひとりこつ | | | | |
| 心にくき(連体法) | 秋三三才9 | 心やすくと | 秋三七才5 | 「こと」(事)↓いはひこと・おほむこと・おほむ | | | | |
| 心にくき(連体法) | 秋五四才1 | 心やすくはんへり | 秋四四才5 | 「ことども・さかさまこと・そらこと・なに | | | | |
| 「こころのどかなり」(心長閑) | | 心やすくこそ | 秋四四才4 | 「こと・やむ」ことなし | | | | |
| 心のどかにも | 秋二四才6 | 「こころゆく」(心行) | | 事をぞ | | | | 秋一ウ8 |
| 「こころばえ」(心延) | | 心ゆき給はんずるなど | 秋二二才8 | 事は | | | | 秋二ウ10 |
| 心ばへの | 秋四〇才10 | 「ごさん」(御産) | | 思ふ事は | | | | 秋三ウ2 |
| 「こころばせ」(心馳) | | 「ごさん」は | 書二五才4 | 事などに | | | | 秋三ウ8 |
| 心ばせ | 秋三三才1 | 「こし」(来)↓いでこし | | 事のみ | | | | 秋五才9 |
| 「こころぼそげなり」(心細) | | 「こしかたゆくすゑ」(来方行末) | | 事の | | | | 秋五ウ3 |
| 心ぼそげに | 秋一四才11 | 「こしかた行すゑも | 秋四ウ2 | 事にて | | | | 秋六才3 |
| 心ぼそげに | 秋二四才7 | 「こず」(掘)↓ねこず | | 事の | | | | 秋六才4 |
| 「こころぼそし」(心細) | | 「こずゑ」(梢) | | 事の | | | | 秋六才7 |
| 心ぼそく | 秋一六才10 | 「こずゑも | 秋五八才8 | 事も | | | | 秋六ウ6 |
| 心ぼそくて | 秋二八才7 | 「ごせ」(後世) | | 事だに | | | | 秋七才1 |
| 心ぼそく | 秋三四才7 | 「ごせを | 秋六五才4 | 事には | | | | 秋七才7 |
| 心ぼそし | 秋三四才11 | 「ごせち」(五節) | | 事 | | | | 秋七ウ7 |
| 心ぼそく(連用法) | 秋三七才4 | 五節など | 秋二六才9 | 事も | | | | 秋八ウ10 |
| 心ぼそし | 秋四〇才8 | 「ごせちの | 秋二八才11 | 事も | | | | 秋九才10 |
| 心ぼそくて | 秋四五才2 | 「ごぜん」(御前)↓とつべつひのみぎの「ごぜん」は | | 事こそ | | | | 秋九ウ4 |

| | | | | | |
|------|---------|--------|---------|------------|---------|
| 事のみ | 秋五〇ウ 11 | 事を | 書二一才 9 | こと | 書三四才 8 |
| 事をも | 秋五一才 1 | 事 | 書三三才 5 | こと(言)↓ひとこと | |
| 事 | 秋五一才 9 | 事なれば | 書二四ウ 2 | こといみ(言忌) | |
| 事 | 秋五一ウ 5 | 事は | 書二五才 10 | 事いみも | 秋三〇ウ 10 |
| 事を | 秋五一ウ 6 | ことなれば | 書二七才 1 | こといみも | 書二六ウ 7 |
| 事をか | 秋五一ウ 8 | ことなれば | 書二八才 4 | ことごとし(事事) | |
| 事かな | 秋五二才 4 | 事 | 書二八才 8 | こと | 秋三一才 10 |
| 事を | 秋五二才 4 | 事も | 書二八ウ 5 | ことさら(殊更) | |
| 事も | 秋五二才 10 | こと | 書二八ウ 5 | ことさらに | 秋五才 7 |
| 事と | 秋五二ウ 6 | こと | 書二九才 5 | ことづく(事付) | |
| 事は | 秋五三ウ 6 | こと也 | 書二九才 7 | 事づけて | 秋五八才 6 |
| 事こそ | 秋五三ウ 9 | 事に | 書二九才 9 | ことども(事共) | |
| 事に | 秋五五才 2 | ことにてこそ | 書二九才 10 | 事ども | 秋一〇才 7 |
| 事もや | 秋五五ウ 8 | こと | 書三〇才 11 | 事どもなど | 秋二三才 3 |
| 事 | 秋五六ウ 2 | こと | 書三一才 9 | 事どもに | 秋三三ウ 5 |
| 事の | 秋五七ウ 8 | 事 | 書三三ウ 4 | 事ども | 秋二五才 3 |
| 事なれば | 秋五八才 9 | 事 | 書三四ウ 10 | 事ども | 秋三八ウ 2 |
| 事にやと | 秋五九ウ 7 | ことは | 書三五才 7 | 事どもかな | 秋三八ウ 5 |
| 事の | 秋六〇才 9 | 事なれ | 書三五才 7 | 事ども | 秋四九才 5 |
| 事を | 秋六〇ウ 8 | ことは | 書三五才 10 | 事ども | 秋四九才 8 |
| 事こそ | 秋六一才 7 | 事 | 書三五ウ 5 | 事ども | 秋五二ウ 1 |
| 事にて | 秋六一才 4 | 事にても | 秋六六才 3 | 事どもを | 秋五五ウ 1 |
| 事も | 秋六三ウ 3 | 事なれば | 秋六六ウ 1 | 事ども | 書二二才 8 |
| 事 | 秋六四才 3 | 事も | 書三八ウ 1 | 事ども | 書二二ウ 8 |
| 事を | 秋六四ウ 2 | ことのみ | 書四〇ウ 3 | 事ども | 書三三ウ 3 |
| 事に | 秋六四ウ 7 | こと(琴) | | ことなり(殊) | |

| | このよ | こよひ |
|-----------------|---------|--------------------------|
| このよの | 秋四八才9 | こひわび給へば |
| このよに | 秋五〇ウ8 | こふ(乞) |
| このよ | 秋五五ウ9 | こひ給へども秋三四才?《中世王朝物語全集 |
| このよに | 秋五六才11 | では「呼び」と翻字》 |
| この世には | 秋六一ウ6* | こべん(小弁) |
| このよ | 書二五ウ6 | こ弁 |
| このよとのみは | 書三三ウ10* | こ弁など |
| こひし(恋) | | こべんも |
| こひしかりつる | 秋六ウ11 | こべん |
| こひしくて | 秋一六才1 | こべんは |
| こひしく(連用法) | 秋一六才8 | こべん |
| こひしく(連用法) | 秋二一才3 | こべんは |
| こひしく(連用法) | 秋三三ウ10 | こ弁など |
| こひしく(中止法) | 秋三九才4 | こべんなどが |
| こひしく(連用法) | 秋五〇才10 | こべんに |
| こひしく(連用法) | 秋五三才3 | こべん |
| こひしく(連用法) | 書一一才1 | こべん |
| こひしく(連用法) | 書三三才10 | こべんは |
| こひしき(恋) | | こ弁などが |
| こひしきに | 秋三三才8 | こべんに |
| こひしき(恋)↓おほむこひしき | | こべんは |
| こひしき | 秋三三ウ2 | こべん |
| こひしき | 秋四一才1 | こべんが |
| こひわぶ(恋侘) | | こ弁も |
| こひわぶる(連体法) | 秋三三才3 | こべん |
| こひわぶる(連体法) | | 少弁 |
| こひわぶる(連体法) | 書三三才1* | |
| こよひ | 書三八才8 | こべんのと(小弁殿) |
| こよひ | | こべんの殿に |
| こよひ | | こべんのと |
| こよひ | | こべんのと |
| こよひ | | こぼる(氷)↓さえこぼる |
| こよひ | | こぼる(零) |
| こよひ | | こぼるゝを |
| こよひ | | こぼるれば |
| こよひ | | こまかなり(細) |
| こよひ | | こまかなる(連体法) |
| こよひ | | こまかに(連用法) |
| こよひ | | こまつ(小松) |
| こよひ | | こまつに |
| こよひ | | こまやかに(細) |
| こよひ | | こまやかに(連用法) |
| こよひ | | こむ(籠)↓おろしこむ・とりこむ |
| こよひ | | こもち(子持) |
| こよひ | | こもちは |
| こよひ | | こもる(籠)↓おほとこのこもる・おほむとのこもる |
| こよひ | | こもりて |
| こよひ | | こもりしに |
| こよひ | | こゆ(越) |
| こよひ | | こゑなむ |
| こよひ | | こよひ(今宵) |
| こよひ | | こよひは |

こよひ これら

| | | | | | |
|---------------|---------|----------|----------|----------|---------|
| こよひは | 秋二四才 9 | 御らんずるにも | 書二二才 3 | これが | 秋三二才 4 |
| こよひばかりは | 秋二七才 9 | 御らんずるに | 書二二ウ 10 | これには | 秋三二才 7 |
| こよひは | 秋三五ウ 8 | 御らんぜよと | 秋六六才 2 | これをば | 秋三五ウ 1 |
| こよひ | 秋五七ウ 10 | 御らんじて | 秋六六才 7 | これを | 秋三七才 11 |
| こよひに | 秋五九才 10 | これ(此) | 秋四ウ 3 | これに | 秋三七ウ 8 |
| くらん(御覧) | 書二二ウ 5 | これほど | 秋四ウ 3 | これも | 秋四二才 6 |
| 御らんにて | | これに | 秋五ウ 10 | これも | 秋四五才 4 |
| くらんじ(御覧) | | これにては | 秋七才 9 | これさ系 | 秋四五才 7 |
| 御らんじも | 秋五一ウ 10 | こればかりはなど | 秋九ウ 1 | これが | 秋四六才 7 |
| くらんじつく(御覧着) | | こののみ | 秋一〇ウ 10 | これにぞ | 秋四六ウ 11 |
| 御らんじつけたるにやと | 秋三七才 10 | これあけよと | 秋一二ウ 7 | これも | 秋五〇才 11 |
| くらんず(御覧) | | これを | 秋一六ウ 1 | これも | 秋五二ウ 3 |
| くらんずるにも | 秋一〇ウ 9 | これへ | 秋一七ウ 5 | これは | 秋五四ウ 2 |
| くらんぜよ | 秋二二才 7 | これは | 秋一九ウ 6 | これへ | 秋五五才 7 |
| くらんじて | 秋一六才 3 | これへは | 秋二〇才 1 | これに | 秋五六才 10 |
| 御らんずるに | 秋一六才 11 | これも | 秋二〇才 3 | これも | 秋五七才 2 |
| 御らんぜず | 秋一六ウ 7 | これにさ系 | 秋二〇才 8 | これは | 秋五七才 10 |
| 御らんぜさせまいらせばやと | 秋二四ウ 2 | これも | 秋二〇ウ 3 | これにて | 秋六一ウ 9 |
| 御らんずるに | 秋二六才 2 | これこそは | 秋二〇ウ 7 * | これに | 秋六三才 6 |
| 御覧じつれば | 秋二九ウ 6 | これへ | 秋二一ウ 9 | これにて | 秋六三ウ 11 |
| 御覧するにも | 秋三二才 2 | これに | 秋三三ウ 3 | これは | 書二五才 5 |
| 御らんじて | 秋五三ウ 5 | これを | 秋二四才 5 | これも | 書二五ウ 9 |
| 御覧じて | 秋五五才 1 | これにも | 秋二六ウ 1 | これは | 書一九才 9 |
| 御らんずるも | 秋五六才 9 | これにと | 秋二七才 6 | これこれ(此此) | |
| 御らんぜさせたてまつれば | 秋五八才 3 | これより | 秋二八才 4 | これと | 秋五六才 7 |
| 御らんじて | 秋五九才 7 | これが | 秋二九才 5 | これら(此) | |

これらは 秋六才3

さ さ 秋八ウ5

しさ・うれしさ・おそろしさ・おほむこひ

これらに 書二一ウ11

さこそは 秋一四ウ4

しさ・おぼつかなさ・かたじけなさ・かな

これら(頃) ↓ このころ・とこのころ・なかのときを

さならんと 秋一五ウ5

しさ・けしからずさ・こひしさ・つらさ・と

かこのころ・このころ

さは 秋一五ウ5

ころせさ・なだらかさ・なつかしさ・はづ

このころ

さ 秋一九ウ8

かしさ・ふかさ・むつかしさ・めでたさ・ゆ

このころ(殺) ↓ のろひこのころ

さは 秋二〇才5

かしさ・らうたさ・わづらはしさ・わるさ

このころ(故院)

さ 秋二〇才5

さいしやうのひめぎみ(宰相姫君)

このころ(声) ↓ おほむこゑ

さ 秋二五ウ1

さいしやうのひめ君

このころ

さこそなど 秋二七才2

宰相のひめ君と

このころ

さこそ 秋二八才10

さいそ(最初)

このころ

さにやと 秋三三ウ7

さいその

このころ(来世)

さぞ 秋三七ウ4

さいはひ(幸) ↓ おほむさいはひ

このころにも

さこそと 秋三九ウ6

さいわいかなとのみぞ

このころをぶつだつ

さ 秋三九ウ10

さいわいと

このころを伝道と 秋六三才4 《今伝得最上》の

さは 秋五二才5

さいわいは

誤か《

さにこそと 秋五七才8

さいはひびと(幸人)

このころ

さ 秋五八才8

さいわい人かなと

このころ

さ 秋五九才4

さうし(冊子)

このころ

さなんめりと 秋五九ウ4

さうし

このころ(然)

さ 秋六〇ウ1

さうそう(葬送) ↓ おほむさうそう

このころ

さ 秋六〇ウ6

さえこほる(沓氷)

このころ

さ 書二八才3

さえとほる(沓徹)

このころ

さ 書二九才6

さゑとほりたるに

このころ

さ 秋八才2

さかさま(逆様)

な

| | | | | | |
|------|--------------------------------|--------|--------------------|------------|--------|
| さかさま | さかさまの | 秋九才10 | さきのよ(前世) | さしいづべしとも | 秋四七ウ11 |
| | さかさまの | 書二八ウ4 | さきのよ | さしいでゝ | 書三二ウ6 |
| | さかさまごと(逆様事) | 秋六五才3 | さく(咲) | さしたる(然) | 秋五一ウ5 |
| | さかさま事なれば | 秋二四ウ1 | さきにけり | さしたる | 秋二九ウ9 |
| | さかし(賢) | 秋六三才1 | さきにけり | さしつづく(差続) | 秋二九ウ9 |
| | さかしく(連用形) | 秋四六才8 | さきぬべし | さしつゞき(中止法) | 秋四九才3 |
| | さかひ(境) | 秋五八ウ8 | さくら(桜) | さしよる(差寄) | |
| | さかひにて | 秋五八ウ9 | さくらも | さしよる(差寄) | |
| | さかり(盛) | 書一八才7 | さくらども(桜共) | さす(閉) | |
| | さかりも | 秋二七ウ9* | さくらどもにや | さしたるに | 秋二二ウ1 |
| | さかり | 秋二九才7 | さぐわんぜぐわん(作願是願) | さすがなり | 秋四才7 |
| | さかりと | 秋四七才4 | さぐわんぜぐわん | さすがに(連用法) | 秋二二ウ7 |
| | さかりなり(盛) | 書三〇ウ3 | さこうのたいふ(左近大夫) | さすがに(連用法) | 秋二二ウ7 |
| | さかりにて | 書二七ウ9* | さこうのたいふは | さすがに(連用法) | 秋二二ウ7 |
| | さき(先)↓おくれさきだつ・とつぐうのさきの のござん | 秋二七ウ9* | さこんのたいふゆきやす(左近大夫ー) | さすがに(連用法) | 秋二二ウ1 |
| | さきに | 秋二九才7 | さこんの大夫ゆきやすは | さすがに(連用法) | 秋四五ウ2 |
| | さきに | 秋四七才4 | ささやかなり(細) | さすがに(連用法) | 秋五二ウ2 |
| | さきにとて | 書三〇ウ3 | ささやかに(連用法) | さすがに(連用法) | 秋五二ウ10 |
| | さきの | 書三五ウ4 | さゝやかに(中止法) | さすがに(連用法) | 書三九才9 |
| | さきに | 秋一〇ウ9 | ささやく(囁)↓うちささやく | さぞかし | 秋四六ウ3 |
| | さきざき(先先) | 秋一〇ウ9 | さしいづ(差出) | さぞかしと | 秋四六ウ3 |
| | さき | 秋三五ウ5 | さしいでゝ | さそふ(誘) | 書三三ウ9* |
| | さき | 秋四七才7 | さしいでたれば | さそはなん | |
| | さき | 秋三〇ウ7 | さしいでゝ | さた(沙汰) | 秋二ウ7 |
| | さき | 秋三五ウ6 | さしいでざりし | さた | |
| | さきだつ(先立) | 秋三六ウ10 | さしいでゝ | さたす(沙汰) | |
| | さきだちまいらせ侍ぬるこそ | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----|-------|--------------|--------|--------------|-----------------------|--------|-----------|--------|
| さたす | さま | | | | | | | |
| さて | さて(然) | さたしけり | 書二四才7 | さぶらふ(候)《本動詞》 | 候はざりつるにや | 秋一才3 | 候はねば | 秋五八才3 |
| さて | さて | 候給と | 秋一才6 | 候はざりつるにや | 候と | 秋一才3 | 候と | 秋五八才11 |
| さて | さて | のどかに候へなど | 秋一〇才9 | 候はぬを | さぶらふ(連体法) | 秋一才1 | 候 | 書三三才10 |
| さて | さて | 候らんと | 秋四〇才10 | 候はぬを | 候へ(「こそ」の結び) | 秋一五才2 | をろかに候まじとて | 書二九才10 |
| さて | さて | 候なれ | 秋六一才2 | 候けれど | 候し | 秋一五才3 | | 書二九才11 |
| さて | さて | 候し | 秋六一才8 | 候し | 候給 | 秋一八才3 | | 書三二才1 |
| さて | さて | 候つるに | 秋六四才6 | 候はざらむ | さぶらふ(候)《補助動詞》 | 秋一九才11 | | 秋六六才11 |
| さて | さて | 候はざらむ | 書三三才11 | 仰候まじき也とて | しつらいてこそ候給へと | 秋二〇才2 | | 秋一才9 |
| さて | さて | 候へども | 秋二二才6 | 候へども | 仰候しに | 秋二〇才5 | | 秋一四才1 |
| さて | さて | 候へど | 秋五九才6 | 候へど | おほせられ候つるとて | 秋三三才2 | | 秋一四才8 |
| さて | さて | 候を | 秋三〇才3 | 候へど | 思ひ候つるに | 秋二四才10 | | 秋一八才9 |
| さて | さて | 候と | 秋一四才7 | 候へど | おぼえ候とて | 秋二四才5 | | 秋三四才9 |
| さて | さて | まいりて候へども | 秋一四才7 | 候と | さほど | 秋二四才7 | | 秋三四才10 |
| さて | さて | 候はず | 秋三四才3 | 候と | さま(様)↓あからさまなり・ありさま・おほ | 秋二八才1 | | 秋二二才1 |
| さて | さて | きゝまいらせ候はず | 秋三四才3 | 候と | むさま・おもふさま | 秋二八才4 | | 秋二二才1 |
| さて | さて | 候と | 秋六一才4* | 候と | さまを | 秋三三才7 | | 秋三才6 |
| さて | さて | 候とも | 秋六一才4* | 候とも | さまなる | 秋三七才3 | | 秋四才3 |
| さて | さて | ことほりに候へども | 秋一一才2 | 候とも | さま | 秋三七才4 | | 秋四才3 |
| さて | さて | 候らん | 秋二五才8 | 候らん | さまに | 秋三七才10 | | 秋七才8 |
| さて | さて | さぶらふ(「ぞ」の結び) | 秋二六才3 | 候はまほしけれど | さまに | 秋三九才6 | | 秋九才6 |
| さて | さて | 候はまほしけれど | 秋二六才3 | 候はまほしけれど | さま | 秋四七才1 | | 秋二〇才11 |
| さて | さて | 候はまほしけれど | 秋二六才3 | 候はまほしけれど | さまも | 秋五三才2 | | 秋二一才5 |

| | | | | | |
|------------|---------|--------|---------|---------------------|---------|
| さるべかりけると | 秋八才 7 | さりげなくて | 秋四三才 2 | さわぎ(騒) ↓ こころさわぎす | |
| さりぬべき | 秋一八ウ 11 | さりとして | | さわぎ(騒) ↓ こころさわぎす | |
| さらぬだに | 秋二九才 4 | さりとして | 秋二才 3 | さはぎなり | 秋六三ウ 10 |
| さるべかりける | 秋二九才 11 | さりとして | 秋一二才 3 | さわぎあふ(騒合) | |
| さる(連体法) | 秋三六ウ 3 | さりとして | 秋一三ウ 5 | さはぎあひたり | 秋五六ウ 6 |
| さりぬべき | 秋四三才 3 | さりとも | | さわぐ(騒) ↓ うちさわぐ | |
| さる(連体法) | 秋六二才 4 | さりとも | 秋一四才 3 | さはぎて | 秋二〇ウ 2 |
| さる(連体法) | 書一一ウ 9 | さりとも | 秋一四ウ 5 | さはぎて | 秋三七才 5 |
| さるべかりける | 書二七才 1 | さりとも | 秋一九才 7 | さむ(三) ↓ にさむにち・にさむにん | |
| さる(連体法) | 書二八ウ 11 | さりとも | 秋一九才 10 | 三 | 秋六七才 5 |
| さらすとして | 書二九才 10 | さりとも | 秋二〇才 11 | さん(産) ↓ ござん | |
| さる(連体法) | 書三五ウ 11 | さりとも | 秋二四ウ 3 | さむ(三) ↓ だいなごんのさむる | |
| さり(去難) | | さりとも | 秋二四ウ 7 | 三ぬの | 秋二一ウ 10 |
| さがたし(去難) | 書二六ウ 10 | さりとも | 秋六一才 8 | 三ぬ | 書三五ウ 10 |
| さがたく(連用法) | | さりとも | | | |
| さりげなし | | さり(避) | | | |
| さりげなくて | 秋五才 7 | さらす | 書二七才 10 | | |
| さりげなくて | 秋五ウ 1 | さらす | 書二九才 1 | | |
| さりげなくて | 秋六ウ 8 | さらす | 書三〇才 4 | | |
| さりげなくて | 秋九ウ 10 | さるにても | | し(四) ↓ じふしじ | |
| さりげなく(連用法) | 秋一六才 2 | さるにても | 秋五〇才 10 | しあふ(為合) | 秋一〇才 4 |
| さりげなくて | 秋二一才 4 | されど | | しあひたり | |
| さりげなくて | 秋二二ウ 1 | されど | 秋六一才 7 | しいづ(為出) | |
| さりげなくて | 秋二五才 2 | されど | 書二六才 9 | しいで給えるにかと | 書二五才 10 |
| さりげなくて | 秋三九ウ 8 | されば | | しつりす(修理) | |
| さりげなくて | 秋三九ウ 11 | されば | 秋三五ウ 9 | しつりし(中止法) | 書三一ウ 3 |
| さりげなく(連用法) | 秋四一才 8 | されば | 秋六〇ウ 10 | しかしか(然然) | |
| | | | | しか など | 秋六四ウ 9 |

し

| | | | | | | |
|---------------|------------|--------|--------------------------|--------|-------------------------|--------|
| しのびやかにり(忍) | しのびやかにり | 秋二オ7 | しばし | 秋六ウ8 | しやうぞくなど | 秋二オ2 |
| しのびやかに(連用法) | しのびやかに | 秋九オ4 | しばしは | 秋九オ7 | しゆけす(出家) | |
| しのびやかに(連用法) | しのびやかに | 秋一〇オ7 | しばし | 秋一四ウ2 | しゆけせむと | 書三五ウ9 |
| しのびやかに(連用法) | しのびやかに | 秋一〇オ6 | しばし | 秋一六ウ3 | しゆみやうにふおみやうやうふもんぶつみやう | |
| しのびやかに(連用法) | しのびやかに | 秋一七ウ11 | しばしば(屢) | 秋三八オ11 | (従冥入於冥永不聞仏名) | |
| しのびやかに | しのびやかに | 秋二八ウ6 | しばしば | 秋四七オ9 | 従冥入於冥永不聞仏名と | 秋六二ウ4 |
| しのびやかに | しのびやかに | 秋五二ウ1 | しはず(師走) | | しよきやうでん(承香殿) | |
| しのびやかに | しのびやかに | 秋六二ウ10 | しわすには | 秋三三ウ2 | しよきやうでんなどは | 秋三一ウ8 |
| しのぶ(忍) ↓よせしのぶ | しのぶ | | しはつ(為果) | | しらす(知) | |
| しのびて | しのびて | 秋一オ2 | しはてゝ | 秋三オ4 | しらせ給な | 秋七オ3 |
| しのびて | しのびて | 秋七ウ10 | しはぶく(咳) ↓うちしはぶく | | しらせ給ななど | 秋一ウ10 |
| しのびて | しのびて | 秋一〇ウ5 | じふしご(十四五) | | しらせ給へと | 秋三六ウ8 |
| しのびてこそは | しのびてこそは | 秋一オ10 | 十四五ばかりなる | 秋四三ウ7 | しらせ給はざんなるに | 秋四六ウ9 |
| しのばせ給なるべし | しのばせ給なるべし | 秋二五ウ10 | しぶしぶなり | | しらぬかほなり(不知顔) | |
| しのびたるやうなれど | しのびたるやうなれど | 秋三二ウ9 | しぶ なれば | 秋二六オ1 | しらぬかほにて | 秋五四ウ10 |
| しのびて | しのびて | 秋三三ウ6 | しめじめ | | しり(後) | |
| 忍(連体法) | 忍(連体法) | 秋三五ウ4* | しめ と | 秋一九ウ3 | しりに | 秋五八ウ1 |
| しのびて | しのびて | 秋四三オ9 | しめ と | 秋二二ウ3 | しりげなり(知) | |
| しのびて | しのびて | 秋五六ウ8 | しめやかに | | しりげにも | 秋二六ウ3 |
| しのばん | しのばん | 書二一ウ6 | しめやかに(連用法) | 秋一五オ9 | しる(知) ↓いひしる・おもひしる・ききしる・ | |
| しのびて | しのびて | 書二四オ4 | しやう(荘) ↓みしやう | | ひとしれず・みしる・みへしる | |
| しのびたれど | しのびたれど | 書二四ウ1 | しやうぞく(装束) 《動詞》 | | しられで | 秋二オ6 |
| しばし(暫) | しばし(暫) | | しやうぞく | 書三三ウ10 | しられでなど | 秋五オ2 |
| しばし | しばし | 秋四ウ11 | しやうぞく | | しらす | 秋五ウ5 |
| しばし | しばし | 秋四ウ11 | しやうぞく(装束) 《名詞》 ↓おほむしやうぞく | | しり侍らん | 秋六オ4 |
| しばし | しばし | 秋五オ1 | しやうぞく(装束) ↓おほむしやうぞく | | しられん | 秋六オ7 |

| | | | | | |
|----------|---------|----------|---------|------------|---------|
| せんずる | 秋四ウ 10 | し侍らねば | 秋二六ウ 2 | してん | 秋五一ウ 10 |
| すべきと | 秋五ウ 2 | すべき | 秋二六ウ 8 | せさせ給へとて | 秋五三ウ 4 |
| すべき | 秋六オ 2 | すれば | 秋二七オ 7 | せさせ侍を | 秋五三ウ 8 |
| すべき | 秋六ウ 2 | し給に | 秋二七オ 8 | し給つらんと | 秋五四ウ 8 |
| し給はねば | 秋七ウ 1 | し給へども | 秋三〇オ 3 | して | 秋五六オ 7 |
| せさせ給ふも | 秋七ウ 5 | せし物をと | 秋三〇ウ 5 | すなと | 秋五七オ 1 |
| して | 秋一〇オ 3 | せられず | 秋三〇ウ 10 | して | 秋五七ウ 5 |
| す | 秋一〇ウ 8 | して | 秋三三オ 5 | して | 秋五八ウ 3 |
| せさせ給へきにや | 秋二二オ 4 | したる | 秋三四オ 11 | せしか | 秋五九ウ 6 |
| せす | 秋二二ウ 4 | し給はぬかと | 秋三四ウ 4 | して | 秋六〇オ 6 |
| す | 秋二三オ 3 | する(連体法) | 秋三四ウ 11 | して | 秋六〇オ 11 |
| せし | 秋三三ウ 10 | して | 秋三五オ 6 | せさせ給て | 秋六〇ウ 5 |
| し給に | 秋一四オ 11 | して | 秋三五ウ 10 | し侍覽 | 秋六一ウ 8 |
| するぞ | 秋一五オ 2 | し給なるらん | 秋三六オ 9 | せむと | 秋六二ウ 7* |
| せんとてと | 秋一六オ 6 | して | 秋三七オ 7 | し侍れ | 秋六三オ 2 |
| して | 秋一六ウ 4 | すべしと | 秋三八ウ 4 | せす | 秋六三オ 6 |
| すべしと | 秋一八ウ 11 | するに | 秋三九ウ 3 | せよ | 秋六三オ 7 |
| して | 秋一九ウ 4 | し給はぬかと | 秋四〇オ 1 | して | 秋六三ウ 11 |
| し給つらむと | 秋二〇ウ 3 | してこそ | 秋四〇オ 4 | して | 秋六四ウ 2 |
| して | 秋二〇ウ 5 | し給にも | 秋四一オ 1 | せんと | 秋六四ウ 3 |
| しに | 秋二一ウ 9 | せられたまはねば | 秋四七ウ 2 | すらん | 書二三オ 9 |
| して | 秋二二オ 3 | せられず | 秋四八オ 5 | したてまつり給しか | 書二五ウ 8 |
| して | 秋二二ウ 4 | せられ給しか | 秋四八オ 7 | せられたまはざりけり | 書二六ウ 7 |
| せす | 秋三三オ 9 | して | 秋四八ウ 4 | せさせ給へ | 書二七オ 6 |
| して | 秋二六オ 2 | し給へば | 秋五〇ウ 8 | しける | 書三〇オ 9 |
| して | 秋二六オ 7 | し給はんと | 秋五一ウ 1 | して | 書三一ウ 9 |

す すずり

| | | | | | |
|----------------------|---------|------------------------|---------|---------------|---------|
| せん | 書三一ウ 11 | すぎなば | 秋五七ウ 10 | すこしも | 秋二一才 11 |
| せよと | 書三二ウ 5 | すぎにしかど | 秋六〇才 1 | すこし | 秋二六才 7 |
| し給ける | 書三二ウ 10 | すぎて | 書二五才 11 | すこしも | 秋二六ウ 3 |
| する(連体法) | 書三五才 7 | すぎぬれば | 書三一才 9 | すこし | 秋四六才 5 |
| しけるを | 書三五ウ 10 | すぐるぞ | 秋六五才 7 | すこし | 秋四六才 7 |
| せんと | 秋六五才 3 | すぐす(過) | 書三九才 5 | すこし | 秋四八才 11 |
| して | 秋六五ウ 2 | すぐさせ給ける | 秋五六ウ 3 | すこしも | 秋五三ウ 1 |
| せんと | 秋六五ウ 5* | すぐすくし | 秋五六ウ 3 | すこしも | 秋六一才 11 |
| し給ゑる | 秋六六ウ 8 | すく しく(連用法) | 秋五六ウ 3 | すこしも | 書三三才 4 |
| し給けるとぞ | 書四〇ウ 8 | すくすくと | 秋五八ウ 5 | すこし給に | 秋二九ウ 5 |
| す(簾) ↓みす | | すく と | 秋五八ウ 5 | すこし給に | 秋三二ウ 8 |
| ずいじん(隨身) ↓みずいじん | | すくせ(宿世) ↓おほむすくせ | 秋五八ウ 5 | すこし給に | 秋三二ウ 8 |
| ずいじんども(隨身共) ↓みずいじんども | | すくせかなと | 秋五才 6 | すこさせたまはぬ | 秋四五才 3 |
| ずきやう(誦経) | 秋三七才 7 | すくせの | 秋七ウ 6 | すこし給へば | 秋四八ウ 3 |
| ずきやうなど | 書三九才 7 | すくせの | 秋八ウ 11 | すこしけるにや | 秋五九ウ 2 |
| ずきやうに | 書三九才 7 | すくせを | 書二六才 6 | すさぶ(荒) ↓うちすさぶ | |
| ずきやうす(誦経) | | すぐる(勝) | 秋三三才 6 | すさみ(遊) ↓くちすさみ | |
| ずきやうせさせ給も | 書二四才 10 | すぐれたる | 秋三三才 6 | ずず(数珠) | |
| ずきやうし給て | 書三九才 9 | すけ(介・佐) ↓だいなごんのすけ・ちうなご | 秋三三才 6 | ずを | 秋二八才 2 |
| すぎゆく(過行) | 秋五八ウ 9 | んのすけ・ちうなごんのすけどの・わかみ | | すすみいづ(進出) | |
| すぎゆくに | 書二四才 8 | やのおほむめものちうなごんのすけ | | すすみいで | 秋一七才 3 |
| すぎゆくに | | すこし(少) ↓いますこし | | すすむ(勸) | |
| すぐ(過) | | すこし | 秋二才 11 | すすめられて | 秋八ウ 3 |
| すぎぬれば | 秋二六才 9 | すこし | 秋二ウ 6 | すずり(硯) | |
| すぎぬる | 秋二八ウ 10 | すこしも | 秋一七才 4 | すずりの | 書三二ウ 8 |
| すぐべきと | 秋四九才 1 | | | | |

そで (筋) すぎにて 秋四才11

すぎをば 秋二九才5

すぎは 秋四九才11

すぎなればにや 書二六ウ9

すつ(捨) ↓うちすつ・おぼしすつ・おもひす

つ・そりすつ・みすつ

すてられたりし 秋三四才6

すます(澄) ↓おもひすます・よみすます

すまひう(辞得)

すまいえ給はず 秋二九ウ1

すむ(住)

すまん 秋一七才1*

すむ(澄) ↓かいすむ

すゑ(末) ↓こしかたゆくすゑ・こずゑ・ゆく

すゑ

すえは 秋二一ウ5

すえ 書二七ウ6

すへなれば 秋六五才1

すゑずゑ(末末) ↓おほむすゑずゑ

せの

せ(世) ↓こせ

せいす(制) ↓にくみせいす

せいせさせたまひて

せいする(連体法)

せいすれば

せいし給へば

せうせう(少少)

せう

せう

せう

せきあふ(塞敢)

せきあえ給はねば

せさ(狭) ↓ところせさ

せしやう(撰政)

せしやう

せち(節) ↓こせち

せめて

せめて

せめても

せめての

せめて

ぜん(前) ↓こぜん

ぜんかたなし(為方無)

ぜんかたなく(連用法)

せんじ(宣言)

秋六一ウ7*

せんじ 書二五ウ11
せんじに 書二九ウ7

そ

ぞ(衣) ↓おほむぞ・おほむぞども

そつづ(僧都)

そつづは

そこ(其処)

そこにも

そこにも

そこに

そこを

袖を

書三九才8

秋五才1

秋一六才4

秋一六才7

秋一六ウ8

秋三〇才3

秋五一ウ3

秋五九ウ5

秋一五ウ7

秋一五ウ7

秋一五ウ7

秋三才2

秋四二ウ8

秋五四才6

秋三三才5

秋四四才1

秋四四才1

せ

せ(瀬)

| | | | | | | |
|----|---------------|-------|------------------------|--------|----------|--------|
| そで | そで | 秋四四才4 | そふ(添)《四段》 | 秋二九才3 | そらじになど | 秋二ウ4 |
| | その(其) | | そい給 | 秋六一才5 | そらじに | 秋三ウ2 |
| | その | 秋一才6 | そい給まじと | 書二六ウ1 | そらなり(空) | 秋三三ウ10 |
| | その | 秋四才11 | そひて | | そらにて | 秋三三ウ10 |
| | その | 秋一五才5 | そふ(添)《下二段》 ↓うちそふ | 秋一〇ウ11 | そりすつ(剃捨) | 秋五〇ウ10 |
| | その | 秋二一ウ7 | そへて | 秋二四才11 | そりすてまじと | |
| | その | 秋二九才6 | そへて | 秋三一才2 | それ(其) | 秋五ウ11 |
| | その | 秋四四才2 | そへて | 秋三一才2 | それにさゑは | 秋七ウ2 |
| | 其 | 秋四七才4 | そへて | 秋三三ウ10 | それも | 秋七ウ2 |
| | その | 秋四七ウ6 | そへて | 秋四九ウ10 | それぞ | 秋九才8 |
| | その | 秋五二ウ6 | そへて | 秋五三才2 | それにも | 秋九才9 |
| | その | 秋五三ウ3 | そへては | 秋五三ウ6 | それより | 秋一二ウ3 |
| | その | 秋五五才8 | そへなど | 秋六〇ウ5 | それも | 秋一三才9 |
| | その | 書二三才2 | そへて | 秋六五ウ6 | それを | 秋一三ウ2 |
| | その | 書二四才1 | そむ(初) ↓おぼしそむ・まうしそむ・わたし | | それには | 秋一八才4 |
| | その | 書一九才3 | そむ | | それに | 秋二六才4 |
| | その | 書三四ウ5 | そむく(背) | | それを | 秋三六ウ1 |
| | その | 書四〇ウ3 | そむき給にても | 秋三〇ウ1 | それも | 秋三六ウ1 |
| | そばだつ(敬) | | そよ(其) | | それは | 秋三六ウ2 |
| | そばだてゝ | 秋五八ウ6 | そよ | 秋二ウ3 | それを | 秋四〇才1 |
| | そばむ(側) ↓うちそばむ | | そら(空) | | それなれば | 秋四一ウ6 |
| | そひふす(添臥) | | そらの | 秋四六才4 | それを | 秋四三ウ9 |
| それ | そいふさせたまふに | 秋三才6 | そらごと(空事) | | それと | 秋四四才9 |
| | そひふして | 秋五〇ウ4 | そら事と | 秋一四ウ11 | それも | 秋四四ウ6 |
| | そひぬる(添居) | | そらじに(空死) | | それに | 秋五〇ウ1 |
| そで | そいぬさせ給て | 秋八ウ8 | そらじにを | 秋一ウ11 | それに | 秋五三才7 |

それぞ
それも
それなれば
それも
それに
それを
それに

秋五五才 2
秋五五才 9
秋五七才 11
秋六一ウ 8
書二八ウ 7
書三六才 1
書三九ウ 11

大將に
大しやうに
大將の
大しやうばかりこそ
大將の
大しやうの
大しやうは
大將の
大しやうの

秋四ウ 11
秋七ウ 1
秋二一才 4
秋二一ウ 2
秋二一ウ 8
秋二五ウ 9
秋二六才 10
秋二八才 11
秋二九ウ 11
秋三一才 8
秋三三才 2
秋三三ウ 11
秋三九ウ 2
秋四二ウ 3
秋四二ウ 6
秋五〇才 1
秋五〇才 9
秋六三ウ 8
書二一ウ 3
書二六才 2
書二八ウ 8
書二九ウ 2
秋六六ウ 2

大じやう大じんどの
だいしやうどの(大將殿)
大しやう殿を
大しやう殿は
大將殿
大將どの、
大しやう殿、
大將殿などに
大しやう殿は
大將殿、
大將殿は
大しやうどの、
大將殿は
大將殿、
大將どの、

書三五才 5
秋一ウ 10
秋二才 1
秋二ウ 1
秋三才 7
秋九ウ 3
秋一〇ウ 4
秋一一才 11
秋二一才 9
秋二二才 11
秋三三ウ 9
秋三四ウ 11
秋二八才 3
秋二九ウ 1
秋三〇才 10
秋三三ウ 3
秋三八ウ 7
秋四二才 8
秋四三才 1
秋四七才 6
秋四八ウ 8
秋四九才 3
秋五〇ウ 5
秋六四ウ 6
書二六ウ 3

た

た(誰)

たが

たそと

たそやとて

たそ

たが

だいじ(大事)

大事の

大事に

大事の

だいじの

だいしやう(大將)

大將の

大將の

大將ばかりこそ

秋一ウ 8
秋三才 10
秋三ウ 9

だいじやうだいじん(太政大臣)
大じやう大じんに
だいじやうだいじんの(太政大臣殿)

書二七ウ 1

大將どの、
大將殿、
大將殿は
大將殿は

書二六ウ 3

だいしやうどの ただ

| | | | | | |
|------------------------|--------|------------------------|--------|---------------|--------|
| 大将どのゝ | 書二七才3 | 大納言の三位 | 秋三一才10 | たがへたてまつり待まじ | 秋六ウ5 |
| 大将どのゝ | 書三〇ウ1 | 大納言三位 | 秋三三才8 | たがへまいらせ給はず | 書二八ウ5 |
| 大将どのゝ | 書三一ウ5 | 大納言三ゐの | 書三五才3 | たがへ(違) ↓ひとたがへ | |
| 大将殿ゝ | 書三一ウ6 | だいなごんのすけ(大納言佐) | | たきぐち(滝口) | |
| 大将殿ゝ | 秋六五ウ7 | 大納言の佐 | 秋二一ウ10 | たきぐちの | 秋四ウ8 |
| 大将どのゝ | 書三八ウ11 | だいなごんどころ(台盤所) | | たきぐちども(滝口共) | |
| 大将どのゝ | 書三九ウ11 | 大ばん所へ | 秋一八才10 | たきぐちどもの | 秋一〇才2 |
| だいしやうどののうへ(大将殿上) | | たいふ(大夫・大輔) ↓さこうのたいふ・さこ | | たぐひなし(類無) | |
| 大将どののうへ(大將上) | 書二九ウ3 | んのたいふゆきやす・しきぶのたいふ・し | | たぐひなく(連用法) | 秋一ウ3 |
| | | きぶのたいふゆきやす | | たぐひなし | 秋四才4 |
| 大将のうへなどにこそ | 秋一ウ2 | たいめん(対面) ↓なだいめん | | たぐひなくて | 秋三三ウ2 |
| 大将の上にて | 書二六才8 | たいめんす(対面) | | たぐひなかりしにも | 秋二四才8 |
| だいしやうゑ(大嘗会) | | たいめんせまほしかりつるに | 秋六一ウ11 | たぐひなく(連用法) | 秋三三才10 |
| 大嘗会 | 書三一才8 | だいら(内裏) | | たぐひなかりしぞかし | 秋四〇ウ9 |
| だいじん(大臣) ↓うだいじんのど・だいじや | | 大りに | 秋五六ウ8 | たぐひなく(連用法) | 秋六六才7 |
| うだいじん・だいじやうだいじんのど・な | | 大裏へ | 秋六三才9 | たぐひなく(連用法) | 書三九才6 |
| いだいじんのど | | だいらへ | 書二七才9 | たしかなり(確) | |
| 大じん | 書二五才8 | だう(堂) ↓みだう | | たしかに(連用法) | 秋三七才11 |
| だいじんのど(大臣殿) | | たえいる(絶入) | | たしかに(連用法) | 秋三七ウ4 |
| 大臣殿ゝ | 秋二八ウ6 | たへいるとなん | 秋一七ウ4 | ただ(唯) | |
| 大臣殿へ | 秋五二ウ11 | たえ入給ぬれば | 秋六四ウ4 | たゞ | 秋一才5 |
| 大臣殿は | 秋六四ウ7 | たかし(高) ↓けだかし | 秋五ウ5 | たゞ | 秋三才10 |
| だいそうじやう(大僧正) ↓ほふむのだいそう | | たかく(連用法) | | たゞ | 秋六ウ3 |
| じやう | | たがひ(違) | | たゞ | 秋六ウ10 |
| だいなごん(大納言) ↓あぜちのだいなごん | | たがひや | 秋六一ウ8 | たゞ | 秋八才2 |
| だいなごんのさむゐ(大納言三位) | | たがふ(違) | | たゞ | 秋八才6 |

| | | | | | |
|------------|---------|---------------------------|---------|--------------------------|----------|
| たゞ | 秋八ウ 11 | たゞすみで | 秋一六ウ 4 | たつらんと | 秋二七ウ 9 * |
| たゞ | 秋九オ 6 | ただならず(唯) | | たたねば | 秋二八ウ 2 |
| たゞ | 秋一〇ウ 10 | たゞならずさへ | 秋三二ウ 11 | たゞぬぞと | 秋二八ウ 3 |
| たゞ | 秋一ウ 9 | ただなり(唯) | | たつに | 秋三九オ 9 |
| たゞ | 秋二五ウ 9 | たゞならば | 秋一九ウ 5 | たゞれず | 秋四六ウ 4 |
| たゞ | 秋三八オ 2 | ただびと(直人) | | たちて | 秋五二オ 7 |
| たゞ | 秋三八ウ 5 | たゞ人の | 書三〇オ 2 | たつべき | 秋六二オ 10 |
| たゞ | 秋四一オ 3 | たち(達) ↓ いもつとたち・きむだち・てんじ | | たちける | 書三五ウ 4 |
| たゞ | 秋四五ウ 4 | やうびとたち・によつばうたち・みこたち・ | | たゞせ給にしかば | 書三八ウ 10 |
| たゞ | 秋四七ウ 7 | みやたち・ゐんたち | | たつ(立)《下二段》 ↓ おしたつ・したつ・ひき | |
| ただ | 秋五四オ 5 | たちかくる(立隠) | | たつ | |
| たゞ | 秋五六オ 10 | たちかくれて | 秋四三オ 4 | たてゝ | 秋一ウ 5 |
| たゞ | 秋六三ウ 1 | たちかくれ給ぬ | 秋四七オ 8 | たづ(鶴) ↓ あしたづ | |
| たゞ | 書三〇オ 1 | たちかへる(立帰) | | たづぬ(尋) | |
| たゞ | 書三一オ 4 | たちかへりて | 秋一四ウ 6 | たづね侍らんとて | 秋一八オ 7 |
| たゞ | 書三三オ 11 | たちかへりなんと | 秋二七オ 7 | たづねさせ給と | 秋一八オ 11 |
| たゞ | 書四〇ウ 3 | たちはきども(帯刀共) | | たづねさせ給はんとて | 秋一八ウ 4 |
| ただいま(只今) | | たちはきども | 秋一〇オ 4 | たづねきこゑ給へば | 秋三二ウ 4 |
| ただいまゝでは | 秋四一オ 9 | たちめぐる(立巡) | | たづねて | 秋五六オ 1 |
| ただいまゝでは | 秋四四ウ 2 | たちめくりて | 秋四六オ 2 | たづねをはしまして | 秋五六ウ 10 |
| たゞいまは | 秋五八オ 1 | たちよる(立寄) | | たづねて | 書二四ウ 4 |
| たゞいまは | 秋六三ウ 6 | たちより給へ | 秋五七ウ 9 | たづねあふ(尋会) | 書三四オ 11 |
| たゞいま | 書一八オ 7 | たつ(立)《四段》 ↓ うきたつ・おくれさぎだつ・ | | たづねあひて | 秋一四オ 1 |
| たたずみあふ(佇会) | | さぎだつ | | たづねまかる(尋罷) | |
| たたずみあひて | 秋三九ウ 2 | たゞれ給はで | 秋二〇ウ 5 | たづねまからざらんと | 秋一九ウ 3 |
| たたずむ(佇) | | たち給ぬ | 秋二〇ウ 9 | | |

たづねゆく(尋行)

たづねゆきて

たてまつる(奉)《本動詞》

たてまつれなど

たてまつる(奉)《補助動詞》

くしたてまつりて

たがへたてまつり侍まじ

わたしたてまつれと

みせたてまつるな

あいたてまつるべき

あひたてまつらんと

みたてまつり給

あひみたてまつらせ給はん

へだてたてまつらじと

みたてまつるも

かたりたてまつれば

あひたてまつりて

みをくりたてまつれば

みたてまつるに

かたりたてまつりて

かきいだきたてまつりて

きゝたてまつるに

みたてまつりぬれば

あひみたてまつらん

みたてまつらむとて
御覽せさせたてまつれば

秋五七才7

書三四才9

秋一才11

秋六ウ5

秋七ウ11

秋一〇ウ4

秋二二ウ10

秋二二ウ4

秋一五ウ8

秋一七才6

秋一九才6

秋一九ウ7

秋二〇ウ11

ちぎりたてまつりし

あづけたてまつりたれば

たてまつりて

したてまつり給しか

みたてまつり給にも

むかへたてまつり給て

をしみたてまつれど

つけたてまつらんと

みたてまつらせ給

つきたてまつりてぞ

思たてまつりける

見せたてまつらでと

「ほ」めたてまつり給

「わ」たしたてまつりて

わたしたてまつり給へり

きたてまつりて

たとひ(仮令)

たとひの

たとい

たとひ

たとふ(例)

たとへなし(仮令無)

たとへなき(連体法)

たとへなきにや

たね(種)

秋六〇ウ7

秋六二才8

書二二ウ8

書二五ウ8

書二六ウ5

書二七才9

書二八才11

書二九才7

書三〇才7

書三〇ウ11

書三四ウ3

書三五ウ2

秋六六才1

秋六六才2

秋六六才5

書三八才6

たね

たのむ(頼)

たのみて

たのみきこゆべき

たのもし(頼)

たのもしく(連用法)

たのもしからず

たのもしからず

たのもしく(連用法)

たのもしびと(頼人)

たのもし人にて

たばかり(謀)

たばかりて

たび(度) ↓ このたび・ひとたび

たびたび(程度)

たび

たひらかなり(平)

たいらかにて

たいらかにて

たふ(耐)

たえて

たへたる

たぶ(給) ↓ もひたぶ

たぶとし(尊)

たうとき(連体法)
あなたうと

秋五五ウ4*

秋四八才10

秋五六才3

秋一四才4

秋五三ウ1

書二〇ウ11

書二七ウ8

秋四一ウ1

秋四四ウ7

秋一五才1

秋四四ウ3

秋五五才10

秋二三才8

秋四四才6

秋二八才1

秋四四才11

| | | | | | |
|--------------|--------|-------------|-------|--------------|--------|
| たうとく(連用法) | 書四〇才10 | よびとり給はんとて | 秋一ウ10 | おぼえ給はず | 秋七才2 |
| たふれまどふ(倒惑) | | し給なる | 秋一ウ11 | しらせ給な | 秋七才4 |
| たうれまどひけり | 書三三ウ6 | みいれさせ給はざんなり | 秋二才2 | し給はねば | 秋七ウ1 |
| たへがたげなり(耐難) | | まいり給へなど | 秋二才8 | せさせ給ふも | 秋七ウ5 |
| たへがたげなるも | 書二二ウ9 | わたらせ給はめ | 秋二ウ1 | うちわらはせ給て | 秋八才2 |
| たへがたし(耐難) | | みえ給はぬに | 秋二ウ3 | 申させ給はん | 秋八才6 |
| たえがたく(連用法) | 秋二六ウ10 | せいせさせたまひて | 秋二ウ4 | うちほゝゑませ給て | 秋八才10 |
| たましひ(魂) | | せさせ給なれば | 秋二ウ5 | ひきかづき給て | 秋八才11 |
| たましいも | 秋六二ウ6* | おぼえさせたまふ | 秋三才1 | いなびゑ給はじ物をとて | 秋八ウ2 |
| たましひ | 書三三才8 | おぼえさせたまふ | 秋三才4 | わたらせ給ぞ | 秋八ウ4 |
| たましみの | 書三三才9* | 入らせたまひぬ | 秋三才5 | ふし給ぬ | 秋八ウ8 |
| たまふ(給)《本動詞》 | | そいふさせたまふに | 秋三才6 | そいゐさせ給て | 秋八ウ9 |
| 給へ | 秋七才9 | ねられたまはねば | 秋三才7 | おもひいられ給 | 秋九才1 |
| たまふ(給)《補助動詞》 | | なき給に | 秋三才10 | きかせ給て | 秋九才4 |
| なり | | ひたつるひ給(連体法) | 秋三ウ4 | 申させ給そ | 秋九才7 |
| きかせ給つらむ | 秋一才1 | うちわらはせたまひて | 秋三ウ7 | 申させ給なるが | 秋九ウ5 |
| とはせ給へば | 秋一才2 | おぼえさせ給へども | 秋四才8 | いでさせ給ぬ | 秋九ウ10 |
| わたらせ給て | 秋一才4 | おぼえさせ給 | 秋四ウ7 | おどろかせ給て | 秋九ウ11 |
| 物申させ給つると | 秋一才4 | せさせ給はず | 秋四ウ9 | けうぜさせ給 | 秋一〇才1 |
| うらみさせ給て | 秋一才6 | ぬ給へよ | 秋五才2 | つくらせ給 | 秋一〇才1 |
| しつらいてこそ候給へと | 秋一才9 | ちぎらせ給へども | 秋五才3 | ゝ(と)はせ給に | 秋一〇才6 |
| 候給と | 秋一ウ1 | わたらせ給へるに | 秋五ウ2 | ゝ(と)はせ給へば | 秋一〇才10 |
| きかせ給つるに | 秋一ウ1 | かへり給へ | 秋五ウ6 | 申なぐさめおこせ給へるも | 秋一〇ウ7 |
| いらせ給て | 秋一ウ4 | みくらへ給らんなど | 秋五ウ9 | いだから給へるも | 秋一〇ウ11 |
| のぞかせ給に | 秋一ウ4 | 申給(連体法) | 秋六才8 | わたらせ給へば | 秋一一才2 |
| きかせ給へば | 秋一ウ8 | きこゑ給へども | 秋六ウ9 | かへらせ給べき | 秋一一才5 |

| | | | | | |
|---------------|---------|--------------|---------|--------------|---------|
| おぼしわづらはせ給 | 秋一〇才 8 | はいゝで給へるを | 秋一五ウ 8 | かくれはて給はじ | 秋二〇ウ 1 |
| いひなし給 | 秋一〇才 11 | みたてまつり給 | 秋一五ウ 8 | かたらはれ給らんなど | 秋二〇ウ 2 |
| いで給ふを | 秋一〇才 5 | むまれ給し | 秋一五ウ 9 | し給つらむと | 秋二〇ウ 3 |
| しらせ給ななど | 秋一〇才 10 | ふさせ給へりし | 秋一五ウ 10 | たゞれ給はで | 秋二〇ウ 5 |
| せいし給へば | 秋一〇才 11 | み給はぬと | 秋一六才 1 | み給えり | 秋二〇ウ 6 |
| せさせ給へきにやと | 秋二〇才 4 | もてなし給(連体法) | 秋一六才 3 | たち給ぬ | 秋二〇ウ 9 |
| いで給 | 秋二〇才 6 | 申給 | 秋一六才 6 | きかせ給 | 秋二〇才 1 |
| あけさせ給に | 秋二〇才 4 | のごひかくし給(連体法) | 秋一六才 11 | まぎれいらせ給ぬ | 秋二〇才 4 |
| 返らせ給べきなど | 秋二〇才 2 | まいり給を | 秋一六ウ 5 | おぼえ給 | 秋二〇ウ 10 |
| み給に | 秋二〇才 6 | しづみふし給へれば | 秋一六ウ 7 | きゝ給て | 秋二〇才 1 |
| かくれ給ぬるにやと | 秋二〇才 3 | ながめ入給て | 秋一六ウ 9 | おもひあつかひまいらせ給 | 秋二〇才 2 |
| しり給はぬ | 秋二〇才 3 | しらせ給はじかし | 秋一七才 4 | おくらせ給 | 秋二〇才 4 |
| をきいで給ふに | 秋二〇才 5 | あひみたてまつらせ給はん | 秋一七才 7 | い給へり | 秋二〇ウ 2 |
| をしやり給て | 秋二〇才 7 | まいり給たれば | 秋一七才 9 | うちみ給より | 秋二〇ウ 2 |
| し給に | 秋二〇才 11 | 申給へば | 秋一七ウ 1 | 心ゆき給はんずるなど | 秋二〇ウ 8 |
| まちまいらせさせ給へかしと | 秋二〇才 3 | 申給へば | 秋一七ウ 6 | のゝしり給へば | 秋二〇ウ 9 |
| かくれはて給はじ | 秋二〇才 5 | うちゑませ給 | 秋一七ウ 7 | やみはてさせ給なんずと | 秋二〇才 1 |
| いで給に | 秋二〇才 7 | しらせ給へる | 秋一七ウ 8 | いで給を | 秋二〇才 4 |
| いそぎわたらせ給へ | 秋二〇才 10 | 申給(連体法) | 秋一七ウ 11 | とゞまり給へ | 秋二〇才 7 |
| みとり給へば | 秋二〇才 11 | かくれ給べきにか | 秋一八才 6 | み給てん | 秋二〇ウ 6 |
| まいり給ぬ | 秋二〇才 4 | たづねさせ給と | 秋一八ウ 1 | よび給へば | 秋二〇ウ 7 |
| まいり給へれば | 秋二〇才 6 | たづねさせ給はんとて | 秋一八ウ 4 | いで給ぬ | 秋二〇ウ 8 |
| おぼえさせ給 | 秋二〇才 9 | かくれ給べき | 秋一九才 9 | なきふし給えり | 秋二〇ウ 9 |
| 申給て | 秋二〇才 3 | きかせ給 | 秋一九才 10 | まいり給へば | 秋二〇ウ 11 |
| わらはせ給へば | 秋二〇才 6 | をしのごひ給へば | 秋一九ウ 4 | み給へば | 秋二〇才 1 |
| 申給 | 秋二〇才 7 | ゆるしきこゑさせ給はず | 秋二〇才 1 | みへ給はず | 秋二〇才 8 |

| | | | | | |
|--------------|--------|------------|--------|--------------|--------|
| 候給て | 秋二四才10 | ね給えり | 秋二八才9 | たづねさせ給らんと | 秋三三才4 |
| うちなぎ給へば | 秋二四才11 | ゝ(と)はせ給へば | 秋二八才10 | 成給にけり | 秋三三才11 |
| なぐさめ給へども | 秋二四才9 | まいらせ給へと | 秋二八才1 | あげ給を | 秋三三才1 |
| うちかみ給つゝ | 秋二四才9 | そい給(連体法) | 秋二九才3 | わたらせ給て | 秋三三才2 |
| ね給はぬ | 秋二四才10 | 覚給 | 秋二九才4 | おぼしなげかせ給と | 秋三三才8 |
| うちながめ給し | 秋二五才5 | すまいえ給はず | 秋二九才1 | みえ給ふ(終止法) | 秋三三才11 |
| あひみさせ給(連体法) | 秋二五才6 | すごし給に | 秋二九才5 | なげかせ給(連体法) | 秋三三才6 |
| おぼしうとませ給はず | 秋二五才9 | み給しに | 秋二九才6 | うちゑませ給ぬる | 秋三三才8 |
| 申させ給へなど | 秋二五才4 | かたらひ給つゝ | 秋二九才7 | こひ給へども | 秋三四才3 |
| かくれふさせ給ても | 秋二五才7 | しり給はで | 秋二九才11 | にくみ給し | 秋三四才3 |
| しのばせ給なるべし | 秋二五才10 | いで給にしより | 秋二九才11 | うせ給ぬ | 秋三四才3 |
| ひきをこさせ給に | 秋二六才1 | まいり給はぬを | 秋三〇才1 | まいり給はず | 秋三四才5 |
| うらみわびさせ給て | 秋二六才1 | し給へども | 秋三〇才3 | み給へば | 秋三四才10 |
| まさらせ給て | 秋二六才7 | み給に | 秋三〇才7 | みまはし給に | 秋三四才2 |
| おぼえさせ給へば | 秋二六才11 | なげ給にても | 秋三〇才11 | し給はぬかと | 秋三四才5 |
| きゝ給てんずらん | 秋二七才2 | そむき給にても | 秋三〇才1 | うちながめ給て | 秋三五才7 |
| つげ給てんやとて | 秋二七才3 | をち給 | 秋三〇才6 | ぬれまさり給ふ(終止法) | 秋三五才10 |
| なき給も | 秋二七才3 | まいり給にち | 秋三〇才9 | 覚給(終止法) | 秋三五才5 |
| し給に | 秋二七才8 | おぼえ給 | 秋三〇才11 | おぼえ給へば | 秋三五才9 |
| とゞまらせ給へとて | 秋二七才10 | まいり給へれば | 秋三一才1 | とまり給ぬ | 秋三五才9 |
| いで給 | 秋二七才2 | うちさはぎ給 | 秋三一才6 | しられ給はざるらんと | 秋三六才1 |
| わびしめまいらせ給らんと | 秋二七才5 | つゝませ給へども | 秋三一才9 | うちふし給ても | 秋三六才8 |
| うちながめ給て | 秋二七才10 | きこゑ給へり | 秋三一才11 | し給なるらん | 秋三六才10 |
| み給ゑり | 秋二八才2 | なぐさめきこゑさせ給 | 秋三一才5 | しらせ給へと | 秋三六才9 |
| かへり給て | 秋二八才7 | まうのぼり給し | 秋三一才7 | み給えるに | 秋三六才9 |
| み給へば | 秋二八才8 | 申給ふ(連体法) | 秋三二才1 | おぼえ給(終止法) | 秋三七才6 |

| | | | | | |
|--------------|--------|---------------|--------|---------------|--------|
| をきぬ給て | 秋三七才7 | し給にも | 秋四一才1 | みをくりたまふに | 秋四五才7 |
| いで給て | 秋三七才8 | みせさせ給たりし | 秋四一才2 | み給ふ(終止法) | 秋四五才8 |
| まいりありき給(終止法) | 秋三七才2 | もてなし給へど | 秋四一才8 | まいりたまひて | 秋四五才9 |
| あひ給ても | 秋三七才2 | しらせ給はねば | 秋四一才10 | ねられたまはねば | 秋四五才3 |
| しらせ給たらんと | 秋三七才9 | きゝ給はずや | 秋四一才11 | よみすましたまへる | 秋四五才7 |
| をしはからせ給はんも | 秋三七才9 | ぐし給えるを | 秋四一才1 | うちかみたまふ(連体法) | 秋四五才10 |
| なげかせ給へば | 秋三七才11 | うちなみだぐみ給へり | 秋四一才5 | みたまへば | 秋四六才2 |
| ながめ給て | 秋三八才3 | にげかくれ給も | 秋四一才1 | みたまへば | 秋四六才10 |
| まさり給えるを | 秋三八才8 | うちとけ申給て | 秋四一才3 | しらせ給つらん | 秋四六才5 |
| まいり給ぬ | 秋三八才1 | くらし給(終止法) | 秋四一才3 | しらせ給はざんなるに | 秋四六才9 |
| やせうつろひ給える | 秋三八才3 | にくまれ給べきなど | 秋四一才5 | かへりわたらせ給(連体法) | 秋四七才6 |
| かくれ給はゞこそ | 秋三八才6 | きき給へり | 秋四一才8 | おぼえさせ給へば | 秋四七才8 |
| きかせ給(終止法) | 秋三八才7 | いらせ給へ | 秋四一才10 | たちかくれ給ぬ | 秋四七才8 |
| まいり給て | 秋三八才8 | 申給て | 秋四一才10 | せられたまはねば | 秋四七才2 |
| うちならし給へば | 秋三八才9 | 申給へば | 秋四一才11 | いでたまひて | 秋四七才3 |
| おぼえさせ給へば | 秋三八才11 | いらせ給ても | 秋四一才2 | み給にも | 秋四七才4 |
| 見きこゑ給に | 秋三九才1 | かくれ給らんと | 秋四一才4 | おぼえ給はず | 秋四七才11 |
| まいり給へるに | 秋三九才10 | おぼえさせ給ける | 秋四一才1 | しり給はぬ | 秋四八才1 |
| まいり給へば | 秋三九才3 | み給へば | 秋四一才4 | 覚給(終止法) | 秋四八才2 |
| とい給へば | 秋三九才4 | わたらせ給ぬれば | 秋四一才5 | おぼえ給はで | 秋四八才3 |
| わたらせ給ぬれと | 秋三九才5 | うかゞひ給に | 秋四一才7 | いられ給はねば | 秋四八才4 |
| わたらせ給て | 秋三九才8 | まいり給へと | 秋四一才11 | せられ給しか | 秋四八才8 |
| し給はぬかと | 秋四〇才1 | み給へば | 秋四一才4 | すごし給へば | 秋四八才3 |
| わたらせ給て | 秋四〇才4 | つゝみ給な | 秋四一才8 | おぼえ給はず | 秋四八才4 |
| 時めき給はゞ | 秋四〇才10 | ひきはなちたまふ(連体法) | 秋四一才11 | もち給へれど | 秋四八才9 |
| うれへさせ給て | 秋四〇才3 | すこさせたまはぬ | 秋四一才3 | わたり給はざりしかば | 秋四八才10 |

| | | | | | |
|--------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|
| ぬ給(連体法) | 秋四八ウ10 | をとり給はぬ | 秋五三才5 | おぼえ給(終止法) | 秋五八才5 |
| しらせ給にけり | 秋四九才4 | せさせ給へとて | 秋五三ウ4 | ふし給ぬる | 秋五八才10 |
| なき給ふ(終止法) | 秋四九ウ5 | をち給を | 秋五三ウ5 | しらせ給たりつるかど | 秋五九才3 |
| なき給(終止法) | 秋四九ウ9 | 成給を | 秋五三ウ7 | とはせ給へば | 秋五九才4 |
| まさり給へども | 秋四九ウ11 | うちなき給(終止法) | 秋五三ウ10 | なかせ給て | 秋五九才8 |
| なぐさめさせ給(終止法) | 秋五〇ウ5 | みいれ給はねば | 秋五三ウ11 | うちなかせ給て | 秋五九才10 |
| し給へば | 秋五〇ウ8 | 成給けれ | 秋五四才1 | わたらせ給しより | 秋五九ウ11 |
| おぼえ給へば | 秋五〇ウ9 | なき給も | 秋五四才3 | わたらせ給たりし | 秋六〇才8 |
| いはれ給はんずらめ | 秋五一才6 | きこゑ給へば | 秋五四才4 | おぼしめしやらせ給へ | 秋六〇才10 |
| し給はんと | 秋五一ウ1 | み給へば | 秋五四才9 | なきわびさせ給しかども | 秋六〇才11 |
| おぼへ給へば | 秋五一ウ2 | わらひ給(連体法) | 秋五四才10 | わたらせ給てしより | 秋六〇ウ3 |
| まいり給へれば | 秋五一ウ3 | に給へりとこそ | 秋五四ウ4 | はなたせ給はず | 秋六〇ウ4 |
| にくみ給らむと | 秋五一ウ3 | ぬ給へり | 秋五四ウ8 | せさせ給て | 秋六〇ウ5 |
| うちくねり給へるに | 秋五一ウ4 | し給つらんと | 秋五四ウ9 | ゆるさせ給はずと | 秋六〇ウ6 |
| 申給へば | 秋五一ウ6 | をかせ給へ | 秋五五才1 | まち給へる | 秋六〇ウ8 |
| あたり給こそ | 秋五一ウ8 | わたらせ給て | 秋五五才7 | まいり給べかりける物を | 秋六一才2 |
| なき給へば | 秋五一ウ9 | いだきたまふとて | 秋五五ウ3 | そい給まじと | 秋六一才5 |
| きこゑ給へば | 秋五二ウ2 | たづねきこゑ給へば | 秋五六才1 | かき給(終止法) | 秋六一ウ1 |
| うちそばみ給へり | 秋五二ウ3 | はなち給な | 秋五六才2 | しり給(連体法) | 秋六一才9 |
| なり給ぬるぞかし | 秋五二ウ6 | まいり給へば | 秋五六才6 | かきつけ給(連体法) | 秋六一才11 |
| 覚給へば | 秋五二ウ8 | めされ給はねば | 秋五六才8 | みとり給てしかば | 秋六一ウ1 |
| いで給ぬるを | 秋五二ウ10 | おぼえ給へば | 秋五六ウ1 | よび給て | 秋六一ウ2 |
| おぼえ給(終止法) | 秋五二ウ11 | いで給を | 秋五六ウ3 | うちながめ給て | 秋六一ウ3 |
| まいり給へば | 秋五三才1 | ききつけ給てけるにやと | 秋五七才5 | うちよませたまひて | 秋六一ウ5 |
| をいゝで給(連体法) | 秋五三才3 | たちより給へ | 秋五七ウ10 | うちながめ給て | 秋六一ウ8 |
| みせきこゑ給へかし | 秋五三才4 | かゝせ給へり | 秋五七ウ11 | くちすさみ給を | 秋六三才5 |

| | | | | | |
|------------|---------|--------------|---------|---------------|---------|
| 申させ給(連体法) | 秋六三才 11 | かへらせ給し | 書二四ウ 5 | うせ給にしなりけり | 書二九ウ 2 |
| きよはて給ぬれば | 秋六三ウ 9 | うみいで給たりければ | 書二五才 1 | みきこえさせ給(終止法) | 書三〇才 5 |
| おめき給(連体法) | 秋六四才 3 | しいで給えるにかと | 書二五才 10 | むかへまいらせ給て | 書三〇才 6 |
| きよ給て | 秋六四才 10 | やせ給えるしも | 書二五ウ 2 | みたてまつらせ給(終止法) | 書三〇才 7 |
| たえ入給ぬれば | 秋六四ウ 4 | したてまつり給しか | 書二五ウ 8 | まかせきこえ給へれば | 書三〇才 11 |
| とはせ給に | 秋六四ウ 8 | くだり給ぬ | 書二六才 1 | なりたまえるも | 書三〇ウ 4 |
| きよかへり給も | 書二〇ウ 11 | をいよで給はゞ | 書二六才 4 | なくなり給ぬ | 書三〇ウ 8 |
| うせ給にけるにやと | 書二一才 7 | うみまいらせ給へる | 書二六才 11 | み給に | 書三一ウ 8 |
| きよ給 | 書二一才 8 | みたてまつり給にも | 書二六ウ 5 | うせさせ給にしかと | 書三一才 5 |
| きよかせ給て | 書二一才 9 | せられたまはざりけり | 書二六ウ 7 | おぼえ給(終止法) | 書三一ウ 1 |
| おもひやらせ給て | 書二一ウ 2 | うせ給し | 書二七才 2 | かき給けるまよにと | 書三一ウ 7 |
| わたらせ給へれば | 書二一ウ 2 | せさせ給へ | 書二七才 6 | ひきあげ給えれば | 書三一ウ 9 |
| ふし給へり | 書二一ウ 3 | きこえかはし給て | 書二七才 8 | し給ける | 書三一ウ 10 |
| きよ給へりや | 書二一ウ 3 | むかへたてまつり給て | 書二七才 10 | み給へば | 書三一ウ 11 |
| みたまへなど | 書二一才 1 | もてかしづき給(終止法) | 書二七才 11 | かき給へる | 書三三才 4 |
| きよ給はねば | 書二二才 2 | なり給ぬ | 書二七ウ 2 | みたまふ(連体法) | 書三三才 6 |
| せきあえ給はねば | 書二二才 5 | おぼえ給(終止法) | 書二七ウ 5 | にくみ給しばかりこそ | 書三三ウ 1 |
| なぐさめさせ給めたり | 書二二ウ 2 | ならせ給たれば | 書二七ウ 9 | いひあはせ給て | 書三三ウ 3 |
| わたらせ給はぬ | 書二二ウ 6 | つかせ給て | 書二八才 1 | なき給(連体法) | 書三三ウ 4 |
| みたまふに | 書三三才 1 | つかせたまふべきと | 書二八才 2 | かき給える | 書三三ウ 5 |
| おぼえ給(終止法) | 書三三才 10 | ゆづり給て | 書二八才 7 | かきとゞめ給ふ(終止法) | 書三三ウ 6 |
| おぼえ給はねば | 書三三ウ 3 | まつり給はず | 書二八才 9 | かきけがし給(終止法) | 書三四才 1 |
| うせ給にしかば | 書三四才 2 | 思しりまいらせ給へば | 書二八ウ 4 | なし給へ | 書三四才 4 |
| かへ給にけり | 書三四才 5 | たがへまいらせ給はず | 書二八ウ 6 | とりあづけ給(終止法) | 書三四才 6 |
| なりたまひぬと | 書三四才 6 | なり給ぬ | 書二八ウ 7 | みたまひつべき | 書三四才 7 |
| ずきやうせさせ給も | 書三四才 11 | つかせ給ぬ | 書二九ウ 1 | ながめ給し | 書三四ウ 1 |

| | | | | | |
|-----------------|---------|-----------------------|---------|-------|----------|
| よみ給し | 書三四ウ 2 | たゝせ給にしかば | 書三八ウ 10 | たれ(誰) | |
| とまらせ給はで | 書三四ウ 7 | まいり給にき | 書三九才 1 | たれ | 秋一才 1 |
| 返らせ給(連体法) | 書三四ウ 8 | かけ給えり | 書三九才 2 | たれにも | 秋二才 5 |
| わたらせ給へと | 書三四ウ 10 | すぐさせ給ける | 書三九才 5 | たれも | 秋三才 1 |
| まいらせ給たるだに | 書三五才 10 | いで給し | 書三九才 7 | たれにも | 秋六ウ 9 |
| みきゝ給(連体法) | 書三五ウ 1 | ずきやうし給て | 書三九才 9 | たれか | 秋一ウ 4 |
| おぼえさせ給ける | 書三五ウ 6 | よろこばせ給て | 書三九ウ 2 | たれも | 秋一四ウ 5 |
| つかはせ給し | 秋六五ウ 1 | うけ給はり給(終止法) | 書三九ウ 3 | たれにかは | 秋一七ウ 8 |
| 「ほ」めたてまつり給(終止法) | 秋六六才 1 | なり給にけり | 書三九ウ 4 | たれも | 秋二〇才 10 |
| 申させ給えは | 秋六六才 2 | うみ給てければ | 書三九ウ 8 | たれかは | 秋二九才 1 |
| わたしたてまつり給へり | 秋六六才 5 | つくらせ給(連体法) | 書四〇才 6 | たれかは | 秋三一才 7 |
| をいまし給へる | 秋六六才 6 | し給けるとぞ | 書四〇ウ 8 | たれも | 秋三九ウ 3 |
| に給へるこそ | 秋六六才 9 | ため(為) | | たれとは | 秋三九ウ 7 |
| 候給(終止法) | 秋六六才 11 | ためにも | 秋四〇才 11 | たれも | 秋五三才 10* |
| かきをき給へりし | 秋六六ウ 5 | ためし(例) | | たれも | 秋五四才 2 |
| おもひ給はん | 秋六六ウ 6 | ためしに | 書二九ウ 9 | たれも | 秋五五ウ 11 |
| うちわらい給へる | 秋六六ウ 6 | ためしにて | 書四〇ウ 4 | たれにも | 秋六〇才 4 |
| あいぎやうづき給へりし | 秋六六ウ 7 | たゆ(絶)↓うちたゆ・おもひたゆ・かきたゆ | | たれにかは | 書二一ウ 6 |
| し給ゑる | 秋六六ウ 8 | たへたるやうにて | 秋三一ウ 7 | たれとも | 書二四才 10 |
| まいり給て | 秋六六ウ 9 | たえなば | 秋三三ウ 11 | たれも | 書三九才 11 |
| みまいらせ給(連体法) | 秋六六ウ 10 | たへぬる | 秋六一ウ 6* | | |
| みへ給(終止法) | 秋六六ウ 11 | たゆげなり | | | |
| こひわび給へば | 書三八才 8 | たゆげに(連用法) | 秋六二ウ 4 | | |
| かへりわたり給に | 書三八才 9 | たゆげに(連用法) | 秋六三才 10 | | |
| うみ給たりける | 書三八ウ 4 | たる(足) | | | |
| ならせ給に | 書三八ウ 9 | たらぬ | 秋四三ウ 9 | | |

ち

ち(乳)↓おほむち
ぢ(路)↓やまぢ

ちうべう(中宮)

中宮と 書二九ウ 6

中宮 書三一オ 10

中宮も 書三一オ 11

中宮の 書三一ウ 1

中宮と 書三三ウ 3

中宮 書三五オ 8

中宮 書三八ウ 3

中宮 書三九オ 5

中宮などの 書四〇ウ 6

ちうじやう(中将) ↓ はりまのちうじやう

ちうなごん(中納言) ↓ わかみやのおほむめの

とのちうなごんのすけ

中納言とて 秋二八オ 11

ちうなごんのすけ(中納言介)

中納言の介が 秋五オ 2

中納言のすけ 秋七オ 2

中納言のすけの 秋七ウ 10

中納言のすけの 秋一〇オ 10

中納言のすけの 秋一六ウ 5

中納言の介の 秋二一オ 3

ちうなごんのすけどの(中納言介殿)

中納言のすけどの ↓

ちかし(近) 秋六〇ウ 2

ちかく(連用法) 秋六二ウ 1

ちかきを 書三二ウ 8

ちから(力) ↓ おほむちから

ちぎり(契) ↓ おほむちぎり

契にてこそ 秋六ウ 2

ちぎりには 秋二九オ 11

ちぎり 秋五〇オ 11

ちぎりとぞ 秋五〇ウ 3

ちぎりおほす(契仰)

ちぎり仰らるゝ 秋八ウ 9

ちぎりなぐさむ(契慰)

ちぎりなぐさむれど 秋二一オ 10

ちぎる(契) ↓ おもひちぎる

ちぎらせ給へども 秋五オ 3

契し 秋一四オ 8 *

ちぎりたてまつりし 秋六〇ウ 7

ちぎりし 書三三ウ 10 *

ちち(父) 秋三三オ 5

ちの 秋三三オ 5

ちと 秋一九ウ 6

ちとも 秋一九ウ 6

ちとせ(千歳)

ちとせのとは 秋五三オ 10 *

ちとせもと 書三三オ 3

ちやう(丁) ↓ みちやう

ちやうらくじ(長楽寺)

ちやうらくじへぞ 秋一二オ 10

ちやうらくじの 秋一七ウ 10

ちやうらくじへぞ 秋二二ウ 6

ちやうらくじへなめりとて 秋三〇オ 1

ちやうらくじに 秋三四オ 6

ちやうらくじへ 秋四四ウ 6

ちやうらくじへ 秋四九オ 7

ちやうらくじに 秋五六ウ 2

ちやうらくじへ 秋五七ウ 6

ちやうらくじへ 秋六四ウ 8

ちやくじへ 書三三オ 7

ちやくじへ 書三一オ 10

ちやくじには 書三一ウ 2

ちやくじには 書三五ウ 4

ちやうらくじどの(長楽寺殿)

ちやうらくじ殿へ 秋二〇オ 4

ちやうらくじのうへ(長楽寺上)

ちやうらくじのうへの 秋五二オ 4

ちり(塵)

ちりを 秋三六オ 6 *

ちる(散) ↓ うちちる・ゆきちる

ちん(陣)

ちんより 秋六三ウ 5

ちんより 秋六三ウ 5

つつましげなり つる

| | | | | | |
|-----------------|--------|------------------|--------|----------------|--------|
| つつましげにも | 秋四七才9 | つひに(遂) | | つばねがちに(連用法) | 秋二九ウ2 |
| つつむ(慎) | | ついに | 秋一三ウ5 | つばねす(局) | 秋一ウ5 |
| つゝませ給へども | 秋三一才9 | ついに | 秋二〇才11 | つばねしたる | |
| つゝみてぞ | 秋三二ウ8 | ついに | 秋二四ウ8 | つま(端) | 秋二九ウ10 |
| つゝみ給な | 秋四四ウ8 | ついに | 秋二七才1 | つまに | |
| つゝまで | 書二二才3 | ついに | 秋二九才11 | つま(妻) ↓しのびづま | |
| つゝむべきならねば | 書二二才11 | ついに | 秋三四才3 | つまど(妻戸) | |
| つゝみて | 書二二ウ1 | ついに | 秋六一才8 | つまども | 秋一二ウ6 |
| づて(伝) ↓ひとつづて | | ついに | 書二一才6 | つもり(積) | |
| つと | 秋一才1 | つぼ(壺) ↓ふぢつぼ・むめつぼ | | つもりにや | 秋五〇ウ7 |
| つと | 秋三三才2 | つぼね(局) ↓おほむつぼね | 秋五才2 | つもる(積) | |
| つなぐ(繫) | | つぼねに | 秋六ウ7 | つもりにけり | 秋五ウ5 |
| つながざる | 秋四五ウ9 | つぼね | 秋七才8 | つゆ | |
| つね(常) | | つぼねへ | 秋七ウ10 | つゆも | 秋四八ウ2 |
| つねよりも | 秋五二才2 | つぼねなれば | 秋八ウ5 | つゆも | 秋五三ウ11 |
| つねよりも | 秋五五ウ10 | つぼねへ | 秋一〇才11 | つゆも | 秋五六才8 |
| つねなり(常) | | つぼねに | 秋一一才10 | つよし(強) ↓こころづよし | |
| つねに(連用法) | 秋四ウ2 | つぼねよりも | 秋一六ウ5 | つらさ(辛) | 秋一六才9* |
| つねに(連用法) | 秋二九ウ5 | つぼねへかと | 秋二一才3 | つらさのと | 秋五九才10 |
| つねに(連用法) | 秋三七ウ1 | つぼねの | 秋二八才9 | つらし(辛) | |
| つねには | 秋四〇ウ1 | つぼねに | 秋四三ウ6 | つらしとも | 秋二〇ウ7* |
| つねに(連用法) | 書三〇才4 | つぼねに | 秋五六ウ9 | つらかりしとも | 秋二一ウ7 |
| つねに(連用法) | 書三〇才5 | つぼねに | 秋五七ウ3 | つらかりし | 秋五〇才3 |
| つねに(連用法) | 秋六六才10 | つぼねへ | 秋六〇ウ2 | つらき(連体法) | 秋五〇ウ11 |
| つはり(悪阻) ↓おほむつはり | | つばねがちなり(局勝) | | つる(弦) ↓おほむつるうち | |

つれづれげなり(徒然)
 つれ げなりなど 秋六三才7
 つれづれなり(徒然)
 つれ ならん 秋二才7
 つれ に(連用法) 秋一六才5
 つれ なるに 秋三五才11
 つれ に(連用法) 書三八才8
 つれなげなり
 つれなげに(連用法) 秋三ウ7

て

て(手)
 ての 書三三才4
 て(出)⇓じで
 て(祭)⇓にでうひがしのとうるん
 てづから(手)⇓おほむてづから
 てて(父)
 てへの 秋六六ウ7
 てならひ(手習)⇓おほむてならひ
 てならひなど 書三二ウ9
 てならひども(手習共)
 てならひどもを 秋二三才6
 てらす(照)
 てらす(連体法) 秋三七才2*

と

でん(殿)⇓しよきやうでん
 てんじやう(殿上)
 殿上の 秋九ウ8
 殿上に 秋三九才10
 殿上の 秋三九ウ1
 てんじやうびとたち(殿上人達)
 殿上人たちにやと 秋四四才3
 と(外)
 とにて 秋三八ウ9
 とうぐ(東宮)
 とうぐは 秋九ウ10
 とうぐなどに 秋三〇ウ9
 とうぐなどに 秋三七才9
 とうぐの 秋四〇ウ3
 とうぐの 秋四一才5
 とうぐ(東宮)
 とうぐ 秋一才10
 とうぐは 秋九才6
 春宮の 秋一〇才4
 春宮は 秋一一才4
 とうぐの 秋一四才1
 春宮へ 秋一四才5
 とうぐの 秋一六ウ4
 春宮の 秋一七才9
 とうぐの 秋一九ウ11
 春宮 秋二七才5
 とうぐの 秋三一才1
 春宮の 秋三九才1
 とうぐの 秋四五才8
 とう宮の 秋四六ウ8
 とう宮にも 秋四七ウ11
 春宮も 書二一才1
 春宮の 書二五才7
 春宮は 書二五ウ5
 春宮は 書二六才5
 春宮に 書二七才4
 春宮に 書二七ウ11
 春宮にはと 書二八才5
 春宮には 書二九才6
 春宮の 書二九ウ7
 春宮の 書二九ウ10
 春宮をも 書三〇才4
 春宮 書三〇才6
 とうぐにも 秋六六才8
 春宮の 秋六六ウ1
 春宮と 書三八ウ5
 春宮の 書三八ウ8
 春宮に 書三八ウ10

| | | | | | |
|-------------------------|--------|-------------------------|--------|------------------------|--------|
| とし月 | 書三八ウ3 | 殿は | 秋六三ウ10 | とい給へば | 秋三九ウ4 |
| とてもかくても | 秋三六ウ7 | とのなどは | 書三三ウ2 | とはせ給へば | 秋五九ウ4 |
| とてもかくても | 秋五二オ6 | 殿は | 書三一オ4 | とはせ給に | 秋六四ウ8 |
| とてもかくても | | とのゝ | 書三三ウ1 | とぶらふ(訪・甲) | |
| とどまる(留) | | とのゝ | 書三四オ2 | とぶらひに | 秋三ウ1 |
| とまり給へ | 秋三三オ7 | とのも | 秋六六オ3 | とぶらはんとこそ | 秋六五オ4 |
| とまらせ給へとて | 秋二七オ10 | とのよりも | 書三八オ7 | とほる(徹) ↓ さえとほる | |
| とどむ(留) ↓ かきとどむ | | とのゝ | 書三八オ10 | とまる(泊) | |
| とどめかぬ(留兼) | | どの(殿) ↓ うだいじんの・くわんばくじの・ | | とまりても | 秋二七ウ2 |
| とめかぬまいらせて | 秋二七ウ5 | じじゆつどの・だいしやつどの・だいしやう | | とまり給ぬ | 秋三五ウ9 |
| とにかくに | | どののうゝ・だいじやうだいじんの・だ | | とまる(連体法) | 秋五〇ウ8 |
| とにかくに | 秋七ウ5 | いじんの・ちうなごんのすけどの・ちや | | とまらざりけん | 書三三オ9* |
| とにかくに | | うらくじどの・ないだいじんの・にでう | | とまらせ給はで | 書三四ウ6 |
| との(殿) ↓ おほとのごもる・おほむとのごも | | どの・にみづこの・みぎのおほいどの | | とみに(頓) | |
| る・こべんとの | | とのばら(殿) | | とみに | 秋一九オ1 |
| とのゝ | 秋二三ウ1 | とのばらの | 書三五オ9 | とみにも | 秋二〇ウ5 |
| とのゝ | 秋二四オ9 | とのゝ(御宿直) ↓ おほむとのゝ | | とみにも | 秋二八ウ2 |
| とのゝ | 秋二八オ7 | とふ(問) | | とみにも | 秋四六ウ4 |
| 殿などにぞ | 秋三〇オ4 | とはせ給へば | 秋一オ2 | とむ(止・泊) | |
| とのゝ | 秋四七ウ3 | ゝ(と)はせ給に | 秋一〇オ6 | とめて | 書三四ウ4 |
| 殿は | 秋四八ウ9 | ゝ(と)はせ給へば | 秋一〇オ10 | とめまいらせしかど | 書三四ウ6 |
| とのゝ | 秋五六オ1 | とつべきと | 秋一一ウ4 | とも(共) ↓ もろとも | |
| とのゝ | 秋五六オ5 | ゝ(と)はすれば | 秋一一ウ8 | ともに | 書三三ウ8* |
| とのゝ | 秋五八ウ5 | とつに | 秋一六オ9* | とも(供) ↓ おほむとも | |
| とのゝ | 秋六二ウ9 | ゝ(と)はせ給へば | 秋二八オ10 | ども(共) ↓ おいびども・おほむありさまど | |
| とのゝ | 秋六三ウ9 | とつに | 秋三三ウ2 | も・おほむいのりども・おほむこども・お | |

| | | | | | |
|----------------|---------|--------------------|--------|-------------------------|--------|
| 中 | 書三一才3 | なきかかる(泣懸) | 秋三三才9 | なかるれば | 書二二才9 |
| 中 なかなかなり | | なきかゝれば | | なく(連体法) | 書二二ウ9 |
| 中 に(連用法) | 秋三八才4* | なきしづむ(泣沈) | 秋二一才9 | なかぬ | 書三三ウ11 |
| なかのとをかごろ(中十日頃) | | なきしづみたる | 秋二六才3 | なき給 | 書三三ウ4 |
| 中の十日ごろなれば | 秋五八ウ7 | なきしづみたる | | なくめり | 書三四ウ9 |
| ながむ(眺) ↓うちながむ | | なきひと(亡人) | | なく(鳴) | |
| ながめ給て | 秋三八才2 | なき人の | 書三二才8* | なきたるも | 秋三五才5 |
| ながめ給し | 書三四ウ1 | なき人の | 書三三才10 | なく(投) | |
| ながめいる(眺入) | | なきふす(泣臥) | | なげ給にても | 秋三〇才10 |
| ながめ入給て | 秋一六ウ8 | なきふし給えり | 秋三三ウ9 | なくさむ(慰)《四段》 | |
| ながめある(眺居) | | なきふしたり | 秋六三ウ8 | なくさませて | 秋二六才8 |
| ながめある(眺居) | 秋一五ウ4 | なきわぶ(泣侘) | | なくさむ(慰)《下二段》 ↓いひなくさむ・ちぎ | |
| ながやまふ(長病) | | なきわびさせ給しかども | 秋六〇才11 | りなくさむ・まうしなくさむ・まうしなく | |
| ながやまうにはとかや | 秋一五ウ5 | なきをめぐ(泣喚) | | さめおこす | |
| なからひ(仲) | | なきをめぐて | 秋六四ウ3 | なくさめよ | 秋九才8 |
| なからひの | 書三〇才3 | なく(泣) ↓うちなきあふ・うちなく | | なくさめ給へども | 秋二四ウ8 |
| ながらふ(永) | | なきに | 秋三才10 | なくさめきこゑさせ給 | 秋三一ウ5 |
| ながらふる(連体法) | 秋六才5 | なき給に | 秋三才10 | なくさめさせ給 | 秋五〇ウ5 |
| ながらへて | 秋一六ウ11* | なき給も | 秋二七才3 | なくさめさせ給みたり | 書二二ウ2 |
| ながらふべしとも | 秋五一ウ11 | なく(「ぞ」の結び) | 秋三五才9* | なくさめ(慰) ↓うらみななくさめ | |
| ながらへて | 秋六四才2 | なくに | 秋四九才10 | なくさめかぬ(慰兼) | |
| ながる(流) | | なき給ふ | 秋四九ウ5 | なくさめかねたる | 秋二五才10 |
| ながれたるを | 秋一六ウ9 | なき給 | 秋四九ウ9 | なく | |
| なきあふ(泣合) | | なき給へば | 秋五一ウ9 | なく | 秋二七ウ6 |
| なきあひたる | 書三二ウ3 | なき給も | 秋五四才2 | なく | 書三三ウ4 |
| なきあひたり | 書三二ウ6 | なかせ給て | 秋五九才7 | なく | 書二四ウ5 |

なく 書三四才10

なくなる(亡)

なく成なばと

秋五一才8

なくなりなば

秋五一才10

なくなり給ぬ

書三〇ウ8

なげかし(嘆)

なげかし(連用法)

秋三八才10

なげかしげなり(嘆)

なげかしげなる(連体法)

秋五六才6

なげく(嘆) ↓うちなげく・おぼしなげく・おぼしめしなげく・おもひなげく

なげかせ給

秋三三ウ5

なげく覽と

秋三七才3*

なげかせ給へば

秋三七ウ11

なげくらんと

秋四一才2*

なげかるめり

秋四一ウ3

なげきし

秋四二ウ6

なげき侍て

秋五三ウ7

なげき(中止法)

秋五七才4

なごりをし(名残惜)

なごりをしく

秋四五才7

なさけなし(情無)

なさけなからんも

秋四才6

なさけなく(連用法)

秋四才10

なし(無) ↓あぢきなし・うたがひなし・うら

みなし・えんなし・おもひなし・かぎりな

し・かくれなし・かひなし・こころなし・し

づこころなし・せんかたなし・たくひなし・

たとへなし・なさけなし・のこりなし・ほ

どなく・やむごとなし・やるかたなし・よ

しなし・わりなし

なく(中止法)

秋三ウ3

なくとも

秋三ウ10

なかりつるにと

秋四ウ3

なく(連用法)

秋六才3

なき(連体法)

秋六ウ10

なかりつるを

秋七才6

なし

秋七ウ7

なくて

秋八才11

なき(連体法)

秋九才1

なきか

秋一二ウ6

なかりし物をなど

秋一三ウ6

なく(連用法)

秋一五ウ5

なし

秋一五ウ9

なければ

秋一九才7

なく(中止法)

秋二〇才8

なく(中止法)

秋二一才11

なくとも

秋二一ウ3

なくのみ

秋二二才7

なければ

秋三三ウ4

なかりし物を

秋二六ウ8

なくて

秋二九才7

なければ

秋三〇才3

なくや

秋三〇才11

なくてやと

秋三〇ウ2

なかりし

秋三二才4

なかりつる

秋三三ウ3

なき(連体法)

秋三五才5*

なき(連体法)

秋三六才7*

なしとも

秋三八才4*

なの

秋三八才6

なかりしなど

秋四〇ウ11

なき(連体法)

秋四四才2

なき(連体法)

秋四五ウ1

なし

秋四五ウ8

なく(中止法)

秋四七ウ9

なく(中止法)

秋四七ウ10

なくはなど

秋四八ウ7

なかりしを

秋四八ウ11

なき(連体法)

秋五〇才4

なく(中止法)

秋五〇才8

なし

秋五〇ウ9

なければ

秋五一才2

なき(「ぞ」の結び)

秋五一才3*

なければ

秋五一才4*

なく(中止法)

秋五二ウ4

なく(連用法)

秋五二ウ6

| | | | | |
|-------------------------------|---------|-------------|--------|---------|
| なからん | 秋五三ウ 9 | なだいめん(名対面) | など | 秋二八ウ 3 |
| なか覧 | 秋五五才 1 | なだいめんの | など | 秋三二才 4 |
| なからん | 秋五五才 11 | なだらかさ | など | 秋五一ウ 3 |
| なき(連体法) | 秋五七ウ 5 | なだらかさ | など | 秋五三ウ 5 |
| なくて | 秋六四才 4 | なつかし(懐) | など | 秋五四才 2 |
| なかりけり | 書二四才 1 | なつかしきものから | など | 書二七ウ 2 |
| なくて | 書二四才 10 | なつかしかりし | など | 書三二才 9* |
| なかりける | 書二四ウ 7 | なつかしく(連用法) | なか(何) | 秋一才 5 |
| なく(連用法) | 書二四ウ 8 | なつかしく(連用法) | なか | 秋一九ウ 2 |
| なく(中止法) | 書二六ウ 4 | なつかしく(中止法) | なか | 書二六才 5 |
| なくてやと | 書二七ウ 6 | なつかしく(中止法) | なか | |
| なし | 書一九才 4 | なつかしく(連用法) | ななつ(七) | |
| なかりけり | 書三〇才 2 | なつかしき(連体法) | なつに | 書三八ウ 8 |
| なく(連体法) | 書三〇才 11 | なつかしき(連体法) | なに(何) | |
| なき(連体法) | 書三一才 1 | なつかしく(連用法) | なに | 秋一七ウ 1 |
| なきに | 書三一ウ 6 | なつかしげなり(懐) | なにとてか | 秋一九ウ 5 |
| なし | 書三五才 10 | なつかしげに(連用法) | 何 | 秋二一ウ 8 |
| なく(連用法) | 書三九才 8 | なつかしき(懐) | なにとて | 秋二七ウ 9* |
| なかりけり | 書四〇才 1 | なつかしき | なにと | 秋三二才 10 |
| なしとぞ | 書四〇才 3 | なでしこ(撫子) | なに | 秋三七才 3* |
| なし(成) ↓ もてなし | | なでしこの | 何の | 秋三七ウ 5 |
| なす(為) ↓ いひなす・おぼしなす・おもひなす・もてなし | | なでん(南殿) | なに | 秋四一才 2 |
| なしつるは | 書二二才 6 | なでんの | なにとも | 秋四九ウ 8 |
| なしつるぞかし | 書三〇ウ 7 | など(何) | なにとてか | 秋五一ウ 4 |
| なし給へ | 書三四才 4 | など | なにと | 秋五二ウ 3 |
| | | | なにと | 秋五三ウ 8 |

| | | | | | | | |
|------------|-------|----------|-------------------|---------|----------|--|---------|
| なほ | なる | | | | | | |
| なまめかし(艶) | なを | 秋六六ウ 2 | なみだがちなり(涙勝) | | | | 秋四才 8 |
| なまめかし(連用法) | なを | 秋六六ウ 10 | なみだがちなるも | | | | 秋六才 2 |
| なみだ(涙) | なみだ | 秋二七ウ 3 | なみだがまし(涙) | | | | 秋六ウ 11 |
| なみだも | なみだ | 秋二七ウ 4 | なみだぐむ(涙) ↓うちなみだぐむ | 秋四二ウ 10 | 成なばやとのみ | | 秋九才 1 |
| なみだの | なみだ | 秋一四才 10 | なむあみだぶつ(南無阿弥陀仏) | | 成て | | 秋一〇ウ 6 |
| なみだの | なみだ | 秋一六才 2 | 南無阿弥陀仏と | 秋六三才 10 | 成ぬるぞかし | | 秋一三ウ 8 |
| なみだ | なみだ | 秋一六才 10 | なもあみだぶつ(南無阿弥陀仏) | | 成ぬるを | | 秋一九才 3 |
| なみだ | なみだ | 秋一七才 3 | なもあみだぶつ | 書三三才 3 | 成ぬ | | 秋二六才 10 |
| なみだ | なみだ | 秋一九ウ 4 | (なもあみだぶつ)と | 書三三才 4 | 成なば | | 秋二九才 2 |
| なみだ | なみだ | 秋一九ウ 4 | なやましげなり(惱) | | 成にけり | | 秋二九ウ 10 |
| なみだ | なみだ | 秋二一ウ 1 | なやましげにて | | 成給にけり | | 秋三二ウ 11 |
| なみだの | なみだ | 秋二三ウ 3 | ならず(鳴) ↓うちならず | 秋三三才 1 | 成にけるよとて | | 秋三三才 3 |
| 涙 | 涙を | 秋二七ウ 9 * | ならぶ(慣) | | なりなんと | | 秋三四才 1 |
| 涙を | 涙を | 秋二八才 2 | ならはぬ | 秋三ウ 8 | 成ぬ | | 秋三六ウ 7 |
| なみだぞ | なみだぞ | 秋三〇ウ 6 | ならはぬ | 秋五〇ウ 2 | 成なんと | | 秋四九才 9 |
| なみだ | なみだ | 秋三四ウ 1 | ならぶ(並) | | なり給ぬるぞかし | | 秋五二ウ 6 |
| なみだに | なみだ | 秋三七ウ 7 | ならび(中止法) | 書三五才 11 | 成給けれ | | 秋五三ウ 7 |
| なみだに | なみだ | 秋四五才 1 | ならびて | 書三九才 2 | 成給けれ | | 秋五四才 1 |
| なみだのみ | なみだのみ | 秋四五ウ 7 | なりまさる(成増) | | なり(中止法) | | 秋五五ウ 8 |
| 涙に | 涙に | 秋四七ウ 4 | 成まさりてをはするに | 秋二四才 2 | なるは | | 秋五五ウ 9 |
| 涙の | 涙の | 秋四九ウ 6 | なりまされば | 秋三一ウ 11 | 成侍なんずるこそ | | 秋六二才 3 |
| なみだこそ | なみだこそ | 秋五三ウ 4 | なりゆく(成行) | | なりたるなど | | 秋六一ウ 9 |
| なみだ | なみだ | 書二二才 4 | なりゆくぞ | 秋六三ウ 1 | なりぬと | | 秋六四才 8 |
| なみだ | なみだ | 書二四ウ 7 | なる(成) ↓こころならず | | 成ぬるにやと | | 秋六四ウ 7 |
| なみだぞ | なみだぞ | 書三五ウ 3 | 成てこそ | 秋二ウ 1 | なりたまひぬと | | 書二四才 6 |
| | | | | | なりぬ | | 書二五ウ 1 |

なる によごどの

にくげなり(憎)
にくげに(連用法)

に

秋五ウ7

にしの御かたも

秋五四ウ8

女御殿

書三〇ウ3

なり給ぬ
ならせ給たれば
なり給ぬ
なりにき
なりぬ
なりたまえるも
なりて
ならせ給に
なり給にけり
なりにけり
なる(馴)
なれつかうまつりしも
なるかみ(鳴神)
なるかみもこそ
なるほど(成程)
なるほど
なんでぶ(何)
なんでう
何条
なんでう

書二七ウ2
書二七ウ9
書一八ウ7
書一九ウ7
書一九ウ8
書三〇ウ3
書三一オ11
書三八ウ8
書三九ウ4
書三九ウ11
書三三ウ8
書二二オ6*

にくげに(連用法)
にくし(憎) ↓ けにくし・こころにくし
にくしと
にくなり(憎) ↓ あやにくなり
にくみせいす(憎制)
にくみせいし侍しを
にくむ(憎)
にくみ給し
にくまれ給べきなど
にくむ(連体法)
にくみ給らむと
にくみ給しばかりこそ
にげかくる(逃隠)
にげかくれ給も
にさむにち(二三日)
二三日ばかり
にさむにん(二三人)
二三人ばかり
にしのおほむかた(西御方)

秋五二オ5
秋二二オ1
秋四一ウ9
秋三四オ3
秋四二オ5
秋五一オ10
秋五一ウ3
書三三ウ1
秋四二オ1
秋六六オ10
秋二二ウ8
秋二四オ10
秋二八オ9
秋二八ウ1
秋二九オ2
秋二九オ8
秋三九オ5

にしの御かたに
にしの御方は
にしの御かたは
にしの御かた
にしの御かたも
にしの御かたも
にち(日) ↓ にさむにち
にでうどの(二条殿)
二条どのへ
二条殿
にでうひがしのとうゑん(二条東洞院)
二条東のとうゑんに
にはかなり(俄)
にはかに(連用法)
にはかに(連用法)
にはかに(連用法)
にほひ(匂)
にほひも
にほひ
にほふ(匂)

秋五六オ2
秋六一オ2
書二六ウ8
書二九オ4
秋六六ウ9
書三九ウ7
秋三五オ11
秋六二オ9
秋四八ウ8
秋六〇オ9
書二八オ6
秋四六オ10
秋五四ウ3
秋五五ウ5*

よ(に)ほへ
によご(女御) ↓ ははによご

書二五ウ11
書二六ウ2
書三八ウ11

によごどの(女御殿)

書三〇ウ3

| | | | | | |
|--------------|---------|--------------|----------|---------|---------|
| 女御殿 | 書四〇才 4 | よ(に)たるも | 秋五四ウ 1 | ぬれまさり給ふ | 秋三五才 10 |
| にようばう(女房) | | に給へりとこそ | 秋五四ウ 4 | | |
| 女房などにては | 秋一才 3 | に給へるこそ | 秋六六才 9 | | |
| 女房 | 秋一ウ 7 | にん(人) ↓にさむにん | | | |
| 女房など | 秋一四才 11 | | | | |
| 女房などや | 秋一八才 7 | | | | |
| 女房など | 秋三二才 11 | | | | |
| 女房の | 秋三六ウ 10 | | | | |
| 女房の | 秋四三才 7 | | | | |
| 女房の | 秋五六ウ 9 | | | | |
| にようばうたち(女房達) | | ぬ(寝) | 秋一ウ 8 | | |
| 女房たちにも | 秋五八ウ 3 | ねぬる | 秋三才 4 | | |
| によくわん(女官) | | ねたる | 秋三才 7 | | |
| 女くわん | 秋一八才 9 | ねられたまはねば | 秋五ウ 10 | | |
| によゐん(女院) | | ねたるを | 秋七ウ 7 | | |
| 女院と | 書一九ウ 11 | ねたる | 秋七ウ 8 | | |
| 女院 | 書三一才 9 | ね給はぬ | 秋二四ウ 10 | | |
| 女院も | 書三一才 11 | ね給えり | 秋二八才 8 | | |
| 女院は | 書三一ウ 5 | ねし | 秋三五ウ 8 * | | |
| 女院 | 書三五才 7 | ねられたまはねば | 秋四五ウ 3 | | |
| 女ゐんは | 秋六六才 11 | ねし | 書三二才 8 * | | |
| 女院 | 書三八ウ 5 | ぬし(主) | | | |
| 女院 | 書三九才 5 | ぬしに | 秋一六ウ 1 | | |
| 女院 | 書四〇ウ 6 | ぬし | 秋三五才 5 * | | |
| | | ぬしは | 秋三五才 9 * | | |
| | | ぬしも | 秋六二才 1 | | |
| にたるらんと | 秋三九才 4 | ぬれまさる(濡増) | | | |

ぬ

ね

の

| | | | |
|---------|---------|----------------|---------|
| ぬれまさり給ふ | 秋三五才 10 | ねこず(根掘) | 秋三五才 3 |
| | | ねこじて | |
| | | ねたし(妬) | 秋一二才 9 |
| | | ねたしと | 秋二九才 5 |
| | | ねたく(連用法) | 秋四三ウ 3 |
| | | ねたく(連用法) | |
| | | ねんず(念) ↓おぼしねんず | 秋六一ウ 1 |
| | | ねうじて | 書三三才 2 |
| | | ねうじて | |
| | | の(野) ↓とりべの | |
| | | のがる(逃) | 秋三ウ 3 |
| | | のがるべくもなく | |
| | | のごひかくす(拭隠) | 秋一六才 11 |
| | | のごひかくし給 | |
| | | のごふ(拭) ↓おしのごふ | |
| | | のこり(残) | 秋六七才 1 |
| | | のこりの | |

のこりなし(残無)

のこりなく(連用法)

のこりなくも

のこる(残)

のこりて

のす(乗)

のせて

のせて

のぞく(覗)

のぞかせ給に

のたまふ(宣)

の給へば

の給へば

の給へば

の給へば

の給へば

の給はで

の給に

の給つる

の給はで

の給

の給に

の給はんとてや

の給

の給はず

の給へば

秋六才 6

秋四五才 10

書三才 1

秋五六ウ 11

秋五八ウ 1

秋一ウ 4

秋二才 11

秋二才 8

秋二才 10

秋二ウ 7

秋一八才 9

秋一九才 1

秋二〇ウ 2

秋二〇ウ 10

秋二二ウ 3

秋二四才 6

秋二九才 5

秋三四才 4

秋三七ウ 6

秋三八才 2

秋三九ウ 6

の給へば

の給

の給て

の給へば

ゝ(の)給し

の給ぞ

の給て

の給へば

の給て

の給も

の給て

の給て

の給て

の給

のち(後)

のちにこそ

のちは

ゝ(の)ちは

のちの

後は

のちは

のちなど

のちの

ゝ(の)ちは

のどかなり(閑) ↓ こころのどかなり

のどかに(連用法)

秋四〇才 1

秋四八ウ 8

秋四九ウ 5

秋五二才 6

秋五二ウ 1

秋五三ウ 6

秋五五才 6

秋五五才 7

秋五六才 4

秋五六才 11

秋五六ウ 3

秋六一才 10

秋六三才 8

書三四才 10

秋六才 6

秋二九ウ 8

秋三九才 8

秋五三ウ 9

秋五五才 7

秋五七ウ 5

秋五七ウ 10

書二九才 10

書四〇ウ 3

秋一三才 1

のどかに(連用法)

のどかに(連用法)

のどかに(連用法)

のどかに(連用法)

ののしる(罵) ↓ いひのしる・めでのしる

のゝしり給へば

のぼり(上) ↓ まづのぼり

のぼる(上) ↓ まづのぼる・まゐのぼる

のぼらせばやと

のぼりて

のぼりて

のる(乗) ↓ まどひのる

のろひ(呪)

のろいと

のろひこるす(呪殺)

のろいこるさせて

のろふ(呪)

のろはるゝなり

秋二三ウ 7

秋三五才 5

秋四六才 5

書三九ウ 1

秋二二ウ 9

秋二五ウ 8

秋五八才 1

書三五ウ 9

秋二一ウ 9

秋二一ウ 8

秋二二ウ 7

秋二一ウ 9

は

はえ(延) ↓ こころばえ

はかなし(果無)

はかなき(連体法)

はかなき(連体法)

秋一三才 5

秋五一才 1

| | | | | | |
|------------------|---------|------------------------|---------|-----------------------|---------|
| はかなく(連用法) | 秋六二才 2 | はぢがまし(連用法) | 秋五一ウ 7 | はてなりとも | 秋一九ウ 4 |
| はかなき(連体法) | 秋六二才 7 | はつ(果)↓あきはつ・かくれはつ・きえはつ・ | | はても | 秋四八ウ 7 |
| はかなく(連用法) | 秋六二ウ 9 | きはつ・しはつ・やみはつ | | はては | 書三〇ウ 7 |
| はかなくて | 書二四才 7 | はてぬれば | 秋三九ウ 7 | はな(鼻) | 秋二四ウ 9 |
| ばかり(許)↓かばかり・さばかり | | はてぬに | 秋四〇才 3 | はな | 秋四五ウ 10 |
| はかる(量)↓おしはかる | | はてぬらむと | 秋四三才 2 | はな | |
| はし(端) | | はてなば | 書三四ウ 10 | はな(花) | |
| はしを | 秋三五才 7 | はづかし(恥) | | はな | 秋三五才 4 |
| はしの | 秋四五ウ 3 | はづかし(中止法) | 秋四才 7 | 花の | 秋四六才 10 |
| はしたなげなり | | はづかし(中止法) | 秋五ウ 4 | 花と | 秋五五ウ 5* |
| はしたなげに(連用法) | 秋一六才 10 | はづかし | 秋五ウ 8 | 花の | 秋五八ウ 8 |
| はしたなし | | はづかし | 秋一七ウ 4 | はなつ(放)↓おほしはなつ・おもひはなつ・ | |
| はしたなく(連用法) | 秋四四才 4 | はづかし | 秋二九ウ 2 | きはなつ・ひきはなつ | |
| はしつかた(端方) | | はづかしと | 秋三六ウ 1 | はなたで | 秋七才 4 |
| はしつかたに | 秋一五ウ 3 | はづかし(連用法) | 秋四四才 10 | はなたで | 秋五四ウ 11 |
| はじむ(初)↓うちはじむ | | はづかし(連用法) | 秋四六ウ 7 | はなち給な | 秋五六才 2 |
| はじめたる | 書二五才 2 | はづかし(連用法) | 秋四九才 10 | はなたせ給はず | 秋六〇ウ 4 |
| はしりよる(走寄) | | はづかし(連用法) | 秋五四才 8 | はなばなし(華華) | |
| はしりよりて | 秋四四才 1 | はづかしげなり(恥)↓ものはづかしげなり | | はな | 書二八ウ 9 |
| はしる(走) | | はづかしげに(連用法) | 秋六才 10 | はなばなと(華華) | |
| はしらねど | 秋六一ウ 1 | はづかしげに(連用法) | 秋五二ウ 2 | はな | 秋五四ウ 3 |
| はしり(中止法) | 秋六三ウ 9 | はづかしげに(連用法) | 秋五四ウ 9 | はなる(離)↓おぼしはなる | |
| はせ(馳)↓こころばせ | | はづかしさ(恥) | | はなれては | 秋一六才 8 |
| はたらく(働) | | はづかしさ | 秋五〇才 2 | はなる(連体法) | 秋二〇ウ 8* |
| はたらかぬを | 書三一ウ 8 | はて(果)↓おほむはて | | はなれじと | 秋三五ウ 2 |
| はちがまし(恥) | | はてなりとも | 秋一九ウ 2 | はなれぬ | 秋六六ウ 8 |

| | | | | | |
|-------------------|---------|------------------------|---------|-------------------|---------|
| しり侍らん | 秋六才 4 | おぼえ侍と | 秋三三ウ 7 | かへり侍らん | 秋五六ウ 2 |
| あさましく侍也と | 秋六才 8 | 思ひ侍也と | 秋三七ウ 6 | わたりて侍也 | 秋五七ウ 7 |
| たがへたてまつり侍まじ | 秋六ウ 5 | まだしく侍にや | 秋四〇才 2 | くるしく侍らん | 秋五八才 7 |
| まいり侍なんと | 秋九才 4 | わたらせ給げに侍れなど(「こそ」の結び) 秋 | 秋四〇才 5 | みすて侍りなん事こそ | 秋六一才 6 |
| うれしく侍べき | 秋九才 9 | 四〇才 5 | 秋四一ウ 6 | うれしく侍と | 秋六一才 10 |
| かない侍まじ | 秋九才 10 | わたし侍しを | 秋四一ウ 7 | し侍覽 | 秋六一ウ 8 |
| まいりて侍れば | 秋一四ウ 8 | 思ひて侍しに | 秋四一ウ 9 | 成侍なんずこそ | 秋六一才 3 |
| み侍(連体法) | 秋一五ウ 2 | にくみせいし侍しを | 秋四一ウ 10 | よかりぬべく侍ば | 秋六二ウ 11 |
| おぼえ侍也と | 秋一五ウ 7 | 申侍らざりしかど | 秋四一ウ 10 | さきだちまいらせ侍ぬるこそ | 秋六三才 2 |
| みあつかひ侍てと | 秋一七ウ 1 | き侍けるにや | 秋四二才 1 | し侍れ(「こそ」の結び) | 秋六三才 3 |
| 申侍つれども | 秋一七ウ 4 | 思ひ侍らずなど | 秋四二才 2 | まうけてはべるを | 書二七才 5 |
| たづね侍らんとて | 秋一八才 7 | 思ひ侍れなど(「こそ」の結び) | 秋四二才 6 | ことにはべり | 書二七才 6 |
| 申侍べきと | 秋一八ウ 5 | 心なく侍と | 秋四二才 10 | ふり侍しかば | 書三四ウ 5 |
| 思ひ侍ば | 秋一九才 8 | 思ひ侍らず | 秋四四ウ 2 | はや(早) | 秋五ウ 6 |
| あやしく侍てなん | 秋一九才 10 | 申侍らむと | 秋四五才 4 | はや | |
| 申あはせまほしく侍 | 秋一九ウ 1 | おぼえ侍らず | 秋五二才 1 | はら(腹) ↓おほむはら・みやばら | |
| おぼえ侍らね | 秋二〇才 10 | まいり侍つるをとて | 秋五二才 2 | はらならざりければなめり | 秋三二才 5 |
| おぼえ侍れと(「こそ」の結び) | 秋二二才 9 | うらみて侍にや | 秋五三才 7 | はらながら | 秋五三才 5 |
| うせ侍たり | 秋二二ウ 10 | きこゑ侍らざんめり | 秋五三才 8 | ばら ↓とのばら | |
| うれしくこそ侍れ(「こそ」の結び) | 秋二三 | おぼえ侍らぬを | 秋五三才 9 | はらふ(払) ↓うちはらふ | |
| オー | | みへ侍れ(「こそ」の結び) | 秋五三才 10 | はりまのちうじやう(播磨中将) | |
| 思ひ侍つるに | 秋二四ウ 2 | 覚侍 | 秋五三ウ 3 | はりまの中将とぞ | 書四〇ウ 2 |
| 思ひ侍れなど(「こそ」の結び) | 秋二四ウ 8 | なげき侍て | 秋五三ウ 7 | はる(春) | |
| し侍らねば | 秋二六ウ 2 | せさせ侍を | 秋五三ウ 8 | 春の | 秋三五才 1 |
| おぼつかなく侍とて | 秋二六ウ 2 | うちすてられて侍こそ | 秋五五才 5 | 春 | 秋三五才 3* |
| 申侍らぬ | 秋二八ウ 4 | 心ぐるしく侍れと(「こそ」の結び) | 秋五五 | | |

ひ

はるの

春の

はるも

はるかなり(遙)

はる「か」に(連用法)

はるかに(連用法)

はるかに(連用法)

はるかに(連用法)

はるかに(連用法)

はるかに(連用法)

はるかに(連用法)

はむべり(侍)《本動詞》

いかにもはんべらめ

はむべり(侍)《補助動詞》

ことはりにはんべり

心やすくはんべり

秋四五ウ 11

秋四六オ 6

秋四六ウ 1*

秋六オ 1

秋三七オ 2*

秋四〇オ 2

秋四〇オ 4

秋四七オ 5

秋五四ウ 6

秋五五ウ 1

秋六オ 6

秋四二オ 2

秋四四オ 6

日に

ひ

日を

ひも

ひに

ひに

ひに

ひに

ひえのやま(比叡山)

ひえのやまへ

ひおこし(火起)

ひをこしなど

火をこしなど

ひかさる(引)

ひかされて

ひがし(東)↓にでうひがしのとうあん

ひかふ(控)

ひかへて

ひかる(光)↓かかやきひかる

ひきあく(引開)

ひきあけ給えれば

ひきあふ(引合)

ひきあへたるに

ひきおこす(引起)

ひきをこさせ給に

秋三一ウ 10

秋四〇オ 4

秋四二オ 3

秋四二オ 8

秋四八ウ 1

秋四九ウ 10

秋五三オ 2

秋五三ウ 6

秋六五ウ 6

書三五ウ 9

秋一三オ 2

秋二七オ 10

秋五九ウ 2

秋三三オ 5

書三三ウ 9

秋四四オ 1

秋四四オ 1

秋二六オ 1

ひきかく(引掛)

ひきかけて

ひきかけて

ひきかづく(引被)

ひきかづき給て

ひきかづきて

ひきかづきて

ひきかづきて

ひきかづきて

ひきかづきて

ひきかづきて

ひきかづきて

ひきかなぐる(引)

ひきかなぐりて

ひきかなぐれば

ひきかへ(引換)

ひきかへ

ひきぐす(引具)

ひきぐせられ

ひきぐしまいらせて

ひきたつ(引立)

ひきたて

ひきつくるふ(引繕)

ひきつくるいて

ひきつくるいて

秋四三ウ 6

秋五八ウ 11

秋八オ 11

秋八ウ 7

秋一六ウ 6

秋二一オ 8

秋五八オ 10

秋五九オ 7

書二〇ウ 10

書二一ウ 2

秋三三ウ 8

秋四四オ 4

書二九ウ 8

秋八ウ 6

秋一〇オ 11

秋八ウ 1

秋八ウ 2

秋一二オ 5

はる ひきはなつ

ひ(火)

火

ひ(日)↓ひとつ

ひに

ひに

ひに

秋三一オ 2

秋二四オ 11

秋一〇ウ 10

秋一ウ 4

ひきをこさせ給に

ひきおこす(引起)

ひきあへたるに

ひきあふ(引合)

ひきあけ給えれば

ひきあく(引開)

ひかる(光)↓かかやきひかる

ひかへて

ひかふ(控)

ひがし(東)↓にでうひがしのとうあん

ひかさる(引)

ひをこしなど

ひおこし(火起)

ひえのやまへ

ひえのやま(比叡山)

ひをこしなど

火をこしなど

ひかさる(引)

ひかされて

ひがし(東)↓にでうひがしのとうあん

ひかふ(控)

ひかへて

ひかる(光)↓かかやきひかる

ひきあく(引開)

ひきあけ給えれば

ひきあふ(引合)

ひきあへたるに

ひきおこす(引起)

ひきをこさせ給に

秋二六オ 1

秋四四オ 1

書三三ウ 9

ひきはなつ(引放)

ひきつくるいて

ひきつくるいて

ひきつくるふ(引繕)

ひきたて

ひきたつ(引立)

ひきぐしまいらせて

ひきぐせられ

ひきぐす(引具)

ひきかへ

ひきかなぐれば

ひきかなぐりて

ひきかなくる(引)

ひきかづきて

ひきかづきて

ひきかづきて

ひきかづきて

ひきかづきて

ひきかづきて

ひきかづき給て

ひきかづく(引被)

ひきかけて

ひきかけて

ひきかく(引掛)

| | | | | |
|------------------------|--------|----------------------|------------|--------|
| ひきはなちたまふ | 秋四四ウ11 | ひびと・ただびと・たのもしびと・てんじや | 人は | 秋二二ウ6 |
| ひきむすぶ(引結) | | うびとたち・なきひと・ふるひとども・よ | 人に | 秋二二ウ9 |
| ひきむすびて | 秋六一ウ9 | きひとめかし・よそびと・よのひと | 人の | 秋三三ウ11 |
| ひきめる(率) | | | 人をのみ | 秋三三ウ8 |
| ひきいるより | 秋五八ウ2 | | 人なれば | 秋三三ウ10 |
| ひぐらし(日暮) | | | 人や | 秋一五ウ7 |
| ひぐらしなども | 秋三九ウ8 | | 人の | 秋一五ウ2 |
| ひぐらし | 秋五〇ウ4 | | 人 | 秋一六ウ4 |
| ひごろ(日頃) | | | 人に | 秋一七ウ1 |
| ひごろの | 秋五九才10 | | 人などや | 秋一七ウ10 |
| ひごろは | 秋五九才11 | | 人の | 秋一八才11 |
| ひさし(久) | | | 人にてなん | 秋一九才3 |
| ひさしく(連用法) | 秋一六才1 | | 人も | 秋一九才6 |
| ひさしく(中止法) | 秋一七才10 | | 人の | 秋一九ウ1 |
| ひさしく(連用法) | 秋一九才3 | | 人 | 秋二〇才4 |
| ひさしく(連用法) | 秋四〇才4 | | 人に | 秋二〇ウ1 |
| ひさし(庇) | | | 人の | 秋二三才2 |
| ひさし | 書三五才11 | | 人ぞかしと | 秋三三ウ2 |
| ひそかなり(密) | | | 人もぞ | 秋三五ウ4 |
| ひそかに(連用法) | 秋四三才10 | | 人には | 秋二六ウ8 |
| ひそめく(密) ↓うちひそめきあふ | | | 人に | 秋二六ウ9 |
| ひだうなり(非道) | | | 人の | 秋二七才11 |
| ひだうなる(連体法) | 書一八才8 | | 人を | 秋二七ウ4 |
| ひたうるふ(直潤) | | | 人 | 秋二八才11 |
| ひたうるひ給けしき | 秋三ウ4 | | 人は | 秋三〇才5 |
| ひと(人) ↓おいひと・おいびとども・さいは | | | 人にてこそおはすめれ | 秋三三才6 |

ひと ひとたび

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|--------|-------|-------|----------|--------|-----------|-------------------|--------|-------|--------|------------|-------|----------|-------|-------|--------|-------|----------|-------|---------|---------|-------------|--------|-------|----|
| ひと | 人の | 人の | 人に | 人には | 人に | 人のみ | 人 | 人に | 人し | 人も | 人も | 人 | 人の | 人も | 人も | 人の | 人も | 人も | 人なれど | 人も | 人は | 人の | 人ならんと | 人の | 人だに | 人は |
| 秋五五ウ4* | 秋五五ウ3 | 秋五四ウ10 | 秋五三ウ7 | 秋五二ウ4 | 秋五一ウ7 | 秋五一ウ11 | 秋五一ウ7 | 秋五一ウ6 | 秋五一ウ4* | 秋五一ウ2 | 秋四七ウ10 | 秋四五ウ7 | 秋四二ウ2 | 秋四一ウ2 | 秋三七ウ7 | 秋三六ウ8 | 秋三五ウ11 | 秋三五ウ6 | 秋三四ウ9 | 秋三四ウ3 | 秋三三ウ11 | 秋三三ウ10 | 秋三三ウ9 | 秋三三ウ4 | 秋三二ウ8 | |
| 人 | 人の | 人は | 人にこそ | 人ぞ | 人 | 人 | 人の | 人を | 人の | 人なれば | 人の | 人は | 人の | 人の | 人 | 人 | 人に | 人に | 人 | 人も | 人なれば | 人も | 人にも | 人にこそなど | 人の | |
| 秋六五ウ2 | 秋六五ウ1 | 書三三ウ1* | 書三〇ウ4 | 書三〇ウ8 | 書二九ウ10 | 書二八ウ10 | 書二七ウ7 | 書二七ウ4 | 書二六ウ9 | 書二六ウ3 | 書二五ウ9 | 書二四ウ7 | 書二三ウ2 | 書二一ウ9 | 秋六三ウ9 | 秋六二ウ7 | 秋六〇ウ11 | 秋六〇ウ9 | 秋五八ウ2 | 秋五七ウ6 | 秋五六ウ4 | 秋五六ウ4 | 秋五六ウ3 | 秋五五ウ6 | | |
| ひとたび | 一たび | ひとたびも | 一たび | 一たび | ひとたび(一度) | 人たがへなど | ひとたがへ(人違) | ひとしほ(一人) ↓ いまひとしほ | 人しれず | 人しれず | 人しれず | ひとしれず(人不知) | ひと事 | ひとこと(一言) | 人ぎゝ | 人ぎゝには | 人ぎゝを | 人ぎゝ | ひとぎき(人聞) | 人がちにて | ひとがち(人) | ひとかたならず | ひとかたならず(一方) | 人も | 人の | |
| 秋六二ウ5 | 秋五七ウ7 | 秋五一ウ2 | 秋四四ウ5 | 秋二八ウ6 | 秋五七ウ1 | 秋二一ウ8 | 秋二一ウ8 | 秋五七ウ2 | 秋二ウ9 | 秋五七ウ8 | 秋五七ウ8 | 秋五七ウ8 | 秋五七ウ8 | 書二六ウ3 | 秋五八ウ5 | 書二二ウ1 | 秋三二ウ10 | 秋三五ウ9 | 秋三五ウ9 | 秋三五ウ9 | 秋八ウ10 | 秋八ウ10 | 書三九ウ9 | 秋六五ウ4 | | |

ひめ君の 秋四八才 9
ひめぎみの 秋四八ウ 9
ひめぎみの 秋四九才 1
ひめぎみの 秋四九ウ 4
姫君と 秋五一才 7
ひめぎみの 秋五一ウ 6
ひめぎみ 秋五三才 1
ひめぎみにこそ 秋五三才 10
ひめぎみの 秋五四才 6
ひめぎみを 秋五五ウ 2
ひめぎみの 秋五九ウ 11
ひめぎみなどに 秋六一才 4
ひめぎみを 秋六二才 6
ひめぎみと 秋六二才 11
ひめ君と 秋六四才 4
ひめ君 書二一ウ 11
ひめ君の 書二四才 9
ひめ君の 書二六ウ 5
ひめ君 書一九才 1
ひめ君 書三三才 3
ひめ君 書三三才 8
ひめ君の 書三四才 6
ひめ君も 書三六才 1
ひめぎみの 秋六五才 7
ひめぎみ「を」 秋六六才 1
ひめぎみは 秋六六ウ 11

ひめ君 書三八ウ 11
ひめ君 書四〇ウ 5
ひめぎみのおまへ(姫君御前) 秋三〇才 6
ひめ君のをまへの 秋三四才 4
ひめぎみのをまへの 秋六四ウ 4
ひめみや(姫宮) 書三八ウ 4
ひめ宮 書三八ウ 5
ひめ宮 秋一ウ 5
びやうぶ(屏風) 秋一ウ 5
びやうぶ 秋一ウ 5
ひる(昼) ↓よるひる 秋六三ウ 10
ひるまで 秋六三ウ 10
ひる(干) 書二四ウ 7
ひる 書二四ウ 7

ふ

ふ(経) ↓ありふ 秋六五ウ 5 *
へても 書三八ウ 3
へぬれば 秋一一ウ 2
ふかさ(深) 秋一一ウ 2
ふかさに 秋一一ウ 2
ふかし(深) ↓おくふかし 秋一〇ウ 5
ふかく 秋一〇ウ 5

ふかく(連用法) 秋一九才 11
ふかき(連用法) 秋三一才 2
ふかく(連用法) 秋三一ウ 10
ふかき(連体法) 書二四ウ 2
ふく(更) 秋四〇才 2
ふけて 秋四七才 3
ふけなば 秋四七才 5
ふけて 書二三才 3
ふし(節) ↓をりふし 書二三才 3
ふしやは 書二三才 3
ふし(臥) ↓おきふし 書二三才 3
ふしおく(臥起) 書二三才 3
ふしをきし 書二三才 6
ふす(臥) ↓うちふす・うつぶす・かくれふす・しづみふす・そひふす・なきふす 秋八ウ 8
ふし給ぬ 秋八ウ 8
ふさせ給へりし 秋一五ウ 10
ふし給ぬる 秋五八才 10
ふし給へり 書二一ウ 3
(ふし)たり 書二二才 10
ふすま(袈) ↓おほむふすま・ふたりふすま 書二二才 10
ふたがる(塞) ↓きりふたがる 書二二才 10
ふたところ(二所) 書二二才 10
ふたところ 書三三ウ 3
ふたところ 書三三ウ 3
ふたところ 書三九才 2
ふたり(二人) 書三九才 2

| | |
|---------------------|--------|
| ふたりばかり | 秋一ウ7 |
| ふたり | 秋四九ウ9 |
| ふたりの | 書三五才5 |
| ふたり | 書三八ウ4 |
| ふたりふすま(二人衾) | |
| ふたりふすまの | 秋一四才9* |
| ふち(淵) | |
| ふちも | 秋三〇才11 |
| ふぢ(藤) | |
| ふぢも | 秋四六才7 |
| ふぢつば(藤壺) | |
| ふぢつばの | 秋四六才6 |
| ぶつきやう(仏教) | |
| 仏経にも | 書三四才4 |
| ふで(筆) | |
| ふでも | 秋六一ウ1 |
| ふと | |
| ふと | 秋四四才1 |
| ふところ(懐) | |
| ふところに | 秋六三ウ7 |
| ふね(船) | |
| ふね | 秋四五ウ9 |
| ふびん(不便) | |
| ふびんの | 秋一七ウ2 |
| ふみ(文)↓おほむふみ・おほむふみども | |
| ふみ | 秋五六ウ10 |

| | |
|-------------|--------|
| ふみ | 書三二ウ7 |
| ふみわく(踏分) | |
| ふみわけて | 秋一一ウ3 |
| ふる(降) | |
| ふりたれば | 秋九ウ8 |
| ふるとも | 秋六〇才10 |
| ふり侍しかば | 書三四ウ5 |
| ふるひとども(古人共) | |
| ふる人ども | 書三二ウ1 |
| ふるまひ(振舞) | |
| ふるまいは | 書三三才4 |
| かゝるふるまひ | 書三三才10 |
| ふるや(古屋) | |
| ふるやを | 秋三五ウ3* |
| へ(方)↓ゆくへ | |
| へだつ(隔) | |
| へだてたてまつらじと | 秋一九才5 |
| へだてけると | 秋四三ウ2 |
| べち(別) | |
| べちの | 秋一五才3 |
| へん(辺)↓おほむへん | |
| へんに | 秋三七ウ3 |



| | |
|------------------------|--------|
| べん(弁)↓こべん・こべんのと | |
| ほう(方力) | |
| ほう | 書三六才2 |
| ほか(他)↓ことのほかなり | |
| ほかの | 秋七ウ7 |
| ほかへ | 秋一一ウ1 |
| ほかに | 秋一一ウ4 |
| ほかへ | 秋四一ウ6 |
| ほかに | 秋五三ウ3 |
| ほかに | 書二七才3 |
| ほか | 書一九才4 |
| ほかの | 書三〇才1 |
| ほそし(細)↓こころほそげなり・こころほそし | |
| ほど(程)↓おほむほど・さほど・なるほど | |
| あさましき程に | 秋四才10 |
| これほど | 秋四ウ3 |
| ほど | 秋七ウ6 |
| ほどの | 秋八ウ5 |
| ほどを | 秋八ウ11 |
| ほども | 秋一〇才5 |
| ほども | 秋一二ウ11 |
| ほどに | 秋二〇才2 |

ほ

| | | | | | |
|----------|--------|----------|--------|----------------|--------|
| 申させ給なるが | 秋九ウ5 | 申させ給へなど | 秋二五ウ3 | 申(連体法) | 秋六〇才3 |
| 申せば | 秋九ウ9 | 申せば | 秋二八才11 | 申せば | 秋六〇ウ6 |
| 申すに | 秋一〇ウ1 | 申侍らぬ | 秋二八ウ4 | 申せ | 秋六二ウ2 |
| 申さましと | 秋一〇才7 | 申せば | 秋二八ウ5 | 申すべき | 秋六三才3 |
| 申て | 秋一三才2 | 申すに | 秋二八ウ7 | 申させ給 | 秋六三才11 |
| 申す | 秋一四ウ3 | 申に | 秋二八ウ11 | 申さんと | 秋六三ウ3 |
| 申つれば | 秋一四ウ9 | 申せば | 秋三〇才5 | 申ければ | 秋六四ウ10 |
| 申せとて | 秋一五才4 | 申給ふ | 秋三三才1 | 申さんと | 書二二才8 |
| 申給て | 秋一五ウ3 | 申すに | 秋三三ウ7 | 申てし | 書二九才6 |
| 申給 | 秋一五ウ7 | 申すに | 秋三九ウ9 | 申せど | 書三〇才9 |
| 申給へば | 秋一六才6 | 申侍らざりしかど | 秋四一ウ10 | 申させ給えば | 秋六六才2 |
| 申侍つれども | 秋一七ウ1 | 申給て | 秋四二才10 | 申すも | 書四〇才5 |
| 申給へば | 秋一七ウ4 | 申給へば | 秋四二才11 | まうす(申)《補助動詞》 | |
| 申給 | 秋一七ウ6 | 申さばやと | 秋四四ウ5 | かたり申せば | 秋一〇才8 |
| 申せと | 秋一七ウ11 | 申侍らむと | 秋四五才4 | うちとけ申給て | 秋四二才3 |
| 申すに | 秋一八才9 | 申(連体法) | 秋四五才4 | うちとけ申けんも | 秋四八才2 |
| 申すべき | 秋一八ウ1 | 申さんとてこそ | 秋四八才7 | かたり申せば | 秋五九才9 |
| 申侍べきと | 秋一八ウ2 | 申されざりきと | 秋四九ウ8 | まうで(詣) ↓ ものまうで | |
| 申せば | 秋一八ウ5 | 申給へば | 秋五一ウ6 | まうでく(詣来) | |
| 申べき | 秋一八ウ6 | 申ながら | 秋五三才11 | まうできて | 秋六二才2 |
| 申さめ | 秋一八ウ8 | 申さんと | 秋五三ウ10 | まうのぼり(参上) | |
| 申さんと | 秋一八ウ10 | 申し | 秋五七ウ6 | まうのぼりなどは | 秋三九ウ11 |
| 申さまほしけれど | 秋一九ウ10 | 申べき | 秋五七ウ7 | まうのぼる(参上) | |
| 申さず | 秋二〇才10 | 申せば | 秋五八才8 | まうのぼれども | 秋三才2 |
| 申さんとして | 秋二三ウ8 | 申さでは | 秋五九才4 | まうのぼり給し | 秋三一ウ7 |

| | |
|-----------|---------|
| まいり給へば | 秋二三ウ 11 |
| まいり給はぬを | 秋三〇才 1 |
| まいり給にも | 秋三〇ウ 9 |
| まいり給へれば | 秋三一才 1 |
| まいりて候へども | 秋三二ウ 1 |
| まいりて | 秋三三才 9 |
| まいり給はず | 秋三四才 5 |
| まいりて | 秋三六才 2 |
| まいり給ぬ | 秋三八ウ 1 |
| まいり給て | 秋三八ウ 8 |
| まいり給へるに | 秋三九才 10 |
| まいり給へば | 秋三九ウ 2 |
| まいりて | 秋四一才 5 |
| まいり給へと | 秋四三才 11 |
| まいれと | 秋四三ウ 1 |
| まいるべし | 秋四三ウ 10 |
| まいらず | 秋四五才 2 |
| まいりて | 秋四五才 3 |
| まいる | 秋四五才 7 |
| まいりたまひて | 秋四五才 9 |
| まいりぬ | 秋四七才 4 |
| まいる | 秋四七ウ 9 |
| まいらぬ | 秋五〇ウ 7 |
| まいり給へれば | 秋五一ウ 2 |
| まいり侍つるをとて | 秋五二才 1 |
| まいり給へば | 秋五二ウ 11 |

| | |
|---------------------|---------|
| まいり給へば | 秋五六才 6 |
| まいりて | 秋五六ウ 8 |
| まいりて | 秋五八才 7 |
| まいりたれば | 秋五八ウ 6 |
| まいり給へかりける物を | 秋六一才 1 |
| まいりてぞ | 秋六一才 11 |
| まいるも | 秋六三ウ 4 |
| まいりたれば | 秋六三ウ 6 |
| まいりて | 書二一才 2 |
| まいりて | 書二二ウ 7 |
| まいりて | 書二二ウ 6 |
| まいりたるに | 書三四才 2 |
| まいり給て | 秋六六ウ 9 |
| まいり給にき | 書三八ウ 11 |
| まいりをはしたるを | 書三九才 10 |
| まんどころ(政所) ↓きたのまんどころ | |

み

| | |
|-----------------|----------|
| 身(身) | 秋六ウ 10 |
| 身と | 秋九才 1 |
| 身をぞと | 秋二〇ウ 9 * |
| 身を | 秋三〇才 10 |
| 身ならばこそ | 秋四四ウ 9 |
| 身に | 秋四六才 11 |
| みには | 秋五〇ウ 2 |
| 身には | 秋五五才 3 |
| 身の | 秋六四才 7 |
| 身にて | 書二一ウ 9 |
| 身も | 書三〇ウ 8 |
| みあつかひ(見扱) | 秋一七ウ 1 |
| みあつかひ侍てと | |
| みあらはず(見現) | 秋四五才 10 |
| みあらはしつるを | |
| みいだす(見出) | 秋一六ウ 8 |
| みいだしたるに | |
| みいる(見入) | 秋二才 2 |
| みいれさせ | 秋四八ウ 2 |
| みいれでのみ | 秋五三ウ 11 |
| みいれ給はねば | |
| みおくる(見送) | 秋二七ウ 6 |
| みをくりたてまつれば | 秋四五才 7 |
| みをくりたまふに | 秋四九才 2 |
| みがきつくろふ(磨繕) | 秋四九才 2 |
| みがきつくろはる | |
| みがく(磨) | 書三一ウ 3 |
| みがくられたる | |
| みかど(御門) ↓おりのみかど | 秋五才 4 |
| 御門なりとも | 秋五八ウ 2 |
| みかど | |

みかど みづ

| | | | | | |
|----------------|---------|--------------|--------|---------------------|---------|
| みかど | 書二五才1 | みぐるしなど | 秋二〇才2 | 御随身の | 秋六五才11 |
| みかどは | 書二七ウ5 | みぐるしかるらんと | 秋二六才4 | みずいじんども(御隨身共) | |
| みかどは | 書二八ウ2 | みぐるしや | 秋四四才3 | みずいじんどもの | 書三三ウ7 |
| みかど | 書三〇才6 | みぐるしくて | 書二二才10 | みすつ(見捨) | |
| 御門 | 書三〇才10 | みこ(御子)↓いちのみこ | | みすて、 | 秋五四ウ6 |
| 御門は | 書三〇ウ1 | 御こなれば | 書三一才5 | みすて、 | 秋六一才6 |
| みかどは | 書三八ウ8 | みこたち(御子達) | 書三〇ウ6 | みそ(卅) | |
| みかほのかみ(三河守) | | 御こたちも | | 卅に | 書二七ウ9 |
| みかほのかみに | 書三九ウ10 | みしやう(御莊) | 書三一才1 | みだう(御堂) | |
| みかはみづ(御溝水) | | みしやうなど | | みだう | 書四〇才8 |
| みかは水の | 秋一六ウ9 | みしる(見知) | 秋一〇ウ11 | みだる(乱)↓おぼしみだる・かきみだる | |
| みかはみづ | 秋一六ウ11* | みしりて | 秋二四才6 | みだれず | 書二八才8 |
| みきく(身聞) | | みしりたるにや | 秋三六ウ1 | みち(道) | 秋三七ウ5 |
| みきく給 | 書三五ウ1 | みしられじと | | 道とかやも | 秋五四ウ6 |
| みきこゆ(見聞) | | みす(御簾) | 秋三八ウ8 | みちも | 秋五七才6 |
| 見きこ糸給に | 秋三九才1 | みすの | | みち | 秋六二ウ3* |
| みきこえよ | 書三六才2 | みす(見)↓かへりみす | 秋一〇ウ4 | みちにと | 秋六三才2 |
| みぎのおほいどの(右大臣殿) | | みせたてまつるな | 秋一二才10 | みちの | 書三三才2* |
| 右のおほいとは | 書二七才11 | みせよと | 秋一三ウ5 | みちにぞ | 書三三ウ7* |
| みくらぶ(見比) | | みせじとも | 秋一六ウ1 | みちにも | 書三三ウ10* |
| みくらべ給らんなど | 秋五ウ8 | みせたらば | 秋二四才5 | みち | |
| みぐるし(見苦) | | みせばやと | 秋四一才2 | みちやう(御丁) | 秋三六ウ9 |
| みぐるしくや | 秋三ウ9 | みせさせ給たりし | 秋五三才4 | 御丁の | |
| みぐるしからぬ | 秋七才10 | みせきこ糸給へかし | 書三五ウ2 | みつ(満) | 秋五四ウ3 |
| みぐるしからんずるに | 秋七ウ9 | 見せたてまつらでと | | みちたる | |
| みぐるしくや | 秋一一才8 | みずいじん(御隨身) | | みづ(水)↓きよみづ・みかはみづ | |

| | | | | |
|------------------------|---------|------------------------|--------------|---------|
| みづから(自) | 秋一八ウ 8 | きんじやういちのみや・ひめみや・みやの | 宮すどころの | 秋三九才 2 |
| 身づから | 秋一九ウ 10 | わかみや・わかみや・わかみやのおほむめ | 宮す所は | 秋四〇ウ 8 |
| みつく(見付) | 秋二ウ 11 | のとのちうなごんのすけ | みやすどころの | 秋四三ウ 10 |
| 見つけたらんよりも | 秋七ウ 1 | 宮など | 宮すどころの | 秋五二才 11 |
| みつげらればやと | 秋五九ウ 5 | 宮も | 宮す所に | 秋五四ウ 4 |
| みつげたりしこそ | 秋二四ウ 11 | 宮の | 宮す所に | 秋六〇才 6 |
| みとる(見取) | 秋六二ウ 1 | 宮をさへ | 宮す所も | 書二一才 6 |
| みとり給へば | 秋二ウ 11 | みやすどころ(御息所) ↓とつぐうのみやすど | 宮す所 | 書二六才 7 |
| みとり給てしかば | 秋二ウ 11 | ころ | 宮す所は | 書二九ウ 5 |
| みな(皆) | 秋二ウ 1 | 宮す所 | みやたち(宮達) | 書三九ウ 2 |
| みな | 秋五九才 11 | みやす所は | 宮たちの | |
| みな | 書三〇ウ 6 | 宮す所へ | みやづかへ(宮仕) | |
| みな | 書三四才 3 | 宮す所は | みやづかへも | 秋六五才 9 |
| みへしる(見知) | 秋六ウ 9 | 宮す所は | みやのないし(宮内侍) | 書二九ウ 6 |
| みへしられんとも | 秋三四ウ 2 | 宮す所などにこそは | 宮のないしに | |
| みまはす(見廻) | 秋六ウ 9 | 宮す所の | みやのわかみや(宮若宮) | 書一八才 4 |
| みまはし給に | 秋三四ウ 2 | 宮す所に | 宮のわか宮を | |
| みみ(耳) | 秋八ウ 10 | みやすどころに | みやばら(宮腹) | 秋五三才 4 |
| みゝにも | 書三四ウ 3 | 宮す所は | 宮ばらなどにも | |
| みゝに | 秋八ウ 10 | 宮す所も | みゆ(見) | |
| みめ(見目) ↓おほむみめ・おほむみめども | 秋二〇ウ 11 | みやす所の | みえ給はぬに | 秋二ウ 3 |
| みもの(見物) | 秋三〇ウ 11 | 宮す所は | みゆべしと | 秋五才 4 |
| みものなり | 秋三一才 2 | 宮す所に | みゆるぞ | 秋九ウ 3 |
| 書三一ウ 2 | 秋三八ウ 1 | 宮すどころに | みゆるに | 秋一六ウ 6 |
| みや(宮) ↓いちのみや・おほむみやづかへ・ | 秋三八ウ 4 | 宮す所も | みへ給はず | 秋二四才 8 |
| | | | みゆ | 秋三二ウ 10 |

みゆ みる

| | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|----------|-----------|----------|
| みえ給ふ | 秋三三才 11 | みるに | 秋一七才 3 | み給へば | 秋四三ウ 4 |
| みへず | 秋三四才 9 | みたてまつるも | 秋一九ウ 7 | 見つとだに | 秋四三ウ 11 |
| みへし也 | 秋三七ウ 3 | みるに | 秋三三才 11 | 見つるこそ | 秋四四才 7 |
| みゆる(連体法) | 秋四六ウ 11 | み給てん | 秋三三ウ 6 | みたてまつりぬれば | 秋四四ウ 10 |
| みへ侍れ | 秋五三才 10 | みんとて | 秋三三ウ 11 | み給ふ | 秋四五才 8 |
| みゆれば | 秋五四才 8 | み給へば | 秋二四才 1 | みるべきと | 秋四六才 1 |
| みゑて | 秋五八ウ 9 | みまいらする | 秋二五才 7 | みたまへば | 秋四六才 2 |
| みゆるに | 秋五八ウ 10 | みまいらするも | 秋二五才 11 | みるまじきそかして | 秋四六才 8 |
| みゆ | 書二〇ウ 11 | みんとのみ | 秋二六才 8 | みたまへば | 秋四六才 10 |
| みえねば | 書二三才 1 | みで | 秋二七ウ 8 * | みる哉と | 秋四六ウ 2 * |
| みゆる(「ぞ」の結び) | 書三五才 4 | みるも | 秋二八才 1 | みまいらするも | 秋四七才 6 |
| みへ給 | 秋六六ウ 11 | みる(連体法) | 秋二八才 3 | み給にも | 秋四七ウ 4 |
| みゆき(行幸) | | みまほしくて | 秋二八才 6 | みまほしけれど | 秋四八ウ 1 |
| 行幸は | 書二五才 11 | み給へば | 秋二八才 8 | みたてまつらむとて | 秋五一ウ 2 |
| みる(見) ↓ あひみる・うちみる・かへりみが | | み給しに | 秋二九ウ 6 | みまいらせに | 秋五二才 1 |
| ちなり | | み給に | 秋三〇才 7 | み給へば | 秋五四才 9 |
| みんと | 秋一才 10 | みるも | 秋三一才 4 | みるべき | 秋五六ウ 2 |
| みるらんと | 秋五ウ 4 | みたてまつるに | 秋三三才 9 | みまいらするに | 秋五七才 3 |
| みる(連体法) | 秋八ウ 11 | み給へば | 秋三四才 10 | みれば | 秋五七ウ 4 |
| みばやと | 秋一〇ウ 9 | みざりしかども | 秋三六才 10 | みてし | 秋五七ウ 4 |
| みるに | 秋二才 10 | みつる | 秋三七才 6 | みれば | 秋五八才 1 |
| み給に | 秋三才 6 | みつるは | 秋三七才 9 | みまいらせんと | 秋五八才 7 |
| み侍 | 秋一五ウ 2 | みしも | 秋三九才 3 | 見てしより | 秋五九ウ 3 |
| みたてまつり給 | 秋一五ウ 8 | みてし | 秋四〇才 9 | みまいらせしに | 秋五九ウ 10 |
| み給はぬと | 秋一六才 1 | みまほしければ | 秋四一才 4 | みまいらせんとて | 秋六〇才 7 |
| みるべきにかと | 秋一六ウ 9 | み給へば | 秋四三才 4 | みつるこそ | 秋六二才 1 |

む

| | | | | | |
|-----------|---------|------------|----------|------------------|---------|
| みるやうに | 秋六二ウ 2 | むかしの(昔) | 秋三五ウ 1 | むすぶ(結) ↓ ひきむすぶ | |
| みると | 秋六四才 3 | むかしの | 秋三五ウ 4 * | むせかへる(噎返) | |
| みんと | 秋六四才 11 | むかしの | 秋三五ウ 10 | むせかへりたり | 秋四五才 1 |
| みたまへなど | 書二二才 1 | むかしを | 秋四一才 5 | むせかへりては | 秋四九ウ 2 |
| みたまふに | 書三三才 1 | むかしの | 秋五八ウ 2 | むせぶ(噎) | |
| みむとて | 書三三才 4 | むかしより | 書二五ウ 6 | むせびたる | 秋四九ウ 6 |
| みばやと | 書三三才 10 | むかしの | 書三一ウ 4 | むつかし(難) ↓ ものむつかし | 秋二二ウ 9 |
| みる(連体法) | 書二六ウ 5 | むかしの | 書三二ウ 5 | むつかしく(連用法) | 秋二九才 6 |
| みたてまつり給にも | 書二七才 4 | むかしの | 書三九ウ 5 | むつかしからん | 秋三四才 5 |
| みざりつる | 書三〇才 5 | むかし | 書二七才 9 | むつかしと | 秋一五ウ 2 |
| みきこえさせ給 | 書三一ウ 8 | むかしの | 書二二才 1 | むつかりげなり(憤) | |
| みたてまつらせ給 | 書三二ウ 9 | むかふ(迎) | 秋一六才 5 | むつかりげに(連用法) | 秋二八ウ 3 |
| み給に | 書三三才 6 | むかへて | 書三〇才 6 | むつき(睦月) | 書二九ウ 1 |
| みて | 書三三才 11 | むかへたてまつり給て | 秋九才 2 | む月の | |
| み給へば | 書三四才 5 | むかへまいらせ給て | 秋六七才 5 | むね(胸) | 秋二〇ウ 2 |
| みたまふ | 書三四才 7 | むくい(報) | 秋一八ウ 6 | むねも | 秋二四才 4 |
| みるも | 秋六六才 10 | むくひにやと | 秋四四ウ 1 | むね | 秋二〇ウ 2 |
| みたまひつべき | 秋六六才 10 | むぐら(葎) | | むね | 秋二四才 4 |
| みまほしくこそとて | 秋六六ウ 10 | むぐら | | むね | 秋三一才 6 |
| みまいらせ給 | 書三八才 7 | むげなり(無下) | | むね | 秋三七才 5 |
| みまほしく | 秋六五才 6 | むげに(連用法) | | むね | 秋三九ウ 10 |
| みるみる(見見) | | むごん(無言) | | むまる(生) | 秋四三才 6 |
| みる | | むごんを | | むまれ給し | 秋一五ウ 9 |
| | | | | むまれあふ(生合) | |

| | | | | | |
|------------------------|---------|-------------------|---------|-----------------------|---------|
| めでたき(連体法) | 書三五才 8 | もへぎの | 秋五八ウ 10 | もと(許) ↓おほむもと・こもと | 秋二一ウ 10 |
| めでたく(連用法) | 書三五才 11 | もし | | もとよりも | 秋二四才 2 |
| めでたき(連体法) | 書三六才 2 | もし | 秋一五才 7 | もとより | 書二五才 4 |
| めでたき(連体法) | 秋六五ウ 6 | もし | 秋一七ウ 9 | もとにてぞ | |
| めでたく(中止法) | 秋六五ウ 8 | もし | 秋六二ウ 9 | もとより(固) | |
| めでたき(連体法) | 秋六五ウ 11 | もし | 書三三才 1 | もとより | 秋一四ウ 7 |
| めでたし | 書三九才 3 | もち(持) ↓こもち | | もとより | 秋三一ウ 5 |
| めでたく(連用法) | 書三九ウ 7 | もつ(持) | | もとより | 秋五四ウ 4 |
| めでたしと | 書四〇才 4 | もち給へれど | 秋四八ウ 9 | もの(物) ↓おほむもの・おほむものぐ・ま | |
| めでたき(連体法) | 書四〇才 8 | もてあそぶ(弄) | | きもの・みもの | |
| めでたく(連用法) | 書四〇才 10 | もてあそびてをはするを | 秋二四才 1 | 物など | 秋一ウ 8 |
| めでたき(連体法) | 書四〇ウ 4 | もてあそびてぞ | 秋五三才 1 | 物など | 秋二才 1 |
| めでたく(中止法) | 秋六七才 3 | もてかしづく(傳) | | ものぞとて | 秋三ウ 3 |
| めでののしる(愛罵) | | もてかしづき給 | 書二七才 10 | 物など | 秋一ウ 8 |
| めでのゝしりけり | 書二五才 10 | もてなし(持成) ↓おほむもてなし | | ものへ | 秋二二ウ 11 |
| めのと(乳母) ↓おほむめのと・おほむめのと | | もてなし | 秋三三ウ 1 | ものへ | 秋二三才 7 |
| い・とうぐうのおほむめのと・わかみやの | | もてなし | 秋四〇ウ 7 | 物も | 秋一九才 1 |
| おほむめのとのちづなごんのすけ | | もてなし | 秋四〇ウ 10 | 物とも | 秋二〇才 7 |
| | | もてなしかたらふ(持成語) | | 物も | 秋二一才 7 |
| | | もてなしかたらはんと | 書二一ウ 7 | 物も | 秋二二ウ 3 |
| | | もてなす(持成) | | 物ゝみ | 秋二七ウ 2 |
| | | もてなすましと | 秋四ウ 4 | 物ゝみ | 秋二八才 7 |
| | | もてなし給 | 秋一六才 3 | もの | 秋三三才 1 |
| | | もてなすとも | 秋三一才 7 | ものなど | 秋三三才 1 |
| | | もてなしきこ系給へり | 秋三一才 11 | 物など | 秋三六才 3 |
| | | もてなし給へど | 秋四一才 8 | 物をのみ | 秋四〇ウ 2 |
| もえぎ(萌黄) | | | | | |
| もを | 書三八才 6 | | | | |
| も | 秋五八ウ 11 | | | | |
| も(裳) | | | | | |

も

や

や(屋) ↓ ふるや
やう(様) ↓ さいやう・さいやうなり

やうに 秋三ウ 6
 やうに 秋三ウ 9
 やうの 秋八オ 2
 やう 秋八オ 3
 やうなるこそ 秋九オ 5
 やうに 秋一〇ウ 3
 やうにて 秋一〇ウ 8
 やう やう 秋一四オ 3
 やう やう 秋一八ウ 2
 やうにて 秋三一ウ 8
 やうには 秋三二オ 4
 やうなれど 秋三二ウ 9
 やうなるに 秋三九オ 2
 やうの 秋四六ウ 11
 やう 秋四八オ 1
 やうにも 秋五四オ 1
 やうこそは 秋五五オ 10
 やうに 秋五七ウ 6
 やうにて 秋六〇ウ 3
 やうに 秋六一オ 1
 やうに 秋六二ウ 2
 やうに 書三〇オ 3

やうなる(連体法)
 やうやう(漸)
 やう
 やう
 やがて 秋三五オ 2
 やがて 秋五八ウ 8
 やがて 書二四オ 8
 やがて 秋一オ 11
 やがて 秋八ウ 7
 やがて 秋八ウ 8
 やがて 秋一五オ 5
 やがて 秋四二オ 11
 やがて 秋五四ウ 7
 やがて 秋五九オ 7
 やがて 秋六三ウ 8
 やがて 秋六四ウ 4
 やがて 書二七オ 9
 やがて 秋六六ウ 11
 やがて 書三八ウ 11
 やす(瘦) ↓ おもやす
 やせ給えるしも 書二五ウ 1
 やすし(易)
 やすく(連用法)
 やすし(安) ↓ こころやすし 秋三八オ 5 *
 やすらかなり(安)
 やすらかに(連用法) 書二八オ 11
 やすらひ(休)
 やすらいや 秋六二ウ 7 *

やすらひや 書三五オ 2
 やすらひや 書三一ウ 11
 やすらふ(安) ↓ おぼしやすらふ 秋三八オ 7
 やせあをむ(瘦青)
 やせあをみて 秋三八オ 7
 やせうつろふ(瘦移)
 やせうつろひ給える 秋三八ウ 3
 やど(宿)
 やどゝ 秋三五オ 6 *
 やどには 秋六二ウ 7 *
 やどには 書三一ウ 11
 やどの 秋六七オ 5
 やどす(宿)
 やどさじ 秋一六ウ 11 *
 やはらかなり(柔)
 やはらかなる(連体法) 秋三七ウ 11
 やま(山) ↓ ひえのやま・ゆきやま 秋三〇ウ 1
 山の
 やまぎは(山際)
 山ぎは 秋四六オ 4
 やまざと(山里)
 山ざとは 秋一ウ 3
 山ざとなれど 秋三四ウ 11
 山ざとは 秋三五オ 11
 山ざとなれば 秋六二ウ 10
 やまぢ(山路)

| | | | | | |
|-------------|--------|--------------|--------|-----------------------------|-------|
| よしなくと | 秋二九才10 | よの人の | 秋六五ウ9 | よるなども | 秋二九才3 |
| よしなき(連体法) | 秋六四才5 | よびとる(呼取) | | よるなど | 秋六一才4 |
| よしなき(連体法) | 秋六四ウ1 | よびとり給はんとて | 秋一ウ10 | よる(寄)↓おもひよる・さしよる・たちよる・はしりよる | |
| よす(寄)↓おもひよす | | よぶ(呼) | | よら | 秋一一ウ2 |
| よせしのぶ(寄忍) | 秋二〇才1 | よび給へば | 秋三三ウ7 | よら | 秋五六ウ9 |
| よせしのびたれども | | よび給て | 秋六二ウ1 | よりの | |
| よそ(他所) | | よべ(夜部) | 秋一一ウ9 | よるのおほむとこ(夜御床) | 秋五才10 |
| よそびと(他所人) | 書二四才6 | よべ | | よるの御とこなどに | 秋二五ウ7 |
| よそ人は | 秋一一才3 | よます(詠)↓うちよます | | よるの御とこなどに | |
| よそ人も | 書三三ウ11 | よみすます(読澄) | | よるひる(夜昼) | 書三〇才3 |
| よに(世)《副詞》 | 秋二四才3 | よみすましたまへる | 秋四五ウ6 | よるひる | |
| よに | 秋二七ウ11 | よむ(読)↓うちよむ | 書三四ウ2 | よろこぶ(喜)↓おほしよろこぶ | 秋五四才9 |
| よに | 秋四七ウ6 | よみ給し | | よろこびて | 書三九ウ2 |
| よに | 秋六一才9 | よめ(夜目) | 秋一ウ6 | よろこばせ給て | |
| よのなか(世中) | 秋三八才4* | よも | | よろし(宜) | 秋二才11 |
| 世中に | 秋四九才8 | よも | 秋一三才10 | よろしく(連用法) | 秋六六ウ5 |
| 世中に | 秋六三ウ10 | よもと | 秋一五才3 | よろしく(連用法) | |
| 世中の | 書一八才8 | よも | 秋二八ウ9 | よろづ(万) | 秋五五ウ1 |
| よの中 | 書一八才10 | よも | 秋六〇ウ10 | よろづ | 書二一才2 |
| よの中の | 書三一ウ2 | よもすがら(夜) | 秋六四才1 | よろづは | 秋六七才2 |
| よのひと(世人) | 書一八才3 | よもすがら | 秋九ウ8 | よわげなり(弱) | 秋五九才9 |
| よの人は | 書一九ウ4 | よる(夜) | 秋二四ウ9 | よはげに(連用法) | |
| | | | | よわし(弱) | 秋六三ウ1 |
| | | | | よはく(連用法) | |
| | | | | よわよわし(弱) | |

よは しき(連体法)

秋四八ウ 3

りんじのまつりにて

書二二ウ 5

ろ

ろんず(論)
ろんずれば

秋四五ウ 8

ら

ら ↓ くれら

らか ↓ くららかなり

らうせうふぢやう(老少不定)

らうせう不定の

らうたげなり

らうたげなる(連体法)

らうたげに(連用法)

らうたさ

らうたさに

らうたし

らうたく(連用法)

らうたく(連用法)

らうたく(連用法)

らうたく(連用法)

らうたけれ(「こそ」の結び)

らん(覽) ↓ うちいらんず

秋六二ウ 11

秋一ウ 6

秋五三才 2

秋二四才 9

秋一〇ウ 11

秋一六才 6

秋三三才 9

秋三八ウ 11

秋六六才 9

れい(例)

れいよりは

れいは

れいならず(不例)

れいならぬ(連体法)

れいならぬ(連体法)

れいの(例)

れいの

れいの

れいの

れいの

れいの

れいの

れいの

れいの

れいの

れう(料) ↓ おほむれう

れうになど

れうに

れうの

秋一五ウ 2

秋一七ウ 1

秋一三才 8

秋一四ウ 7

秋一四ウ 10

秋一五才 2

秋一八才 5

秋二二ウ 4

秋二二ウ 8

秋四三才 5

秋五三才 1

秋五六ウ 5

秋一二才 8

秋六二才 10

書一九才 3

わ(我)

わがり

わが(我)

我

わが

我

我

わがならねども

我

我

わが

我

我

わが

わが

わが

我

我

わ

書三二ウ 7

秋五才 7

秋七ウ 4

秋七ウ 6

秋一六才 1

秋一六才 6

秋一八才 1

秋二一ウ 9

秋二六ウ 7

秋四六才 11

秋五〇才 4

秋五〇ウ 2

秋五三ウ 9

秋五五才 11

秋六〇ウ 9

秋六四才 7

| | | | | | |
|--------------------|--------|---------------------------------|--------|------------------------|--------|
| わが | 書二一才10 | わかみやの | 秋二四才7 | わする(忘) ↓ おぼしわする・おもひわする | 秋一四才8* |
| わが | 書二七才6 | わかみやの | 秋三〇才11 | わすれけん | |
| わが | 書三〇才3 | わか宮の | 秋三八才11 | わすれで | 秋二四才6 |
| わが | 書三〇才8 | わかみやの | 秋三八才8 | わすれぬ | 秋五九才11 |
| わが | 書三一才7 | わかみやの | 秋三九才11 | わするゝ(連体法) | 書二四才8 |
| わが | 書三五才1 | わか宮をも | 秋六〇才7 | わするゝ(連体法) | 書二六才4 |
| わが | 秋六六才8 | わか宮の | 書二四才11 | わするゝ(連体法) | 書三一才6 |
| わかぎ(若木) | | わか宮・ ⁽⁶⁾ | 書二五才7 | わすれず | 秋六五才8 |
| わかぎの | 秋三五才4 | わか宮の | 書二五才3 | わするゝ(連体法) | 書四〇才1 |
| わかぎの | 秋三五才8* | わか宮 | 書二六才4 | わすれがたし(忘難) | |
| わかぎども(若木共) | | わか宮を | 書二六才4 | わすれがたければ | 秋一八才4 |
| わかぎどもの | 秋三五才2 | わかみやを | 書二九才7 | わすれがたくぞ | 秋四二才7 |
| わかぎみ(若君) | | わか宮 | 書三八才3 | わすれがたくぞ | 秋四二才11 |
| わか君 | 書三九才8 | わか宮 | 書三八才10 | わすれがたけれど | 秋四八才6 |
| わか君 | 書四〇才5 | わかみやのおほむめのとのちうなごんのすけ(若宮御乳母中納言介) | | わすれがたく(連用法) | 書三〇才2 |
| わかし(若) | | わか宮の御めのとの中納言のすけの秋六ウ | | わすれがたくて | 書三五才5 |
| わかき(連体法) | 秋二〇才7 | わかる(別) | | わたくし(私) | |
| わかけれど | 秋六二才11 | わかる(別) | | わたくしには | 秋一八才2 |
| わかつ(分) ↓ ききわかつ | | わかる(別) | | わたくしには | |
| わかみや(若宮) ↓ みやのわかみや | | わか(分) ↓ ふみわく | 書二四才11 | わたしそむ(渡初) | 書三八才10 |
| わかみや | 秋九才11 | わか(分) ↓ ふみわく | | わたしそめし | |
| わかみやの | 秋一〇才7 | わざ(業) | | わたしそめし | |
| わか宮の | 秋一〇才10 | わざも | 秋三六才9 | わたしたてまつれと | 秋七才11 |
| わかみやの | 秋一五才4 | わざやと | 秋三八才6 | わたさんと | 秋一三才1 |
| わかみやの | 秋一五才7 | わざと(態) | | わたし侍しを | 秋四一才6 |
| 若宮 | 秋一六才3 | わざと | 書三五才9 | 「わ」たしたてまつりて | 秋六六才1 |
| | | | | わたしたてまつり給へり | 秋六六才5 |

われより 秋一ウ 4
 われ 秋二三才 10
 われならぬ 秋一七才 10
 我 秋一七才 1*
 われさへ 秋一七才 3
 我も 秋一九才 6
 我を 秋二二ウ 7
 我をこそ 秋二六ウ 5
 われも 秋二六ウ 11
 我も 秋三四ウ 1
 我 秋三五才 10
 我も 秋三五ウ 11
 我にや 秋三九才 4
 我こそ 秋四一ウ 9
 我は 秋四二才 10
 我 秋四二ウ 4
 われにだに 秋四四ウ 5
 われも 秋四五才 8
 われは 秋四六ウ 2*
 我も 秋四八ウ 10
 我 秋四九才 7
 われも 秋四九ウ 7
 われ 秋五一才 7
 我さへ 秋五一才 10
 我も 秋五三才 8
 我ながら 秋五九才 2

われさゑ 秋六一才 6
 われにも 秋六三ウ 5
 我 秋六四ウ 2
 我は 秋六四ウ 6
 われも 書三三ウ 5
 われは 書三三才 2*
 われ 書三三ウ 7*
 われも 書三四才 1
 われこそは 書三五ウ 10
 我も 秋六五才 2
 わろし(悪) ↓ひとわろし 書二六才 9
 わろからん

ゐ

われさゑ 秋六一才 6
 われにも 秋六三ウ 5
 我 秋六四ウ 2
 我は 秋六四ウ 6
 われも 書三三ウ 5
 われは 書三三才 2*
 われ 書三三ウ 7*
 われも 書三四才 1
 われこそは 書三五ウ 10
 我も 秋六五才 2
 わろし(悪) ↓ひとわろし 書二六才 9
 わろからん

いられ給はねば 秋四八才 4
 ゐ給 秋四八ウ 10
 ゐ給へり 秋五四ウ 8
 ゐたり 書二二ウ 2
 ゐる ↓ひきゐる 書二五ウ 7
 ゐん(院) ↓こゐん・しんゐん 書一九才 11
 ゐんも 書二〇才 2
 院の 書三四ウ 9
 院は 秋六五ウ 6
 院は 秋六六才 1
 ゐんは 秋六六才 7
 院の 書三八ウ 7
 院 書三九才 2
 ゐんたち(院達) 書三九ウ 2
 院たちも

秋五才 2
 秋二〇ウ 6
 秋二二ウ 2
 秋二八才 2
 秋三六ウ 9

秋五才 2
 秋二〇ウ 6
 秋二二ウ 2
 秋二八才 2
 秋三六ウ 9

秋六六ウ 8
 秋二四才 7

ゑ

を

| | | | | | | |
|--------------|--------|-----------------------|--------|-----------|--|--------|
| ゑん(宴) | | | | | | |
| ゑんなど | 秋二二才4 | をとこ(男) | | | | |
| | | おとこの | 秋四才8 | をんな(女) | | 秋四二ウ11 |
| | | をとこなども | 秋二六ウ7 | 女にてこそ | | |
| | | おとこも | 書三九ウ6 | 女は | | 秋一二才2 |
| | | をば(小母) ↓うちのをば | | 女も | | 書三九ウ7 |
| | | おばの | 秋二才5 | をんなぎみ(女君) | | |
| | | おばの | 秋六〇才3 | 女ぎみ | | 秋二才10 |
| をかし | 秋九ウ6 | をめく(叫) ↓なきをめく | | 女君は | | 秋四ウ5 |
| をかしき(「ぞ」の結び) | 秋四〇ウ11 | をやたがり | 秋六四才3 | 女君の | | 秋八才4 |
| をかしき(連体法) | | をやたがり秋三二ウ9 《不詳語。鎌倉時代物 | | 女君と | | 秋一六ウ6 |
| をこがまし(痴) | 秋三九才7 | 語集成「を」に「ね力」、中世王朝物語全集 | | 女君は | | 秋一九才4 |
| をこがましくや | 秋四三ウ3 | 「親たち」 | | 女君は | | 秋三〇才10 |
| をこがましく(連用法) | | をり(折) | | 女君の | | 秋三一ウ3 |
| をさなし(幼) | 秋一六才4 | をり | 秋一三ウ1 | 女君 | | 秋三六ウ6 |
| をさなき(連体法) | 秋一九ウ1 | をり | 秋一五ウ9 | 女君は | | 秋四九才10 |
| をさなき(連体法) | 秋四三才8 | をりだにも | 秋三三才2 | 女君は | | 秋四九ウ4 |
| をさなき(連体法) | 秋四五才6 | をりなど | 書一才4 | 女君は | | 秋四九ウ11 |
| おさなき(連体法) | 秋五八ウ1 | おりにも | 書二五才7 | 女君 | | 秋六二才4 |
| をし(惜) ↓なごりをし | 秋四一ウ7 | をり | 書三八才10 | 女君は | | 書二一才11 |
| おしと | | をりふし(折節) | | 女君は | | 書二二ウ4 |
| をしむ(惜) | | | | | | 書二四ウ8 |
| をしみたてまつれど | 書二八才10 | | | | | |

秋香台文庫本・書陵部本・中世王朝物語全集本対照表

| 秋本 | 全集(頁-行) | 書本 | 秋本 | 全集(頁-行) | 書本 | 秋本 | 全集(頁-行) | 書本 |
|------|---------|----|------|---------------|------|------|---------------|------|
| 1 オ | 146- 1 | | 30 オ | 173- 9 | | 59 オ | 199- 7 198-17 | 14 オ |
| ウ | 146-10 | | ウ | 173-17 | | ウ | 199-15 199- 6 | ウ |
| 2 オ | 147- 3 | | 31 オ | 174- 8 | | 60 オ | 200- 5 199-14 | 15 オ |
| ウ | 147-12 | | ウ | 174-17 | | ウ | 200-12 200- 3 | ウ |
| 3 オ | 148- 1 | | 32 オ | 175- 6 | | 61 オ | 201- 1 200-10 | 16 オ |
| ウ | 148-10 | | ウ | 175-13 | | ウ | 201- 7 200-17 | ウ |
| 4 オ | 148-17 | | 33 オ | 176- 4 | | 62 オ | 201-17 201- 5 | 17 オ |
| ウ | 149- 7 | | ウ | 176-12 | | ウ | 202- 6 201-13 | ウ |
| 5 オ | 149-15 | | 34 オ | 177- 3 | | 63 オ | 202-14 202- 2 | 18 オ |
| ウ | 150- 8 | | ウ | 177-11 | | ウ | 203- 5 202- 8 | ウ |
| 6 オ | 150-16 | | 35 オ | 178- 2 | | 64 オ | 203-14 202-16 | 19 オ |
| ウ | 151- 6 | | ウ | 178- 9 | | ウ | 204- 4 203- 7 | ウ |
| 7 オ | 151-13 | | 36 オ | 179- 1 | | | 203-14 203-14 | 20 オ |
| ウ | 152- 4 | | ウ | 179- 9 | | | 204- 4 204- 4 | ウ |
| 8 オ | 152-12 | | 37 オ | 179-18 | | | 204-12 204-12 | 21 オ |
| ウ | 153- 2 | | ウ | 180- 8 | | | 205- 2 205- 2 | ウ |
| 9 オ | 153-11 | | 38 オ | 180-16 | | | 205-10 205-10 | 22 オ |
| ウ | 154- 3 | | ウ | 181- 6 | | | 205-18 205-18 | ウ |
| 10 オ | 154-10 | | 39 オ | 181-15 | | | 206- 7 206- 7 | 23 オ |
| ウ | 155- 1 | | ウ | 182- 4 | | | 206-13 206-13 | ウ |
| 11 オ | 155-10 | | 40 オ | 182-12 | | | 207- 1 207- 1 | 24 オ |
| ウ | 156- 1 | | ウ | 183- 4 | | | 207- 8 207- 8 | ウ |
| 12 オ | 156- 9 | | 41 オ | 183-12 | | | 207-16 207-16 | 25 オ |
| ウ | 157- 1 | | ウ | 184- 2 | | | 208- 4 208- 4 | ウ |
| 13 オ | 157- 9 | | 42 オ | 184- 9 | | | 208-12 208-12 | 26 オ |
| ウ | 157-18 | | ウ | 184-18 | | | 209- 1 209- 1 | ウ |
| 14 オ | 158- 9 | | 43 オ | 185- 7 | | | 209- 8 209- 8 | 27 オ |
| ウ | 158-16 | | ウ | 185-16 | | | 209-16 209-16 | ウ |
| 15 オ | 159- 6 | | 44 オ | 186- 5 | | | 210- 4 210- 4 | 28 オ |
| ウ | 159-16 | | ウ | 186-12 | | | 210-11 210-11 | ウ |
| 16 オ | 160- 8 | | 45 オ | 187- 1 | | | 210-17 210-17 | 29 オ |
| ウ | 160-17 | | ウ | 187- 8 | | | 211- 7 211- 7 | ウ |
| 17 オ | 161- 6 | | 46 オ | 187-15 187-15 | 1 オ | | 211-14 211-14 | 30 オ |
| ウ | 161-15 | | ウ | 188- 4 188- 4 | ウ | | 212- 2 212- 2 | ウ |
| 18 オ | 162- 6 | | 47 オ | 188-12 188-12 | 2 オ | | 212- 9 212- 9 | 31 オ |
| ウ | 162-15 | | ウ | 189- 1 189- 3 | ウ | | 212-16 212-16 | ウ |
| 19 オ | 163- 6 | | 48 オ | 189-10 189-11 | 3 オ | | 213- 5 213- 5 | 32 オ |
| ウ | 163-14 | | ウ | 189-17 189-18 | ウ | | 213-12 213-12 | ウ |
| 20 オ | 164- 3 | | 49 オ | 190- 7 190- 7 | 4 オ | | 214- 2 214- 2 | 33 オ |
| ウ | 164-12 | | ウ | 190-15 190-16 | ウ | | 214-10 214-10 | ウ |
| 21 オ | 165- 3 | | 50 オ | 191- 6 191- 6 | 5 オ | | 214-18 214-18 | 34 オ |
| ウ | 165-11 | | ウ | 191-16 191-15 | ウ | | 215- 6 215- 6 | ウ |
| 22 オ | 166- 2 | | 51 オ | 192- 6 192- 5 | 6 オ | | 215-14 215-14 | 35 オ |
| ウ | 166-11 | | ウ | 192-14 192-13 | ウ | | 216- 2 216- 2 | ウ |
| 23 オ | 167- 2 | | 52 オ | 193- 4 193- 2 | 7 オ | 65 オ | 216-10 216- 9 | 36 オ |
| ウ | 167- 9 | | ウ | 193-11 193- 9 | ウ | ウ | 216-17 216-15 | ウ |
| 24 オ | 168- 3 | | 53 オ | 194- 1 193-16 | 8 オ | 66 オ | 217- 8 217- 5 | 37 オ |
| ウ | 168-11 | | ウ | 194- 9 194- 7 | ウ | ウ | 217-16 217-12 | ウ |
| 25 オ | 169- 1 | | 54 オ | 194-17 194-14 | 9 オ | | 218- 1 218- 1 | 38 オ |
| ウ | 169- 9 | | ウ | 195- 7 195- 3 | ウ | | 218- 8 218- 8 | ウ |
| 26 オ | 169-17 | | 55 オ | 195-16 195-11 | 10 オ | | 218-15 218-15 | 39 オ |
| ウ | 170- 7 | | ウ | 196- 5 196- 1 | ウ | | 219- 4 219- 4 | ウ |
| 27 オ | 170-14 | | 56 オ | 196-13 196- 7 | 11 オ | | 219-10 219-10 | 40 オ |
| ウ | 171- 5 | | ウ | 197- 3 196-14 | ウ | | 219-17 219-17 | ウ |
| 28 オ | 171-12 | | 57 オ | 197-12 197- 5 | 12 オ | 67 オ | — | |
| ウ | 172- 3 | | ウ | 198- 1 197-12 | ウ | | | |
| 29 オ | 172-11 | | 58 オ | 198-11 198- 1 | 13 オ | | | |
| ウ | 172-18 | | ウ | 198-18 198- 9 | ウ | | | |

平成十八～十九年度

活動報告・学内会員消息

平成十八、十九年度 活動報告・学内会員消息

平成十八年度

〔前期〕

四月 十四日 研究会活動開始

・『むべり』索引作成活動計画(むべりのやぶ影印「ムー」)

・活動時間の確認

・自己紹介

・新入会員紹介(三年生 山下恭兵・熊崎由衣)

二十一日 作業(テキストを分冊し翻訳を開始)

二十八日 作業継続

五月 十二日・十九日・二十八日 作業継続

六月 二日 会員研究発表

茨木佑子「平安仮名日記文学作品における漢語受容」

・作業継続(品詞分解開始)

九日・十六日 作業継続

二十三日 会員研究発表

松元仁美「中世仮名文書における異体仮名の研究」

・作業継続

三十日 作業継続

七月 七日 作業継続(データ入力開始・入力凡例の検討)

・夏季集中作業について

十四日・二十一日・二十八日 作業継続

八月 七日・九日 夏期集中作業

〔後期〕

十月 六日・十三日・二十日 作業継続

二十七日 作業継続(逆引き作業開始)

十一月 十日 作業継続

・会員研究発表

松元仁美「異体仮名の研究」

十七日・二十四日 作業継続

十二月 一日 会員研究発表

森岡信幸「愜字考」

八日・十五日 作業継続

一月 十二日・十九日・二十六日 作業継続

二月 二日・九日 作業継続

三月 十日 卒業生送別会

松元仁美・茨木佑子は、研究会の日常活動を離れることとなった。

平成十九年度

〔前期〕

四月 十三日 研究会活動開始

・活動計画

・自己紹介

・新入会員紹介(博士課程後期・小倉健太

三年生・加藤京子・二宮千佳)

二十日 作業継続(入力作業終了)

二十七日 作業継続(二度目の逆引き作業開始)

五月 十一日・十八日・二十五日 作業継続

六月 一日・八日 作業継続

十五日 会員研究発表

二宮千佳「三宝絵上・中巻における存在詞『アリ』表記の変遷」

二十二日 作業継続（逆引き作業終了）

二十九日 会員研究発表

小倉健太「平家物語に見られる漢語字音語基の意味・用法と

助詞の関連について 延慶本平家物語と高野本平家物語を

中心に」

七月 六日 ・作業継続（訂正の反映作業開始、終了）

・『むぐら』索引完成後の課題の検討

十三日 作業継続（三度目の逆引き作業開始）

二十日 作業継続

二十七日 ・会員研究発表

熊崎由衣「平安時代公家日記の用字研究」

・作業継続

一月 十一日 ・『むぐら』索引作成についての凡例・編集後記・活動報告

検討

・会員研究発表

森岡信幸「秋香台文庫本むぐらの四つ仮名表記」

・『むぐら』索引作成後『しのびね』を扱う

十八日 会報作成

二十五日 ・見学（二年生・田辺美佳）

・会報作成

（文責・二宮千佳）

〔後期〕

十月 五日 会員研究発表

加藤京子「平安・鎌倉時代資料における『御』の使用状況」

十二日・十九日・二十六日 作業継続

十一月 二日 会員研究発表

熊崎由衣「平安時代公家日記の用字研究」

九日・十六日・三十日 作業継続

十二月 七日 ・作業継続（逆引き作業終了）

・今後の作業について検討

十四日 作業継続（訂正の反映作業開始、終了）

二十一日 ・『むぐら』索引作成についての凡例検討

編集後記

会報第二十九号をお届け致します。

本号は、むぐら自立語索引を掲載致しました。

前号に掲載致しましたあさちが露自立語索引を受けて、本号ではあさちが露付属語索引の作成を期待する声がありました。今回も自立語索引を作成すること致しました。

作成に当たっては慎重を期しましたが、なお不十分な点も少なくはないかと思われます。諸先生、諸学兄の御批評、御教導を賜りますようお願い申し上げます。

なお、製本にあたりましては、世羅恵巳さん、田辺美佳さんのご協力を賜りました。

(平成二十年一月三十一日 加藤京子)

広島大学国語史研究会ウェブサイト

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/kokugosi/>

広島大学

国語史研究会会報 第貳拾九號

平成二十年一月三十一日 発行(非売品)

編集兼発行者 広島大学国語史研究会

〒七三九 八五三一

東広島市鏡山一丁目二番三号

広島大学大学院文学研究科日本語学研究室内